

## 第4 県内の特定事故の発生状況

### 1 死亡事故

#### (1) 概況

平成22年の死亡事故は

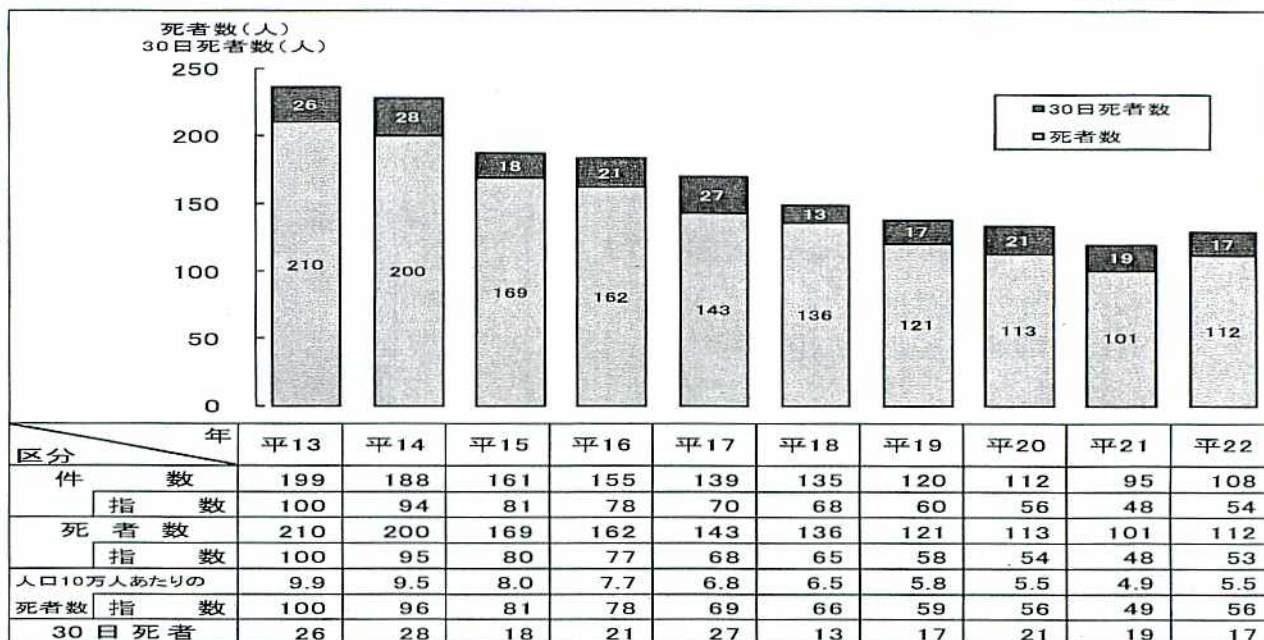
発生件数 108件 (前年比 +13件 13.7%増)

死者数 112人 (前年比 -11人 10.9%増)

で、発生件数、死者数とも増加した。

過去10年間の推移をみると、平成13年をピークに8年連続減少していたが、増加に転じた。

(単位：件・人)



#### (2) 死亡事故の特徴

##### ア 月別

死者が多かった月は9月の20人、12月の16人、7、8月の12人、少なかったのは2、3月の4人となっている。

月間死者数の構成率が10年間の各月平均を上回ったのは1、5、7、8、9、12月で、それ以外の月は下回った。



イ 時間別・曜日別

時間別では、16時～17時が9人で最も多く、次いで18時～19時が8人となっている。  
 曜日別では月曜日が25人で最も多く、次いで木曜日が21人となっている。（単位：人）

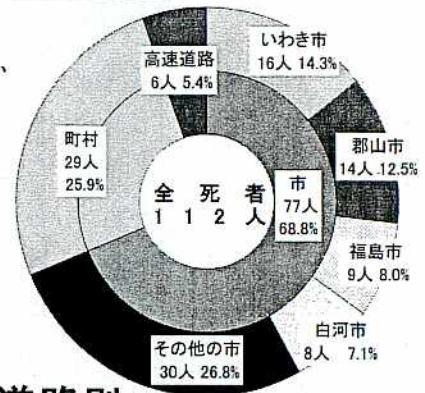
時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合	
曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	計	
日						2				1		1	1			1	1		1				2		10	
月		4		1	1				1		2		2	2		2		5	1			2	1	1		25
火						1	1	1	1	1	2							1	1	2			2	1		14
水		1	1	1	2						2		1			1	1	2			1				2	15
木	1	1		1		2	1	1	1				2		2	1				3	1	1	2	1		21
金				3		2					1		2					1			1			1		11
土			1		2		1	1			2	1	1			1	2			3	1					16
合計	1	6	2	6	5	7	3	4	2	5	6	6	7	0	4	4	9	5	8	4	5	3	7	3	112	

ウ 市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市の16人で、次いで郡山市の14人、福島市の9人、白河市の8人となっており、4市を合わせると47人で全死者の42.0%を占めている。

また、その他の市を含めると死者数は77人となり、全死者の68.8%を占めている。

市町村別



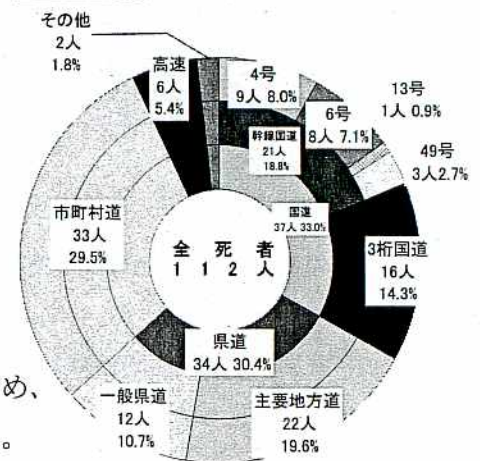
エ 道路別、道路線形別、形状別

(7) 道路別

国道での死者が37人と多く、全死者の33.0パーセントを占めている。

さらに、国道のうち幹線国道での死者は21人で国道での死者の56.8パーセントを占めている。

道路別



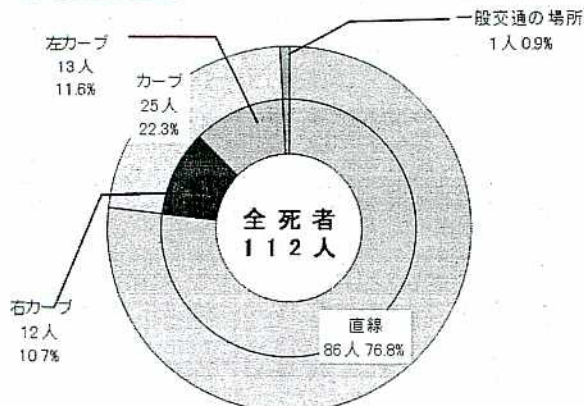
(1) 道路線形別

直線道路での死者は86人で全死者の76.8パーセントを占め、カーブでの死者は25人で、右カーブ12人、左カーブ13人となっている。

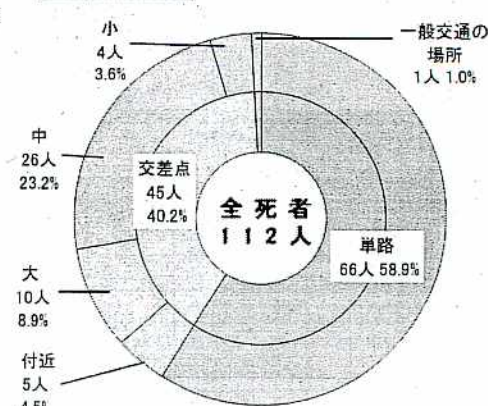
(ウ) 道路形状別

単路での死者は66人で全死者の58.9パーセントを占め、交差点での死者は45人で40.2パーセントを占めている。

道路線形別



道路形状別



(注)  
 大交差点 道路幅員13m以上  
 中交差点 道路幅員 5.5m以上13m未満  
 小交差点 道路幅員5.5m未満

オ 第1当事者別 (108件)

(7) 車種別

普通乗用車の事故が39件で全死亡事故の36.1パーセントを占め最も多く、次いで軽乗用車29件、軽貨物17件の順となっている。

(i) 年齢別

30歳代による事故が19件で最も多く、次いで40歳代が18件と多くなっている。

また、高齢者による事故が24件で昨年比5件増加している。

(単位：件)

年齢	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車		自転車	歩行者	その他	合計	
	大	中	普通	軽	大	中	普通	軽		自動二輪	原付					
16歳未満															0	
16～19歳				4				1			1				6	
20歳代	20～24歳				25～29歳				30～34歳		35～39歳					
			4	5							1				7	
30歳代	30～34歳				35～39歳				40～44歳		45～49歳					
			3	4			1	2							10	
40歳代	40～44歳				45～49歳				50～54歳		55～59歳					
			3	2	2		1	1							9	
50歳代	50～54歳				55～59歳				60～64歳		65～69歳					
			4	3	2		3	1							8	
60歳代	60～64歳				65～69歳				70～74歳		75～79歳					
			4	3	2		1	1		1		1			10	
70歳代	70～74歳				75～79歳				80歳以上		その他(当事者不明)					
			4	1	1		2	1							4	
80歳以上			2	1			1	1		1					6	
合計	0	0	39	29	5	0	8	17	2	2	5	1	0	0	108	
内数	子ども		幼児		小学生		中学生		高校生		高齢者					
											1				1	
			0	0	5	4	0	0	1	8	2	0	4	0	0	24
					30	19	5		7	13	2	2	3	1		82
					9	10			1	4			2			26
					7	2	2		2	1		2				16

(ウ) 年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.8に対して10歳代が3.2と高い。

性別でみた場合についても、男・女とも10歳代の死亡事故の割合が高い。

(単位：件・人)

区分	年齢	男性			女性			合計		
		免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率	免許人口	件数	免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	10,509	4	3.8	8,193	2	2.4	18,702	6	3.2
	20～24歳	47,205	7	1.5	43,444	2	0.5	90,649	9	1.0
	計	57,714	11	1.9	51,637	4	0.8	109,351	15	1.4
	25～29歳	53,924	5	0.9	50,329	2	0.4	104,253	7	0.7
	30歳代	126,984	16	1.3	119,551	3	0.3	246,535	19	0.8
	40歳代	120,715	15	1.2	116,133	3	0.3	236,848	18	0.8
	50歳代	142,398	14	1.0	126,046	1	0.1	268,444	15	0.6
	60～64歳	76,915	4	0.5	56,967	6	1.1	133,882	10	0.7
	高齢者	157,093	17	1.1	65,928	7	1.1	223,021	24	1.1
	合計	735,743	82	1.1	586,591	26	0.4	1,322,334	108	0.8

(注1) 自転車・歩行者の第1当事者は含まない。(注2) 免許人口は平成22年12月末現在

(I) 車種別、免許経過年数別

自転車が第1当事者となる事故を除く107件について車種に該当する免許を取得してからの経過年数をみると、10年以上経過した者による事故が84件と全体の78.5パーセントを占めている。

(単位：件)

経過年数	乗用車				貨物車				特殊車	二輪車				合計
	大型	中型	普通	軽	大型	中型	普通	軽		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	
1年未満				4								1	5	
1～2年			1	1				1					3	
2～3年													0	
3～4年			2	2									4	
4～5年			1	2									3	
10年未満			4	1				1					6	
10年以上			31	18	5		8	15	1	1	1	4	84	
免許外・無免許				1					1				2	
合計	0	0	39	29	5	0	8	17	2	1	1	0	107	

(カ) 違反別

悪質違反による事故が34件となっており、全死亡事故件数の31.5パーセントを占めている。違反別でみると前方不注意が35件、次いでハンドル操作不適が12件となっている。

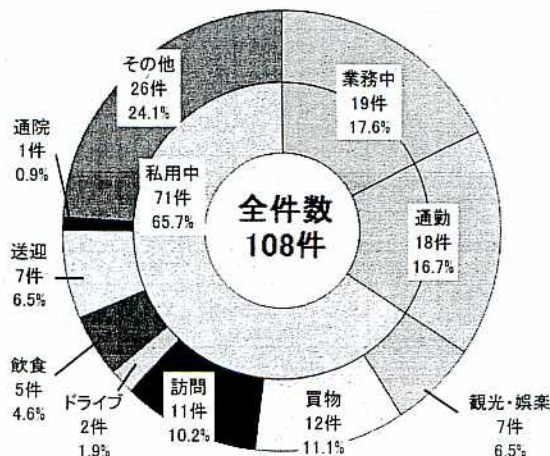
(単位：件)

違反別			違反別			違反別		
違反別	件数		違反別	件数		違反別	件数	
車両の違反	悪質違反	4	車両の違反	徐行違反		歩行者の違反	信号無視	2
	信号無視	4		過労等運転			横断歩道外横断	6
	最高速度	6		安全運転義務違反	12		駐停車車両直前	
	通区・追越	11		ハンドル操作不適	2		走行車両直前直	15
	歩行者妨害	5		ブレーキ操作不適	2		横断禁止場所	
	一時不停止	6		前方不注意	35		計	21
	酒酔い運転	2		動静不注視	1		飛び出し	
	計	34		安全不確認	9		その他	10
	横断等禁止			安全速度	2		計	33
	車間距離不保持			予測不適	1		違反無し	9
	進路変更禁止			その他			計	42
	右折違反	2		計	62		内数(飲酒運転)	9
左折違反		ドア開放等						
優先通行妨害等	3	その他						
交差点安全進行義務	7	計	108					

(キ) 通行目的別

私用中に発生した事故が71件と全事故の65.7パーセントを占めており、その中でも買い物目的が12件と最も多く、次いで訪問の順となっている。

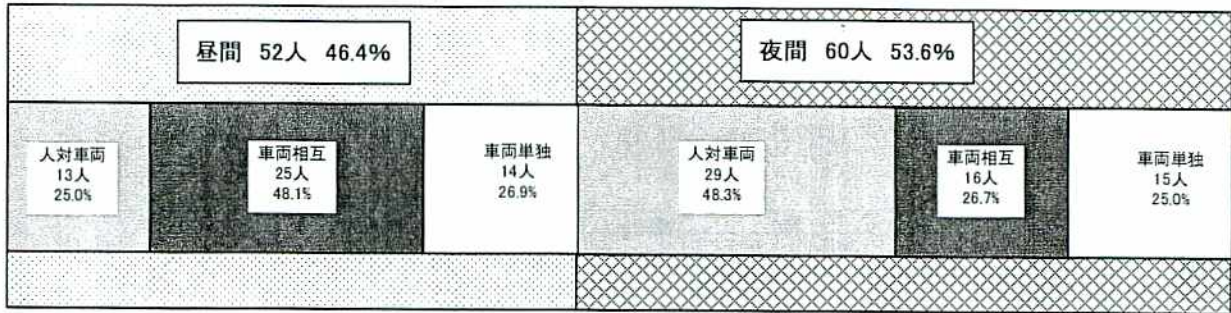
昨年と比較すると業務中の事故の割合が6.0ポイント高くなり、逆に通勤中の事故は1.2ポイント低くなっている。



カ 事故類型別死者数

人対車両	42人 (全死者の	37.5パーセント)
車両相互	41人 (全死者の	36.6パーセント)
車両単独	29人 (全死者の	25.9パーセント)
列車	0人 (全死者の	0パーセント)

となっており、これを昼夜別でみると、昼間には車両相互の死亡事故が多発し、夜間には人対車両の死亡事故が多発している。

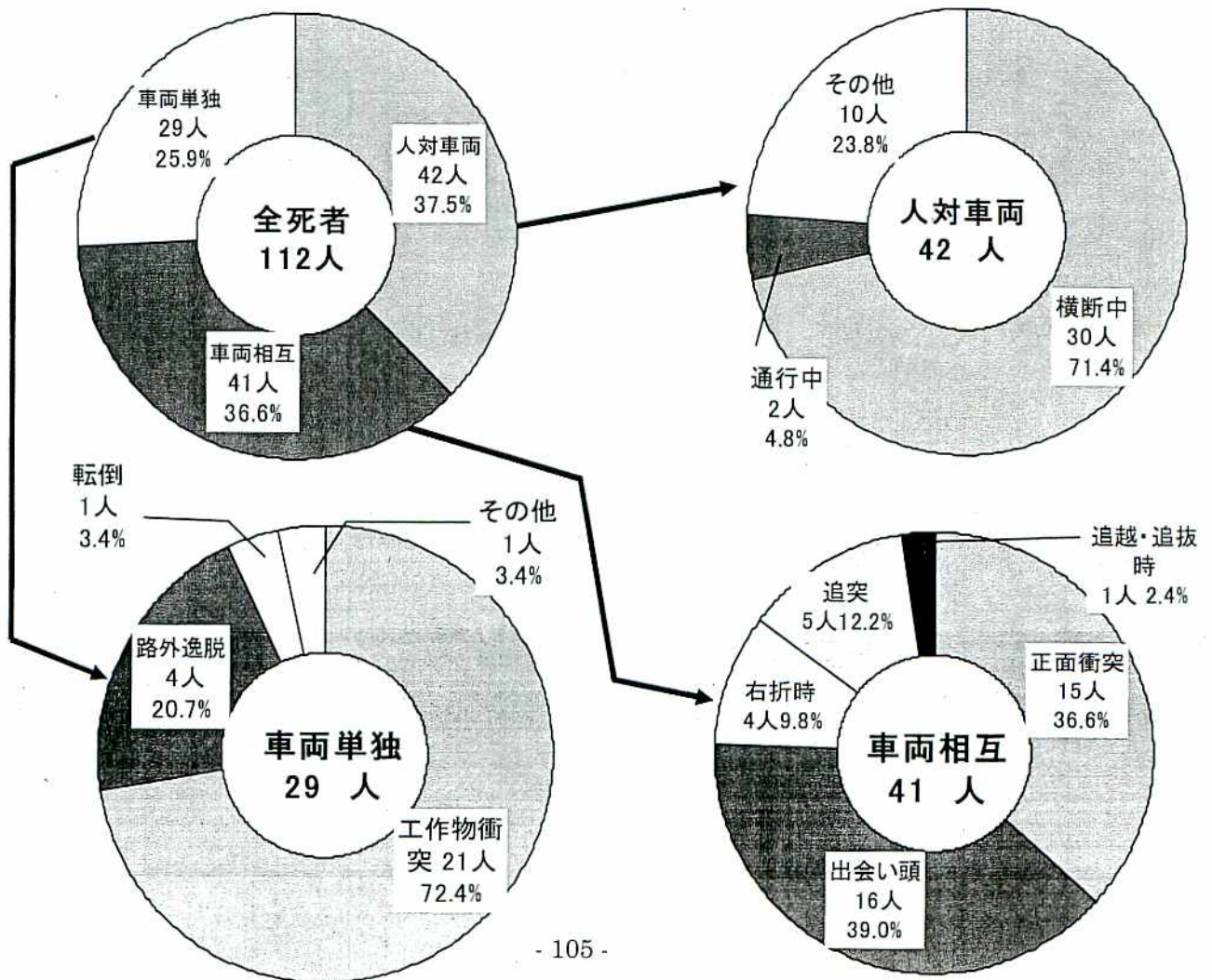


各事故類型でみると

人対車両…横断中が30人と最も多く71.4パーセントを占めている。

車両相互…出会い頭衝突が16人と最も多く39.0パーセントを占めている。

車両単独…工作物衝突が21人と最も多く72.4パーセントを占めている。



(3) 死者の状態

ア 当事者別

自動車運転中の死者は38人で全死者の33.9パーセントとなっており、さらに同乗者を含めた場合は47人となり、42.0パーセントを占めている。(単位：人・%)

区分	状態	自動車				自動二輪			原付乗車中		自転車乗車中			歩行中			その他	合計
		運転中			同乗	運転中		同乗	1当	2当	1当	2当	3当	1当	2当	3当		
		1当	2当	3当		1当	2当											
死者		35	3		9	2	5	0	4	4	1	6	0	0	42	0	1	112
構成率(%)		31.3	2.7	0.0	8.0	1.8	4.5	0.0	3.6	3.6	0.9	5.4	0.0	0.0	37.5	0.0	0.9	100.0

イ 年齢別・状態別

高齢者の死者は60人(全死者の53.6%)で、うち歩行者の死者は31人と多く高齢死者の51.7パーセントを占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は42人中31人(73.8%)と構成率が高くなっている。

(単位：人)

年齢	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		運転中			同乗	運転	同乗					
		乗用車	貨物車	特殊車								
16歳未満					1			1	1		3	
16～19歳		2						1			3	
20歳代	20～24	4								1	5	
	25～29				2	2					4	
30歳代	30～34	2	1		1	1				1	6	
	35～39	1								1	2	
40歳代	40～44	1	3			1					5	
	45～49		2			1				1	4	
50歳代	50～54	2	1			1				2	6	
	55～59	2	1						1	3	7	
60歳代	60～64	3			1	1		1		1	7	
	65～69	2	1		1			1	2	7		
70歳代	70～74	1	2	1	1			3	2	7	17	
	75～79	1	2					1	8	12		
80歳以上		2	2		2			3	1	14	24	
合計		23	15	1	9	7	0	8	7	42	0	112
内数	子ども				1						1	
	幼児											
	小学生								1	1	2	
	中学生										0	
	高校生								1		1	
高齢者		6	7	1	4	0	0	6	5	31	0	60
男性		17	13	1	1	7		5	5	19		68
女性		6	2		8			3	2	23		44

ウ 職業別

無職が55人と最も多く全死者の49.1パーセントを占め、次いでサービス業の17人、農・林・漁業の10人の順となっている。(単位：人)

職業	状態	自動車				自動二輪		原乗付中	自乗車中	歩行中	その他	合計
		乗用車	貨物車	特殊車	同乗	運転	同乗					
職業運転者			2			1						3
公務員						1						1
農・林・漁業		2	5	1						2		10
建設業		2	1			1				1		5
製造業		3				2				1		6
卸・小売業		3			1					2		6
飲食店業		2			1							3
金融・保険業		1										1
サービス業		5	4		1	2		1		4		17
子ども					1				1	1		3
高校生								1				1
大学生												0
主婦										1		1
無職		5	3		5			6	6	30		55
その他												0
合計		23	15	1	9	7	0	8	7	42	0	112

エ 状態別の違反

(7) 歩行者

歩行者の死者 42 人のうち、33 人(歩行者死者の 78.6%)には何らかの違反があり、横断中の違反が 21 人と最も多く、違反のある歩行者死者の 63.6 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反等 区分	信号 無視	通行 区分	横断					計	幼児 の	ひとり 歩	め か い	は か い	路 上 作 業	飛 び 出 し	そ の 他	違 反 な し	合 計
			横断 歩道 外	斜 め 横 断	駐 停 車 車 面 後	直 行 車 直 面 後	走 行 車 直 面 後										
1 当							0									0	
2 当以下	2	2	6				15	21		7				1	9	42	

(1) 自転車

自転車乗用中の死者 7 人のうち 4 人(57.1%)に何らかの違反があった。  
酒酔い運転 1 人、一時不停止 1 人等となっている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	右 側 通 行	横 断 等 禁 止	右 折 違 反 等	優 先 通 行 妨 害	交 差 点 安 全 進 行	一 時 不 停 止	灯 火 違 反	酒 酔 い 運 転	徐 行 場 所 違 反	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	そ の 他	違 反 な し	合 計
2 当以下						1	1						1		3	6

(7) 原付

原付乗車中の死者 9 人のうち、7 人(77.8%)に何らかの違反があった。  
優先通行妨害による死者は 2 人で違反のある死者の 22.2 パーセントを占めている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	横 断 等 禁 止	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行	交 差 点 安 全	徐 行	酒 酔 い 運 転	ハ ン ド ル 操 作 不 適	フ レ ー キ 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
2 当以下								1			1						2	4

(1) 自動二輪

自動二輪車乗車中の死者 7 人のうち、5 人(71.4%)に何らかの違反があった。  
安全速度違反による死者は 2 人で、違反のある死者の 40.0%を占めている。

(単位：人)

違反 区分	信号 無視	最 高 速 度	通 行 区 分	右 折 違 反	一 時 不 停 止	優 先 通 行	交 差 点 安 全	酒 酔 い 運 転	徐 行	ハ ン ド ル 操 作 不 適	前 方 不 注 意	安 全 不 確 認	安 全 速 度	そ の 他	違 反 な し	合 計
2 当以下		1					1						1		2	5
同 乗																0

(オ) 自動車

違反別では、通行区分・追い越しと前方不注意が 11 人で最も多く、次いでハンドル・ブレーキ操作不適 10 人、前方不注意 9 人となっている。

事故類型別では車両単独が 26 人で最も多く、自動車乗車中の死者全体の 54.2 パーセントを占め、うちハンドル・ブレーキ操作不適が 8 人、前方不注意 7 人で合計すると車両単独の死者全体の 57.7 パーセントを占めている。 (単位：人)

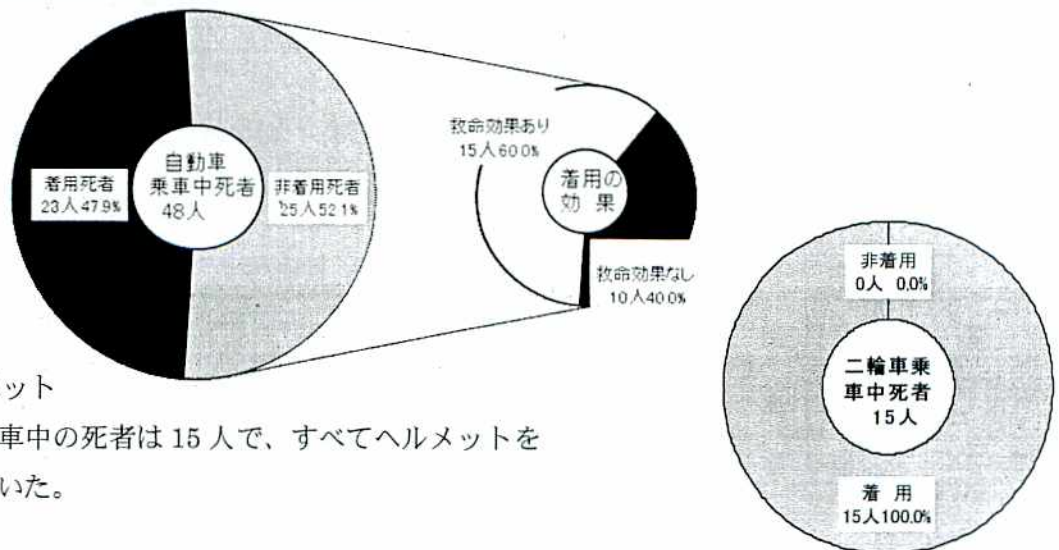
区分	違反	運 転 中															同 乗 中 計	合 計			
		信号無視	最高速度	通行区分・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安 全 運 転 義 務					その 他			違 反 な し		
											ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度					その他	
当事者	1 当		2	11	1	1	1				10	9			1			36	36		
	2 当														1		1	3	3		
	3 当以下																	0	9		
事故類型	正面衝突			10							2							12	2	14	
	追突											2						2		2	
	出会い頭				1		1							1		1	1	5	1	6	
	追越・追抜																	0		0	
	転回時																	0		0	
	右折時																	0		0	
	その他																	0		0	
計		0	0	10	1	0	1	0	0	0	2	2	0	1	0	1	0	1	19	3	22
車両単独			2	1		1					8	7			1			20	6	26	
列車																		0		0	
合計		0	2	11	1	1	1	0	0	0	10	9	0	1	1	1	0	1	39	9	48

オ シートベルト・チャイルドシート着用状況

(7) シートベルト

自動車乗車中の死者 48 人中、シートベルトを着用していたのは 23 人で、着用率は 47.9 パーセントと低調である。

また、非着用死者 25 人中、15 人（非着用で死亡した者の 60.0%）はシートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。



(イ) ヘルメット

二輪乗車中の死者は 15 人で、すべてヘルメットを着用していた。



## 2 歩行者の事故

### (1) 概 況

交通事故で死傷した歩行者は、

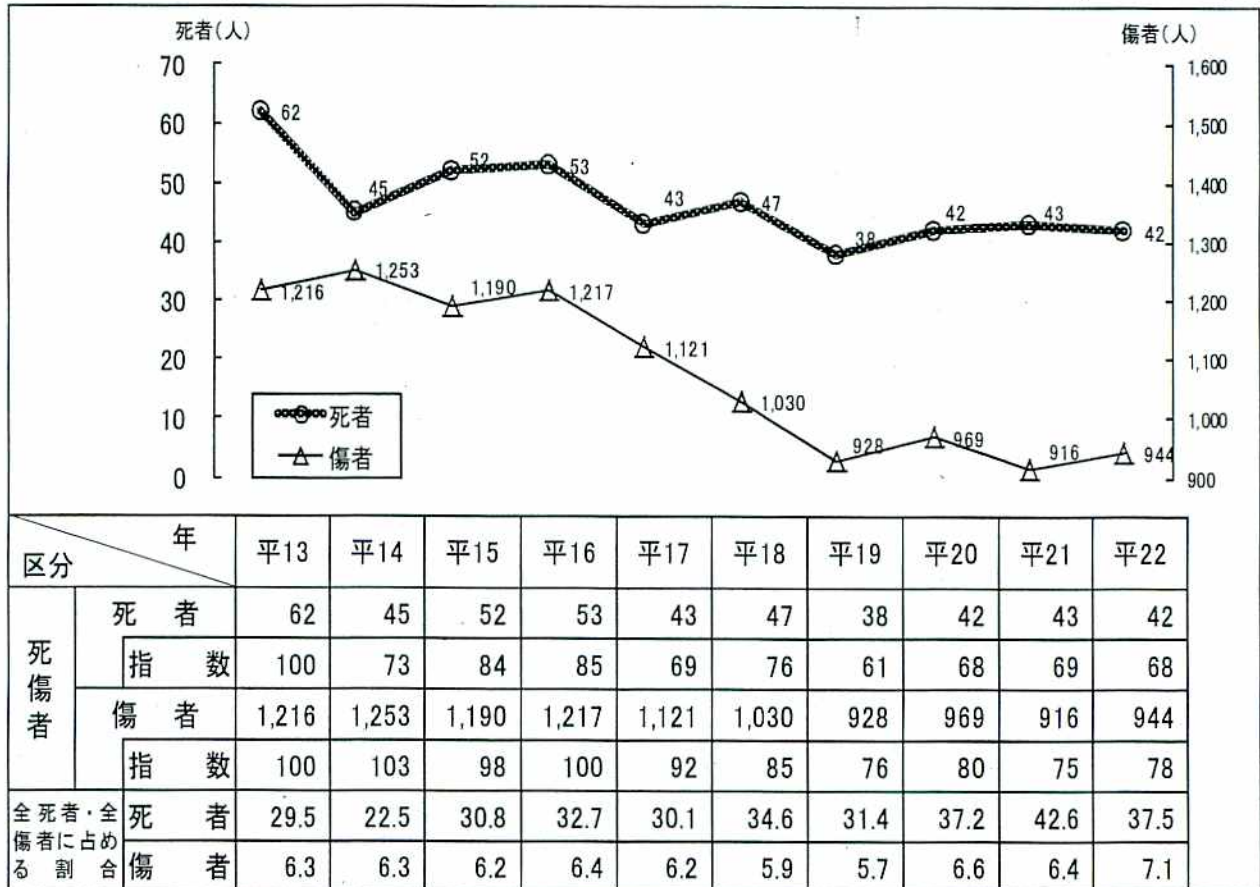
死者数 42人 (前年比 -1人 2.3%減)

傷者数 944人 (前年比 +28人 3.1%増)

で、死者数は減少したが、傷者数は増加した。

全死傷者に占める割合は、死者数は37.5パーセントで5.1ポイント減少し、傷者数は7.1パーセントで0.7ポイント増加した。

(単位：人・%)



### (2) 月 別

死者は12月が10人で最も多く、次いで1、5、6、8月の4人の順となっており、特に下半期の死者は24人(57.1%)と多くなっている。

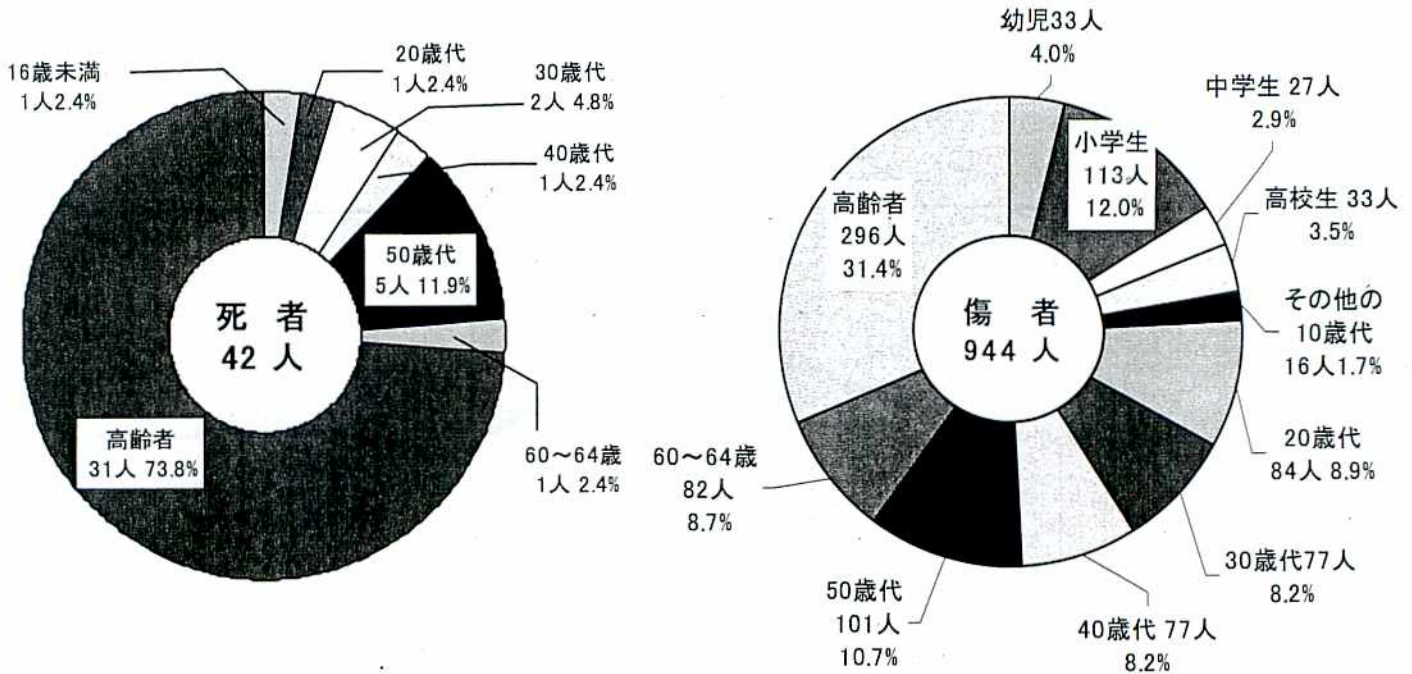
傷者数は12月が116人で最も多く、次いで1月の98人、2月の92人の順となっている。

(単位：人・%)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者		4	3	2	1	4	4	2	4	3	3	2	10	42
	傷者		98	92	87	76	62	58	60	68	61	85	81	116	944
全死者・全傷者に占める割合	死者		57.1	75.0	50.0	12.5	40.0	66.7	16.7	33.3	15.0	60.0	25.0	62.5	37.5
	傷者		9.4	8.4	8.1	7.1	6.2	5.8	5.4	5.8	5.9	7.7	6.5	8.8	7.1

(3) 年齢別

ア 死者は高齢者が31人で最も多く、歩行者死者の73.8パーセントを占めている。  
傷者も高齢者が296人と最も多く、次いで小学生113人となっている。



イ 歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢死者はその他の高齢死者の1.8倍となっている。  
傷者は高齢者の占める割合31.4パーセントの次に小学生が12.0パーセントと高い。

(単位：人・%)

(単位：人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
歩行者の死傷者	16歳未満	1	2.4	180	19.1	
	16～19歳		0.0	47	5.0	
	20歳代	1	2.4	84	8.9	
	30歳代	2	4.8	77	8.2	
	40歳代	1	2.4	77	8.2	
	50歳代	5	11.9	101	10.7	
	60歳代	60～64	1	2.4	82	8.7
		65～69	2	4.8	53	5.6
	70歳代	70～74	7	16.7	71	7.5
		75～79	8	19.0	72	7.6
80歳以上	14	33.3	100	10.6		
合計		42	100.0	944	100.0	
内訳	幼児		0.0	38	4.0	
	小学生	1	2.4	113	12.0	
	中学生		0.0	27	2.9	
	高校生		0.0	33	3.5	
	高齢者	31	73.8	296	31.4	

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
その他の死傷者	16歳未満	2	2.9	704	5.7	
	16～19歳	3	4.3	714	5.8	
	20歳代	8	11.4	2,326	18.9	
	30歳代	6	8.6	2,353	19.1	
	40歳代	8	11.4	2,015	16.4	
	50歳代	8	11.4	1,808	14.7	
	60歳代	60～64	6	8.6	817	6.6
		65～69	5	7.1	589	4.8
	70歳代	70～74	10	14.3	425	3.5
		75～79	4	5.7	328	2.7
80歳以上	10	14.3	230	1.9		
合計		70	100.0	12,309	100.0	
内訳	幼児	1	1.4	164	1.3	
	小学生	1	1.4	226	1.8	
	中学生	0	0.0	207	1.7	
	高校生	1	1.4	494	4.0	
	高齢者	29	41.4	1,572	12.8	

(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は18～20時が9人で歩行者死者の21.4パーセントを占め最も多く、次いで4～6時、20～22時、22～24時が4人となっている。

傷者は16～18時が174人で歩行者傷者の18.4パーセントを占め最も多く、次いで18～20時の173人、14～16時が118人となっている。

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者		3	3	4	3	1	3	2	3	3	9	4	4	42
	構成率(%)	7.1	7.1	9.5	7.1	2.4	7.1	4.8	7.1	7.1	21.4	9.5	9.5	100.0
傷者		17	12	9	69	84	91	89	118	174	173	59	49	944
	構成率(%)	1.8	1.3	1.0	7.3	8.9	9.6	9.4	12.5	18.4	18.3	6.3	5.2	100.0

イ 昼夜別

死者は夜間が29人と多く、歩行者死者の69.0パーセントを占めている。

傷者は昼間が535人と多く、歩行者傷者の56.7パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			13		13	2	27		29	42
	構成率(%)	0.0	31.0	0.0	31.0	4.8	64.3	0.0	69.0	100.0
傷者		7	506	22	535	54	343	12	409	944
	構成率(%)	0.7	53.6	2.3	56.7	5.7	36.3	1.3	43.3	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は夜間の高齢者が19人と多く、歩行者死者の45.2パーセントを占めている。

傷者は夜間における子ども、高齢者以外の者が275人と多くなっている。

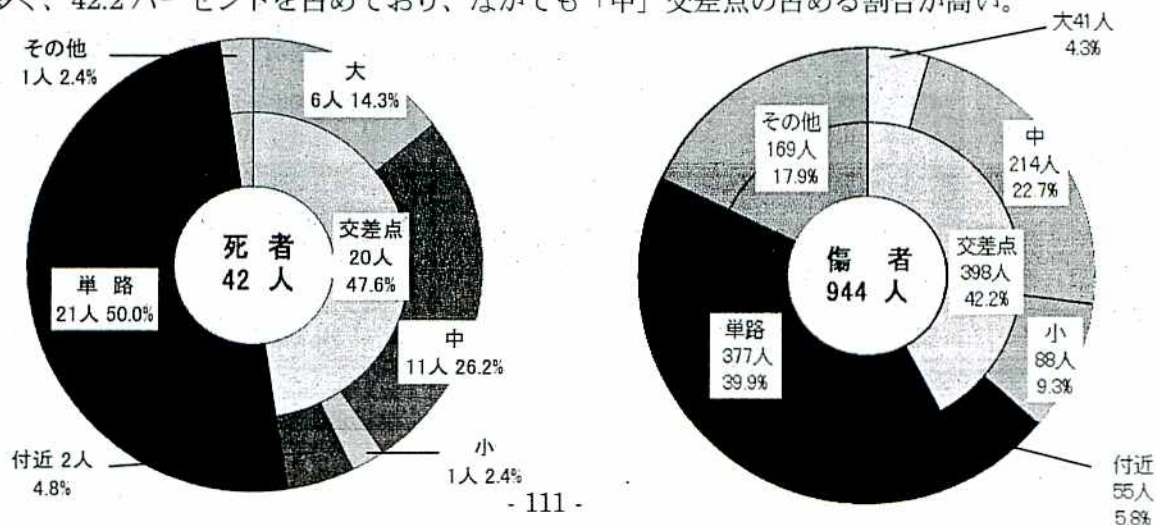
(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者		1	12		13		19	10	29	42
	構成率(%)	2.4	28.6	0.0	31.0	0.0	45.2	23.8	69.0	100.0
傷者		157	185	193	535	23	111	275	409	944
	構成率(%)	16.6	19.6	20.4	56.7	2.4	11.8	29.1	43.3	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

歩行中の死者は単路が21人で最も多く50.0パーセントを占め、傷者は交差点が398人と最も多く、42.2パーセントを占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。



イ 道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は 21 人で、歩行者死者の 50.0 パーセントを占めている。

歩車道の区分別では、区分有りでの死者が多く 37 人と歩行者死者の 88.1% を占め、傷者についても 599 人で歩行者傷者の 63.5 パーセントを占めている。 (単位：人)

道路形状 信号機、歩車道区別の有無			交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死 者	5	5			10			10
		傷 者	33	136	25	18	212	1		213
	信号機なし	死 者	1	6	1	2	10	21	1	32
		傷 者	8	78	63	37	186	376	169	731
合 計		死 者	6	11	1	2	20	21	1	42
		傷 者	41	214	88	55	398	377	169	944

歩車道 区 分 あ り	防護柵等	死 者					0	0		0
		傷 者		5	1		6	7		13
	縁石等	死 者	6	11	1	2	20	13		33
		傷 者	39	183	56	37	315	165	6	486
	路側帯	死 者					0	4		4
		傷 者	2	16	6	7	31	68	1	100
区分なし		死 者				0	4	1	5	
		傷 者		10	25	11	46	137	162	345
合 計		死 者	6	11	1	2	20	21	1	42
		傷 者	41	214	88	55	398	377	169	944

ウ 自宅からの距離

自宅から 500 メートル以内の死傷者が 363 人と多く、歩行者死傷者の 36.8 パーセントを占めている。また、死者は 21 人で歩行者死者の 50.0 パーセントを占めている。

全歩行者の死傷者 986人(42人)	91人 (9人) 9.2%	85人 (4人) 8.6%	187人 (8人) 19.0%	155人 (7人) 15.7%	106人 (4人) 10.8%	362人 (10人) 36.7%
	30人 (0人) 16.8%	15人 (0人) 8.4%	42人 (0人) 23.5%	31人 (1人) 17.3%	17人 (0人) 9.5%	44人 (0人) 24.6%
高齢者で歩行者の死傷者 327人(31人)	41人 (9人) 12.5%	48人 (4人) 14.7%	68人 (7人) 20.8%	56人 (4人) 17.1%	39人 (3人) 11.9%	75人 (4人) 22.9%
区 分	50m以下	100m以下	500m以下	1km以下	2km以下	2km超過 調査不能

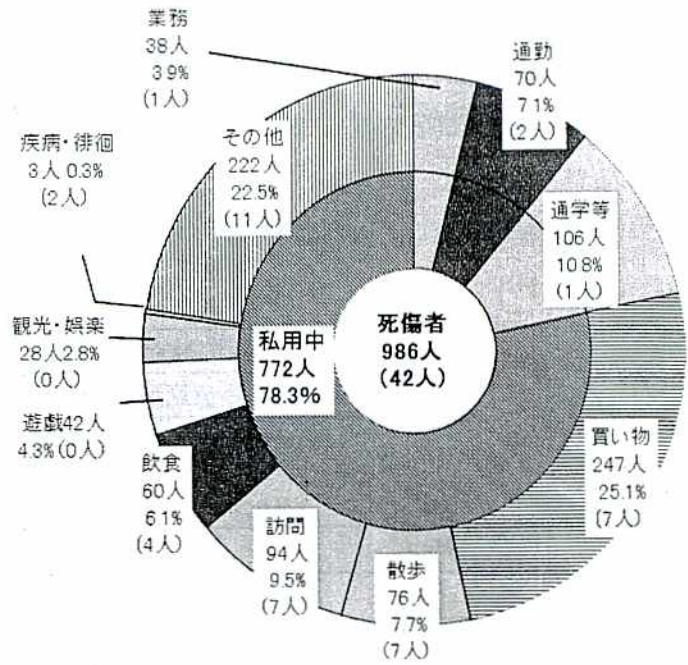
( )内は死者数で内数

(6) 通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が772人で78.3パーセントを占めている。

うち買い物目的が最も多く247人、25.1パーセントとなっている。

その他、業務中については前年比、死者が5人減少し、傷者が1人増加している。



( )内は死者数で内数

(7) 状態別等

ア 状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は30人で歩行者死者の71.4パーセント、傷者は492人で歩行者傷者の52.1パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	状態	人 対 車 両													人対車両以外	合計
		対面通行中	背面通行中	横断中				計	路上遊戯中	路上作業中	路上停止中	歩道通行中	路側帯通行中	その他		
				横断歩道	横断歩道付近	横断歩道橋付近	その他									
死者	0	2	8	5	0	17	30	0	0	3	0	1	6	0	42	
構成率(%)	0.0	4.8	19.0	11.9	0.0	40.5	71.4	0	0.0	7.1	0	2	14	0	100	
傷者	65	102	216	21	2	253	492	9	12	24	36	7	180	17	944	
構成率(%)	6.9	10.8	22.9	2.2	0.2	26.8	52.1	1.0	1.3	2.5	3.8	0.7	19.1	1.8	100	

イ 横断場所・道路形状別

横断中の死者30人のうち、交差点での死者は19人で横断中死者の63.3パーセントを占めている。

また、交差点内の傷者291人のうち、194人(66.7%)が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

(単位：人・%)




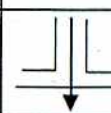
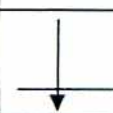
横断場所	道路形状	交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	構成率(%)	
		死者	傷者	死者	傷者							死者	傷者
横断中	横断歩道	8	194	0	13	8	207	0	9	8	216	26.7	43.9
	横断歩道付近	4	13	1	6	5	19	0	2	5	21	16.7	4.3
	横断歩道橋付近	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2	0.0	0.4
	その他	5	83	1	11	6	94	11	159	17	253	56.7	51.4
合計		17	291	2	30	19	321	11	171	30	492	100	100

ウ 横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は 25 人(83.3%)、傷者は 359 人(73.0%)となっている。

「車両の陰から」の傷者は 60 人で、うち 36 人(60.0%)は子どもの傷者となっている。

(単位：人・%)

横断場所		車両の陰から			建物	物陰から	路地から	その他
		駐車車両	停止車両	進行車両				
区分								
子ども	死者							1
	傷者	12	19	5	22	2	14	65
高齢者	死者			1			3	19
	傷者	5	1	4	7		9	138
その他	死者						1	5
	傷者	2	10	2	7		12	156
合計	死者	0	0	1	0	0	4	25
	構成率(%)	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	13.3	83.3
	傷者	19	30	11	36	2	35	359
	構成率(%)	3.9	6.1	2.2	7.3	0.4	7.1	73.0

(8) 違反別

(単位：人・%)

ア 違反状況を見ると、何らかの違反があった死者は 33 人(78.6%)、傷者は 316 人 (33.5%) となっている。

イ 死者の違反は横断中が多く、なかでも走行車両の直前・直後の横断が 15 人で、横断中死者の 71.4%を占めている。

傷者の違反も横断中が 154 と多く違反あり傷者の 48.7 パーセントを占めている。

違反		死傷者		死者		傷者	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
信号無視		2	4.8	9	1.0		
通行区分		2	4.8	38	4.0		
横断	横断歩道外	6	14.3	85	9.0		
	斜め横断		0.0	3	0.3		
	駐停車両直前・直後		0.0	20	2.1		
	走行車両直前・直後	15	35.7	44	4.7		
	横断禁止場所		0.0	2	0.2		
計		21	50.0	154	16.3		
酩酊・徘徊		7	16.7	14	1.5		
路上遊戯			0.0	6	0.6		
路上作業			0.0	5	0.5		
飛び出し			0.0	75	7.9		
その他		1	2.4	15	1.6		
違反なし		9	21.4	628	66.5		
合計		42	100.0	944	100.0		

### 3 自転車の事故

#### (1) 概況

交通事故で死傷した人は

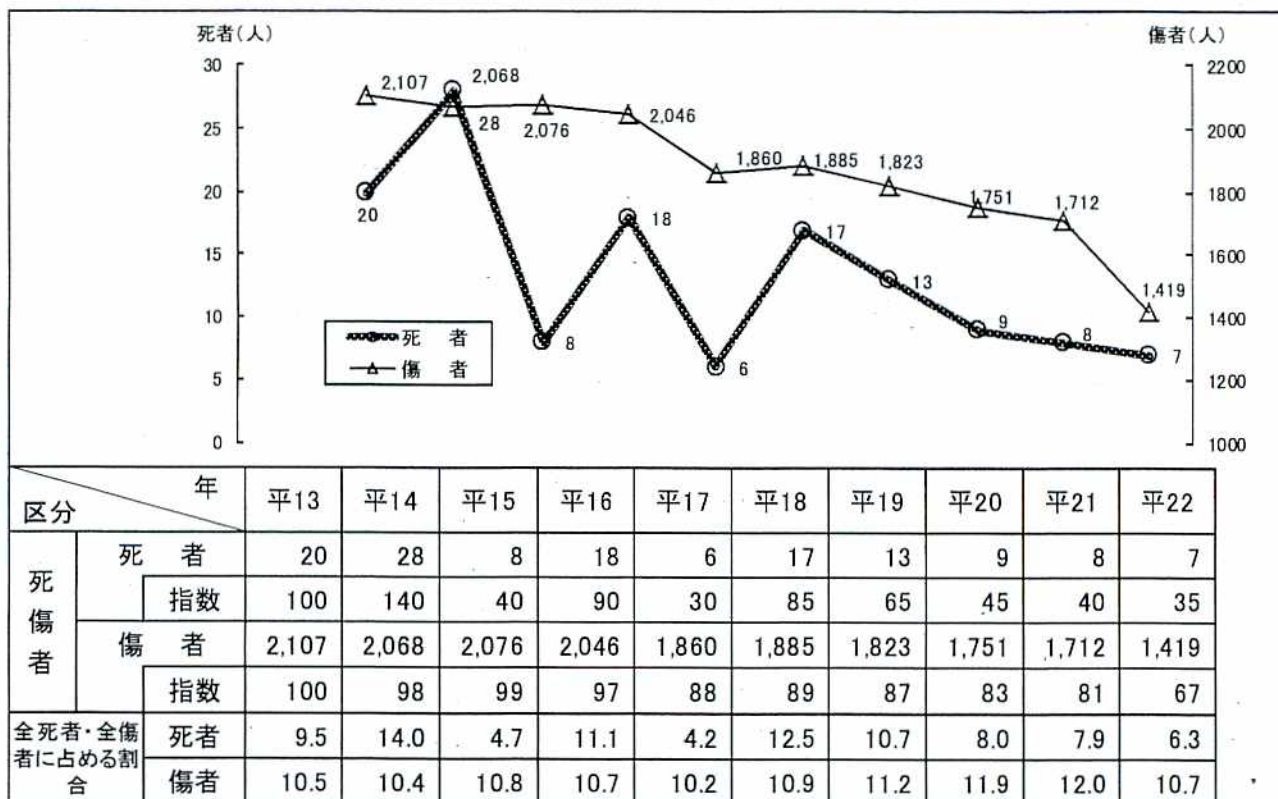
死者数 7人 (前年比 -1人 12.5%減)

傷者数 1,419人 (前年比 -293人 17.1%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

全死者数に占める割合は6.3パーセントで1.3ポイント減少、全傷者数に占める割合は10.7パーセントで1.3ポイント減少した。

(単位：人・%)



#### (2) 月別

死者数は7、11月の2人、4、6、8月の各1人となっている。傷者は、7月が148人と最も多く、次いで6、12月の137人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死者数、傷者数とも下半期が多く占め、死者は71.4パーセント、傷者は56.1パーセントとなっている。

(単位：人・%)

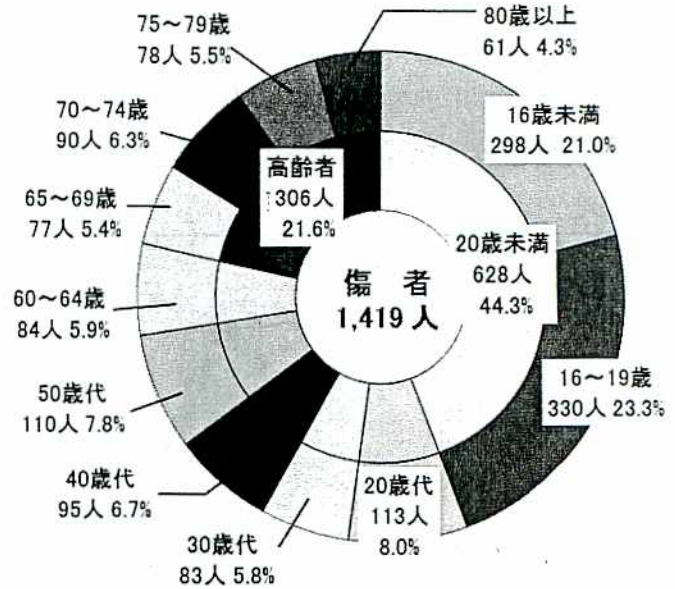
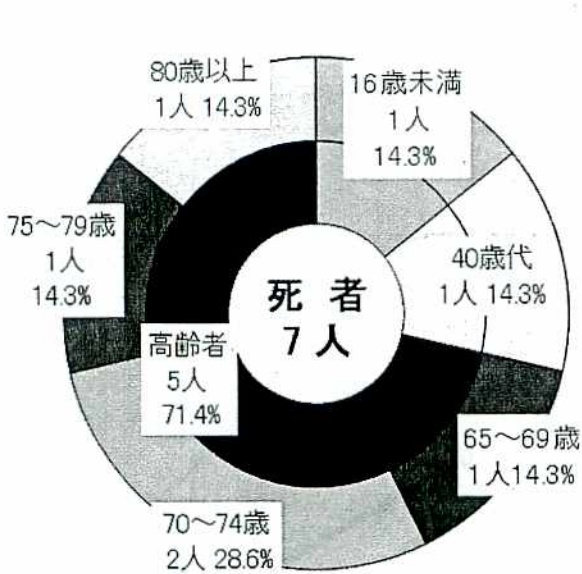
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者				1		1	2	1			2		7
	傷者	81	74	91	106	134	137	148	120	134	129	128	137	1,419
全死傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	25.0	0.0	6.3
	傷者	7.8	6.7	8.5	10.0	13.3	13.7	13.4	10.2	13.0	11.7	10.3	10.4	10.7

(3) 年齢別

ア 年齢別

死者は高齢者が5人と多く、自転車事故の71.4パーセントを占めている。

傷者は20歳未満が628人と多く、自転車傷者の44.3%を占めている。



イ 自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、自転車死者は高齢者、自転車傷者は20歳未満の占める割合が高い。(単位:人・%)

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
自転車 の 死 傷 者	16歳未満	1	14.3	298	21.0	
	16~19歳	0	0.0	330	23.3	
	20歳代	0	0.0	113	8.0	
	30歳代	0	0.0	83	5.8	
	40歳代	0	0.0	95	6.7	
	50歳代	1	14.3	110	7.8	
	60歳代	60~64	0	0.0	84	5.9
		65~69	1	14.3	77	5.4
	70歳代	70~74	2	28.6	90	6.3
		75~79	1	14.3	78	5.5
	80歳以上	1	14.3	61	4.3	
	合計		7	100.0	1,419	100.0
内 訳	幼児	0	0.0	5	0.4	
	小学生	1	14.3	80	5.6	
	中学生	0	0.0	121	8.5	
	高校生	0	0.0	359	25.3	
	高齢者	5	71.4	306	21.6	

年齢	区分	死者		傷者		
		人数	構成率 (%)	人数	構成率 (%)	
そ の 他 の 死 傷 者	16歳未満	2	1.9	586	5.0	
	16~19歳	3	2.9	431	3.6	
	20歳代	9	8.6	2,297	19.4	
	30歳代	8	7.6	2,347	19.8	
	40歳代	9	8.6	1,997	16.9	
	50歳代	12	11.4	1,799	15.2	
	60歳代	60~64	7	6.7	815	6.9
		65~69	6	5.7	565	4.8
	70歳代	70~74	15	14.3	406	3.4
		75~79	11	10.5	322	2.7
	80歳以上	23	21.9	269	2.3	
	合計		105	100.0	11,834	100.0
内 訳	幼児	1	1.0	197	1.7	
	小学生	1	1.0	259	2.2	
	中学生	0	0.0	113	1.0	
	高校生	1	1.0	168	1.4	
	高齢者	55	52.4	1,562	13.2	



(4) 時間別・昼夜別

ア 時間別

死者は8～10時、10～12時、16～18時が2人で自転車死者のそれぞれ28.6パーセントを占め、22～24時が1人となっている。

傷者は8～10時が244人で自転車傷者の17.2パーセントを占め最も多く、次いで16～18時の220人、14～16時の193人、18～20時の181人の順となっている。(単位：人・%)

区分	時間												合計
	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	
死者					2	2			2			1	7
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	14.3	100.0
傷者	4	1	7	177	244	150	165	193	220	181	56	21	1419
構成率(%)	0.3	0.1	0.5	12.5	17.2	10.6	11.6	13.6	15.5	12.8	3.9	1.5	100.0

イ 昼夜別

死者、傷者とも昼間が多い。

区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死者			6		6		1		1	7
構成率(%)		0.0	85.7	0.0	85.7	0.0	14.3	0.0	14.3	100.0
傷者		5	1,076	40	1,121	47	248	3	298	1,419
構成率(%)		0.4	75.8	2.8	79.0	3.3	17.5	0.2	21.0	100.0

ウ 年齢別・昼夜別

死者は昼間の高齢者が4人と多く、自転車の死者の57.1パーセントを占めている。

傷者は、昼間のその他が600人と多く、自転車傷者の42.3パーセントを占めている。

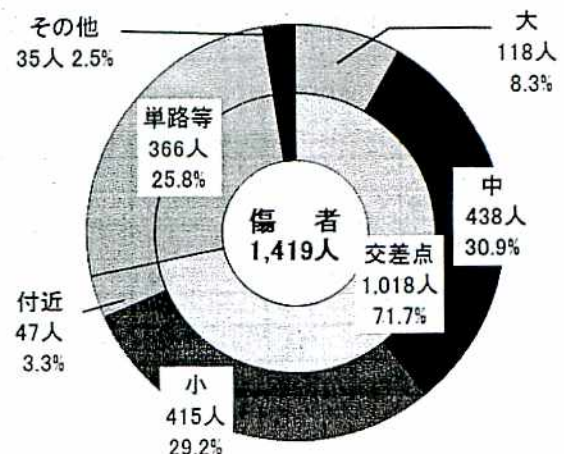
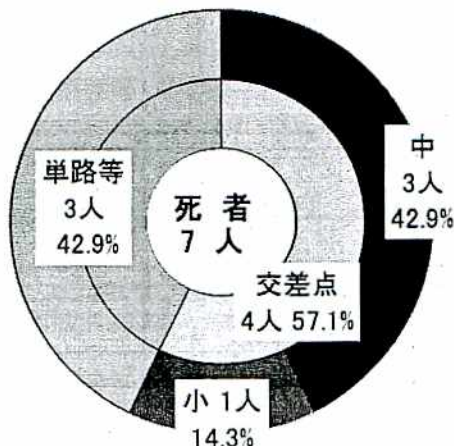
区分	昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
		子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死者		1	4	1	6		1		1	7
構成率(%)		14.3	57.1	14.3	85.7	0.0	14.3	0.0	14.3	100.0
傷者		247	274	600	1,121	51	32	215	298	1,419
構成率(%)		17.4	19.3	42.3	79.0	3.6	2.3	15.2	21.0	100.0

(5) 場所別

ア 道路形状別

死者は、交差点4人、単路等3人になっており、傷者は交差点が1,018人で自転車傷者の71.7パーセントを占めている。

交差点の大きさで見ると、死者、傷者とも「小」・「中」交差点での発生が多い。



イ 道路形状別・信号機の有無別

交差点での自転車死者は信号機のない交差点が3人となっている。

(単位：人)

信号機の有無		道路形状	交 差 点				計	単路	その他	合 計
			大	中	小	付近				
信号機	信号機あり	死者		1			1			1
		傷者	93	170	37	15	315	2		317
	信号機なし	死者		2	1		3	3		6
		傷者	25	268	378	32	703	364	35	1,102
合 計		死者	0	3	1	0	4	3	0	7
		傷者	118	438	415	47	1,018	366	35	1,419

(6) 道路形状別・事故類型別

自転車乗用中の死傷者は交差点に集中しており、死者4人(57.1%)、傷者1,012人(71.3%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭の事故が多く、死者は4人(57.1%)、傷者は874人(61.6%)となっている。

(単位：人・%)

道路形状 事故類型		交 差 点				計		その他		合 計			
		交差点内		交差点付近						構成率(%)			
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
人 対 車 両						0	0		1	0	1	0.0	0.1
車	正面衝突		2		2	0	4		18	0	22	0.0	1.6
	追 突				5	0	5	2	17	2	22	28.6	1.6
両	出 会 い 頭	4	668		18	4	686		188	4	874	57.1	61.6
	追 越 ・ 追 抜		4		2	0	6		22	0	28	0.0	2.0
相	転回・後退時		5		2	0	7		38	0	45	0.0	3.2
	進路変更時					0	0		1	0	1	0.0	0.1
互	すれ違い時		1			0	1		17	0	18	0.0	1.3
	左折時		132		4	0	136		43	0	179	0.0	12.6
互	右折時		150		5	0	155		20	0	175	0.0	12.3
	その他		5		7	0	12		23	0	35	0.0	2.5
計		4	967	0	45	4	1,012	2	387	6	1,399	85.7	98.6
車 両 単 独			4		2	0	6	1	13	1	19	14.3	1.3
列 車						0	0			0	0	0.0	0.0
合 計		4	971	0	47	4	1,018	3	401	7	1,419	100.0	100.0

(7) 自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、子どもは500m以内(101~500m)、高齢者は1Km以内(501~1,000m)が多い。

子ども、高齢者を除いた傷者は2km超過が多い。

(単位：人・%)

区分	距離	50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合 計
子 ども		9	14	① 58	48	41	31	0	① 201
	構成率(%)	4.5	7.0	28.9	23.9	20.4	15.4	0.0	100.0
高 齢 者		13	12	69	③ 80	① 69	① 63	0	⑤ 306
	構成率(%)	4.2	3.9	22.5	26.1	22.5	20.6	0.0	100.0
そ の 他		11	24	121	193	189	① 367	0	① 905
	構成率(%)	1.2	2.7	13.4	21.3	20.9	40.6	0.0	100.0
合 計		33	50	① 248	③ 321	① 299	461	0	⑦ 1,412
	構成率(%)	2.3	3.5	17.6	22.7	21.2	32.6	0.0	100.0

○は死者数で内数

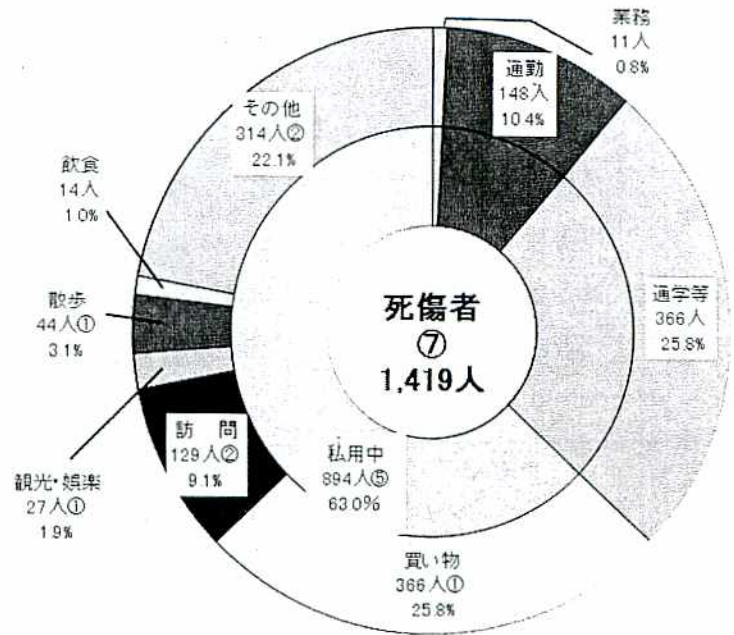
\* 同乗者の死傷者は含まない

(8) 通行目的別

通行目的は、私用中が 894 人で 63.0 パーセントを占めている。

なかでも買い物が 366 人 25.8 パーセントと最も多い。

通学等、通勤における事故の発生も多く、それぞれ、366 人(25.8%)、148 人(10.4%)となっている。



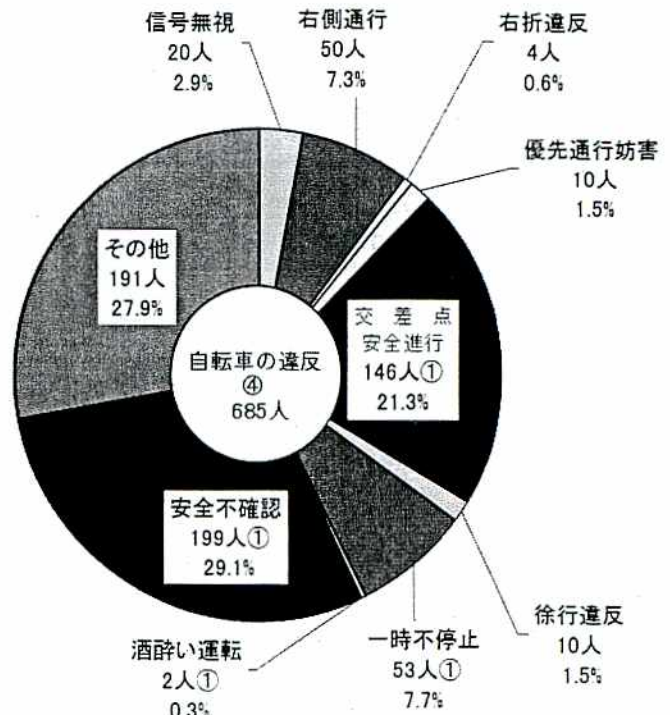
○ は死者数で内数

(9) 違反別

死者のうち何らかの違反があったのは 4 人 (57.1%)、同じく傷者では 681 人 (48.0%) となっている。

(単位：人・%)

違反	区分	死 者		傷 者	
		構成率 (%)	人数	構成率 (%)	人数
信号無視		0.0	20	1.4	
右側通行		0.0	50	3.5	
横断等禁止		0.0	2	0.1	
右折違反		0.0	4	0.3	
優先通行妨害		0.0	10	0.7	
交差点安全進行	1	14.3	145	10.2	
徐行違反		0.0	10	0.7	
一時不停止	1	14.3	52	3.7	
酒酔い運転	1	14.3	1	0.1	
安全不確認	1	14.3	198	14.0	
その他		0.0	182	12.8	
違反なし	3	42.9	738	52.0	
同乗者		0.0	7	0.5	
合計		7	100.0	1,419	100.0



○ は死者数で内数

内 訳	夜間事故			
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
	うち無灯火	1	14.3	69
無灯火率	死者	100.0	傷者	23.2

#### 4 子どもの事故

##### (1) 概況

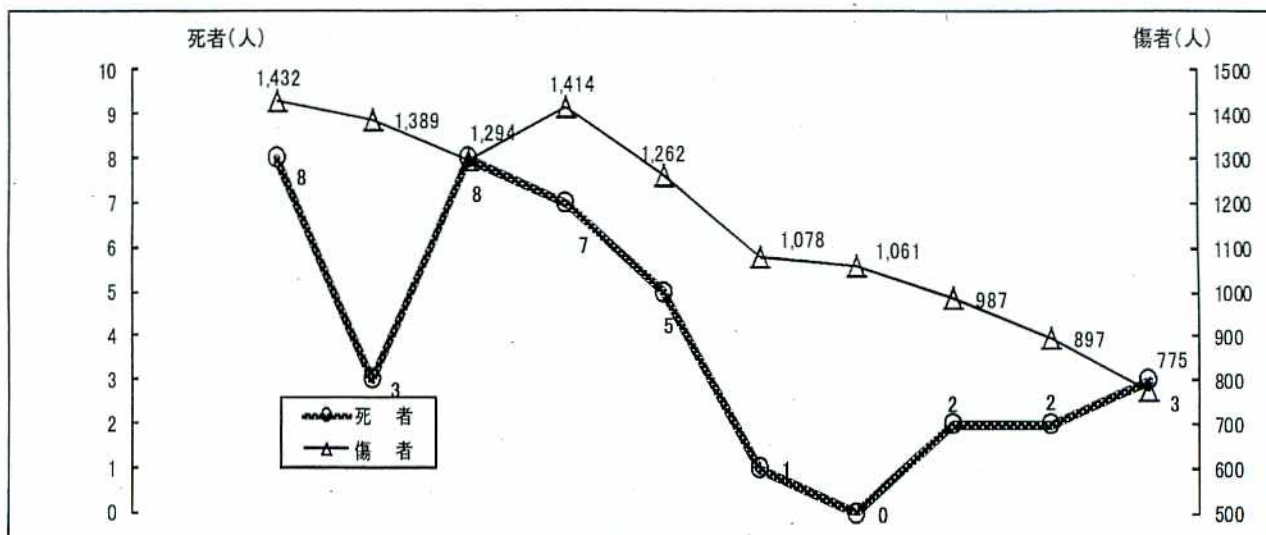
交通事故により死傷した子どもは、

死者数 3人 (前年比 +1人 50.0%増)

傷者数 775人 (前年比 -122人 13.6%減)

で、死者数は増加したが、傷者数は減少した。

全死者に占める割合は 2.7 パーセントで、0.7 ポイント増加し、全傷者に占める割合は 5.8 パーセントで 0.5 ポイント減少した。 (単位：人・%)



区分		年	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22
死傷者	死者		8	3	8	7	5	1	0	2	2	3
	指数		100	38	100	88	63	13	0	25	25	38
	傷者		1,432	1,389	1,294	1,414	1,262	1,078	1,061	987	897	775
	指数		100	97	90	99	88	75	74	69	63	54
全死者・全傷者に占める割合	死者		3.8	1.5	4.7	4.3	3.5	0.7	0.0	1.8	2.0	2.7
	傷者		7.1	7.0	6.7	7.4	6.9	6.2	6.5	6.7	6.3	5.8

##### (2) 月別

死者数は9月に2人、6月に1人、傷者数は11月が90人で最も多く、次いで8月の83人の順となっている。

(単位：人・%)

区分		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者							1			2				3
	傷者		55	63	60	56	64	67	68	83	67	51	90	51	775
全死者・全傷者に占める割合	死者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	2.7
	傷者		5.3	5.7	5.6	5.3	6.4	6.7	6.2	7.0	6.5	4.6	7.3	3.9	5.8

(3) 状態別

傷者は自動車同乗中の 387 人(49.9%)が最も多く、次いで自転車乗用中は運転者 201 人と同乗者 5 人の合計 206 人 (26.6%)、歩行中 178 人(23.0%)の順となっている。

死者は自動車同乗中、自転車乗用中、歩行中にそれぞれ 1 人となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車同乗中	自動二輪乗車中	原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
				運転	同乗	運転	同乗			
死者		1				1		1		3
	構成率(%)	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	100.0
傷者		387				201	5	178	4	775
	構成率(%)	49.9	0.0	0.0	0.0	25.9	0.6	23.0	0.5	100.0

(4) 状態別・学齢別

(単位：人)

歩行者の死傷者は、小学 1 年生が最も多く 35 人、次いで小学 2 年生 28 人の順となっている。

自転車の傷者については、中学生 1 年生の 46 人が最も多くなっており、次いで中学 3 年生、中学 2 年生の順となっている。

学齢	状態	歩行者		自転車		その他		合計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼児	未就学児		14		2	1	91	1	107
	幼稚園児		24		3		68	0	95
	計	0	38	0	5	1	159	1	202
小学生	1 年		35		7		18	0	60
	2 年	1	27		8		27	1	62
	3 年		20	1	14		31	1	65
	4 年		19		14		24	0	57
	5 年		6		19		19	0	44
	6 年		6		18		27	0	51
	計	1	113	1	80	0	146	2	339
中学生	1 年		10		46		23	0	79
	2 年		8		37		27	0	72
	3 年		9		38		36	0	83
	計	0	27	0	121	0	86	0	234
合計	1	178	1	206	1	391	3	775	

(5) 時間別・昼夜別

昼間の死傷者が多く、死者は 66.7 パーセント、傷者は 80.6 パーセントを占めている。

時間別では下校時間帯及び放課後となる 16~18 時の死傷者が 175 人と最も多く、次いで 14~16 時、12~14 時の順となっている。

(単位：人・%)

区分	昼夜	昼間		夜間		合計	
		薄暮		薄暮		薄暮	
死者		2		1		3	0
	構成率(%)	66.7		33.3		100.0	0.0
傷者		625	35	150	33	775	68
	構成率(%)	80.6	4.5	19.4	4.3	100.0	8.8

\* 薄暮時は内数

(単位：人・%)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死者		1						1	1					3
	構成率(%)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100
傷者		5	2	1	78	82	75	99	151	174	94	10	4	775
	構成率(%)	0.6	0.3	0.1	10.1	10.6	9.7	12.8	19.5	22.5	12.1	1.3	0.5	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢で見ると、幼児、小学生は買い物、中学生は登校が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が7.9パーセント、小学生20.4パーセント、中学生38.1パーセントとなっている。(単位：人・%)

通行目的		幼 児		小 学 生		中 学 生		合 計	
		人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)	人数	構成率(%)
通学等	登 校	13	6.4	24	7.1	48	20.8	85	11.0
	学 業 中		0.0	1	0.3		0.0	1	0.1
	下 校	3	1.5	① 44	13.0	40	17.3	① 87	11.3
私 用	観 光・娯 楽	11	5.4	26	7.7	17	7.4	54	7.0
	ド ラ イ ブ	2	1.0		0.0		0.0	2	0.3
	散 歩	6	3.0	① 13	3.8	6	2.6	① 25	3.2
	飲 食	6	3.0	12	3.6	2	0.9	20	2.6
	買 物	57	28.2	52	15.4	42	18.2	151	19.6
	訪 問	24	11.9	43	12.7	18	7.8	85	11.0
	帰 省	① 12	5.9	8	2.4	4	1.7	① 24	3.1
	遊 戯(路 上)	10	5.0	27	8.0		0.0	37	4.8
	疾 病 徘 徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	そ の 他	58	28.7	88	26.0	54	23.4	200	25.9
調 査 不 能			0.0		0.0		0.0	0	0.0
合 計		① 202	100.0	② 338	100.0	231	100.0	③ 771	100.0

○は死者で内数

\*(注) 通行目的が道路外の人等は除く

(7) 場所別等

(単位：人・%)

ア 道路形状別等

子どもの死傷者のうち57.2パーセントが交差点で事故にあっている。

学齢と道路形状で見ると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に中学生による自転車乗用中の交差点事故が91件と多くなっている。

形状	区分	歩行者	自転車	その他	合 計
交 差 点	人数	① 78	① 154	213	② 445
	構成率(%)	17.5	34.6	47.9	
単 路	人数	85	51	① 154	① 290
	構成率(%)	29.3	17.6	53.1	
駐 車 場 等	人数	19	2	22	43
	構成率(%)	44.2	4.7	51.2	
合 計	人数	① 182	① 207	① 389	③ 778
	構成率(%)	23.4	26.6	50.0	

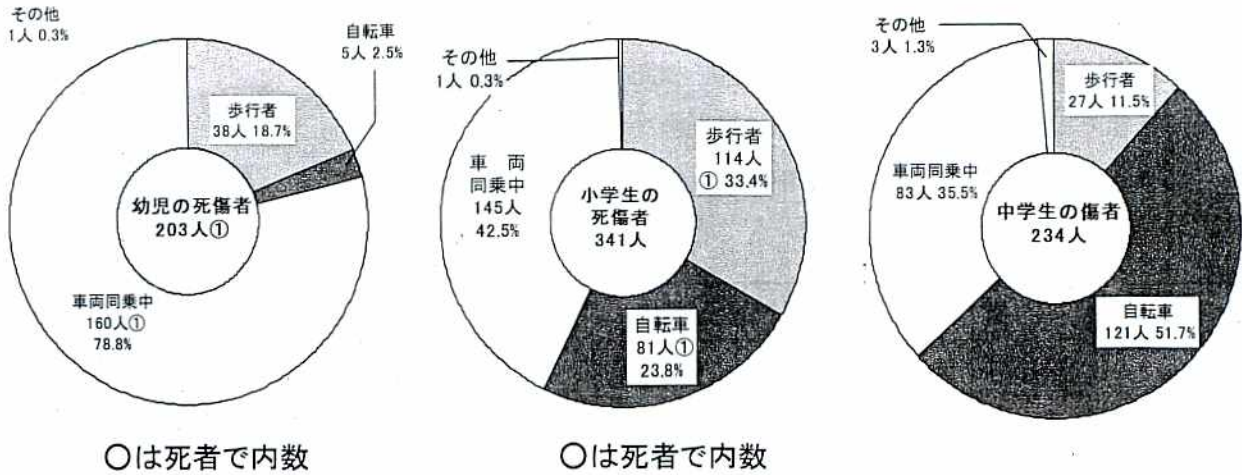
○は死者で内数  
(単位：人)

学 齢	交 差 点				単 路				駐 車 場 等			
	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計	歩行者	自転車	その他	計
幼 児	6	3	86	95	19	2	① 67	① 88	13		7	20
小 学 生	① 52	① 60	80	② 192	57	20	54	131	5	1	12	18
中 学 生	20	91	47	158	9	29	33	71	1	1	3	5
合 計	① 78	① 154	213	② 445	85	51	① 154	① 290	19	2	22	43

○は死者で内数

## イ 死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況を見ると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く 78.8 パーセントを占め、小学生、中学生についても 30 パーセントを超えるなど比率が高くなっている。



## ウ 自宅からの距離

子どもの死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、44.4 パーセントにあたる 169 人が自宅から 500 メートル以内で事故に遭っている。(単位: 人・%)

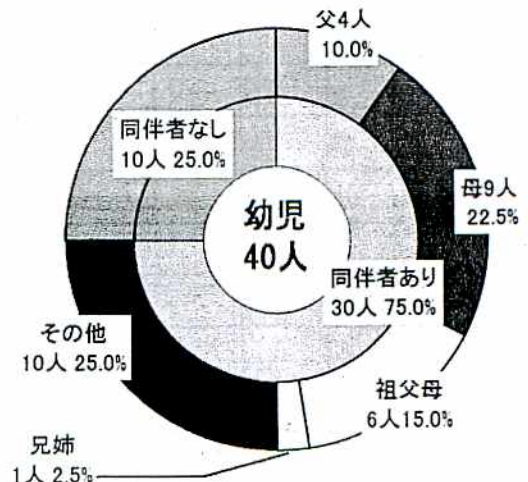
区分 距離	歩行者				自転車				合計					
	幼児	小学生	中学生	小計	幼児	小学生	中学生	小計	構成率 (%)	構成率 (%)				
	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)				
50 m 以下	10	20	0.0	30	0	5	4	9	26.3	17.5	16.8	4.5	39	10.2
100m 以下	4	11	0.0	15	2	5	7	14	10.5	9.6	8.4	6.9	29	7.6
500m 以下	3	31	8	42	0	31	28	59	7.9	27.2	23.5	29.2	101	26.5
1 km 以下	0	25	6	31	0	20	28	48	0.0	21.9	17.3	23.8	79	20.7
2 km 以下	2	9	6	17	0	9	32	41	5.3	7.9	9.5	20.3	58	15.2
2 km 超過	19	18	7	44	0	9	22	31	50.0	15.8	24.6	15.3	75	19.7
調査不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
合計	38	114	27	179	2	79	121	202	100.0	100.0	100.0	100.0	381	100.0

\*自転車同乗者5名は含まない

## エ 幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故にあった傷者のうち、自転車の同乗者等 3 人を除く 40 人の中で、75.0 パーセントが「同伴者あり」となっている。

同伴者の中で一番多いのは母親、次いで祖父母の順となっている。



(8) 事故類型

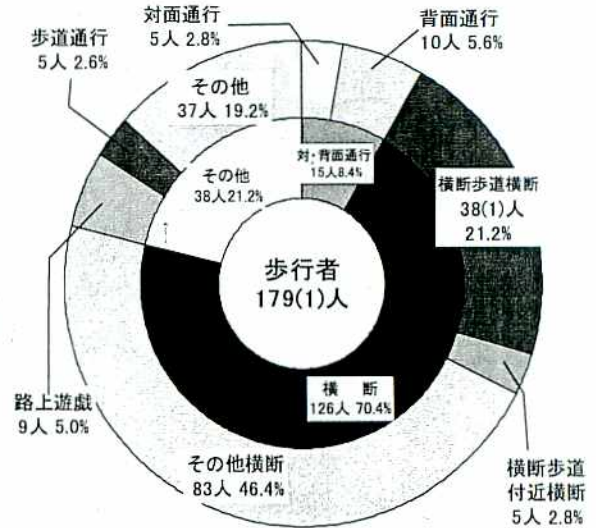
ア 歩行者

状態別では横断中が 126 人と多く歩行者被害の 70.4 パーセントを占め、特に横断歩道以外の場所が 83 人と多く横断中傷者の 65.9 パーセントを占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機のない横断歩道以外の場所での小学生の傷者が目立っている。

(単位：人)

学齢	横断場所	横断歩道		横断歩道以外	
		信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児		2		1	18
小学生		14	13	2	55
中学生		6	3	1	11



( ) は死者で内数

イ 自転車

事故類型別では、出会い頭事故の死傷者が 143 人で、自転車乗用中の 69.1 パーセントを占め最も多く、次いで左折時 21 人、右折時 15 人の順となっている。

また、道路形状別では、交差点での死傷者が 154 人と多く、自転車乗用中死傷者の 74.4 パーセントを占めている。

(単位：人・%)

事故類型	道路形状等	交 差 点		計	その他	合 計	幼 児		小 学 生		中 学 生	
		交差点内	交差点付近				構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点
人 対 車 両				0		0	0.0					
車 両 相 互	正 面 衝 突	1		1	7	8	3.9			4	1	3
	追 突		2	2	1	3	1.4				2	1
	出 会 い 頭	① 119	2	① 121	22	① 143	69.1	3	2	① 52	11	66
	追 越 ・ 追 抜	1		1	2	3	1.4				1	2
	転 回 ・ 後 退 時			0	2	2	1.0				1	1
	進 路 変 更 ・ す れ 違 い 時			0	5	5	2.4					5
	右 折 時	14		14	1	15	7.2			4		10
左 折 時	14		14	7	21	10.1			4	1	10	
そ の 他	1		1	2	3	1.4				2	1	
計		① 150	4	① 154	49	① 203	98.1	3	2	① 60	19	91
車 両 単 独				0	4	4	1.9				2	2
列 車				0		0	0.0					
合 計		① 150	4	① 154	53	① 207	100.0	3	2	① 60	21	91

\* 自転車同乗者5人を含む ○は死者で内数

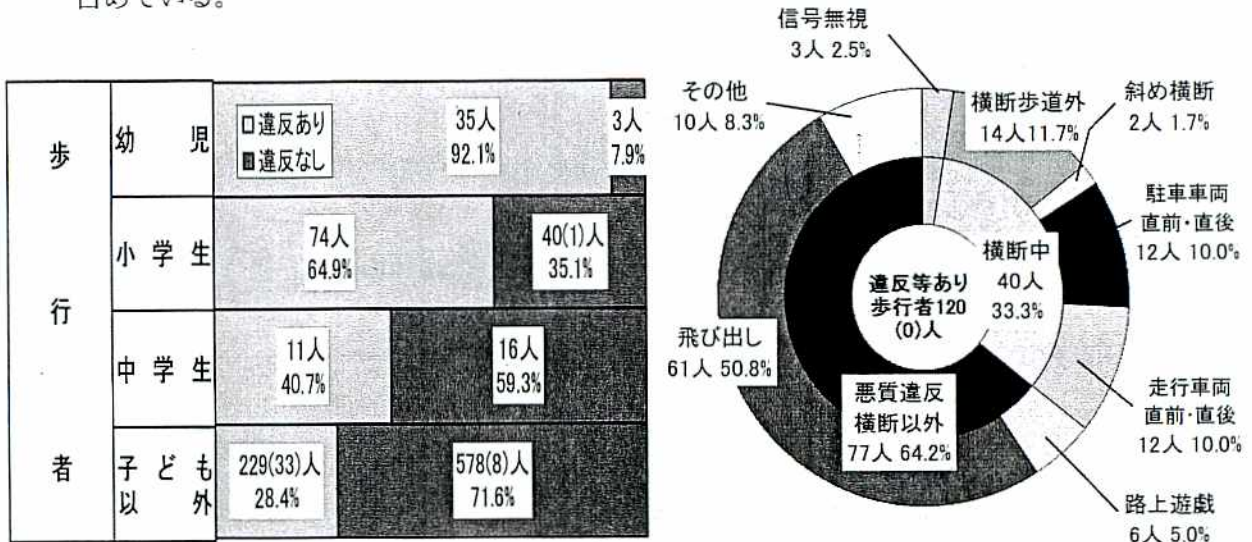


(9) 違反別

ア 歩行者

歩行者の死傷者 179 人のうち、何らかの違反が認められた者は 120 人で、子どもの歩行中事故の 67.0 パーセントを占めている。

違反の内容をみると、飛び出しが 61 人と最も多く、違反のあった歩行者の 50.8 パーセントを占めている。

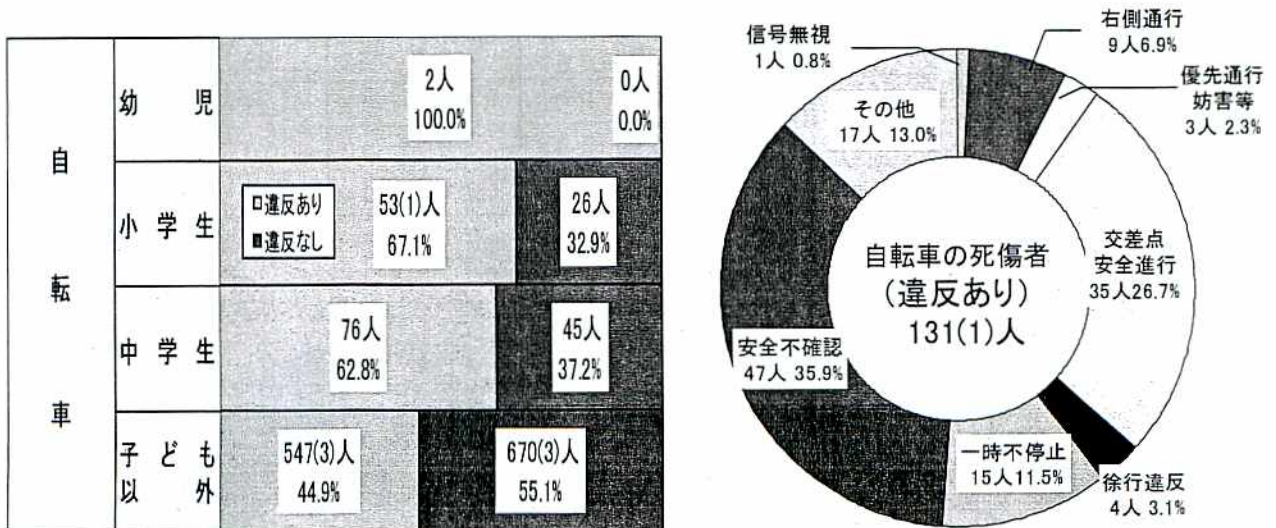


( ) は死者で内数

イ 自転車

同乗者を除く自転車の死傷者 202 人のうち、何らかの違反が認められたのは 131 人で自転車傷者の 64.9 パーセントを占めている。

違反の内容をみると安全不確認が最も多く 47 人で 35.9 パーセントを占めており、次いで差点安全進行義務違反が 35 人と多くなっている。



※ 自転車同乗者 5 人 (幼児 3 人、小学生 2 人) は含まない

( ) は死者で内数

## 5 高校生の事故

### (1) 高校生の事故

#### ア 概況

高校生が第1当事者となった事故は、

発生件数 26件 (前年比 -6件 18.8%減)

死者数 1人 (前年比 ±0人 ——)

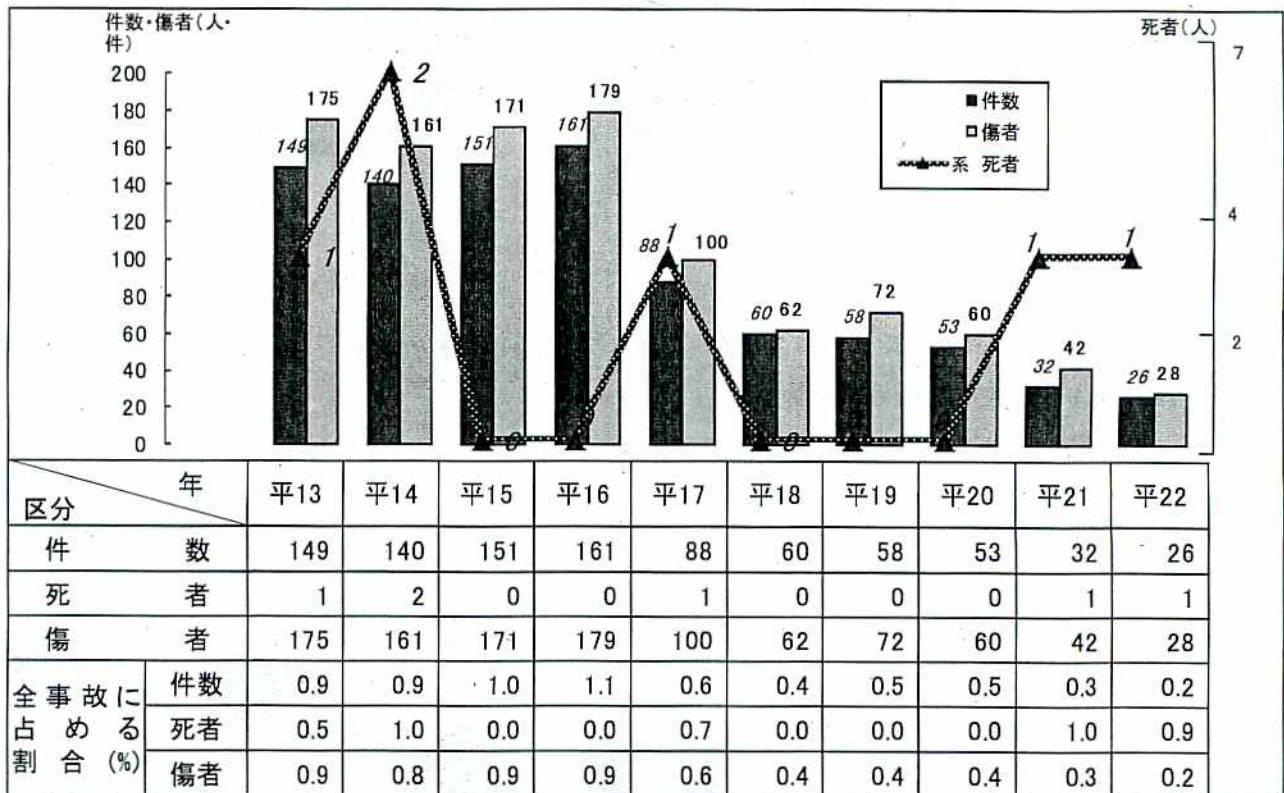
傷者数 28人 (前年比 -14人 33.3%減)

で、発生件数、傷者数とも減少し、死者は前年同数であった。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成16年の161件、最も少ないのが平成22年の26件と6分の1以下に減少している。

死者は平成14年の2人が最も多く、平成13、17、21、22年の1人、他は0人となっている。

(単位：件・人・%)

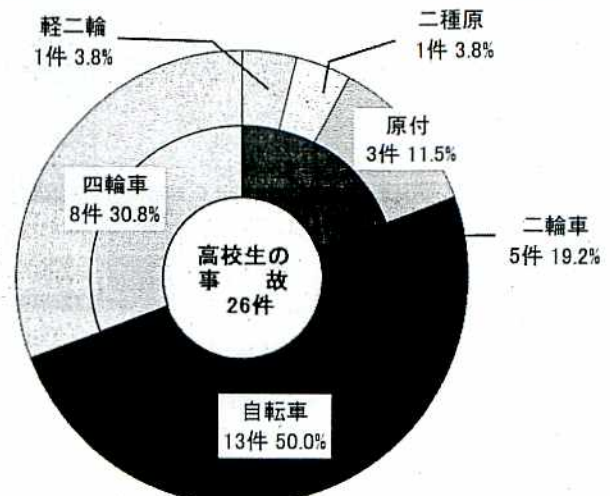


#### イ 当事車種別

高校生が第1当事者となった事故は、

自転車が13件で最も多く、次いで、四輪車の8件となっている。

二輪車の中では、原付が3件、軽二輪二種原付がそれぞれ1件であった。



ウ 違反別

前方不注意による事故が 11 件と多く、次いで安全不確認が 4 件となっている。

(単位：件・%)

違反	区分	高校生事故		全事故		違反	区分	高校生事故		全事故	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	0.0	407	3.8	徐行違反		0.0	108	1.0		
	最高速度	0.0	15	0.1	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	3	11.5	878	8.2	
	通区・追越	1	3.8	127		1.2	前方不注意	11	42.3	3,033	28.4
	歩行者妨害等		0.0	294		2.8	動静不注視	3	11.5	1,488	14.0
	一時不停止	1	3.8	385		3.6	安全不確認	4	15.4	2,370	22.2
	酒酔い運転		0.0	20		0.2	安全速度	1	3.8	206	1.9
	計	2	7.7	1,248		11.7	その他		0	45	0
横断禁止等		0.0	19	0.2		計	22	84.6	8,020	75.2	
右・左折違反		0.0	47	0.4	その他		0.0	126	1.2		
優先通行妨害等		0.0	282	2.6	合計	26	100.0	10,665	100.0		
交差点安全進行	2	7.7	815	7.6	無免許(内数)	1	3.8	33	0.3		

高校生の事故を全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が全事故より 9.4 ポイント高くなっている。

特に、前方不注意が 42.3 パーセントと約 1.5 倍になっている。

違反	悪質違反	安全運転義務違反	その他
高校生による事故	2件 7.7%	22件 84.6%	2件 7.7%
全事故	1,248件 11.7%	8,020件 75.2%	1,397件 13.1%

エ 道路形状別・当事者別

高校生が第 1 当事者となる事故は自転車による事故が 13 件と最も多く、次いで自動車の 8 件となっている。

場所的特徴では、交差点の事故が 8 件発生し、30.8 パーセントを占めている。

(単位：件)

道路形状	交差点	その他			カーブ(内数)	
		付近(内数)	合計	右	左	
自動車	4	2	4	8	2	
二輪車	小型二輪			0		
	軽二輪		1	1		
	原付二種		1	1		
	原付	1	2	3		1
計	1	0	4	5	0	1
自転車	3	2	10	13		
歩行者				0		
合計	8	4	18	26	2	1

## (2) 高校生の被害

### ア 概 況

交通事故で被害にあった高校生は

死者数 1人(前年比 ±0人 ——)

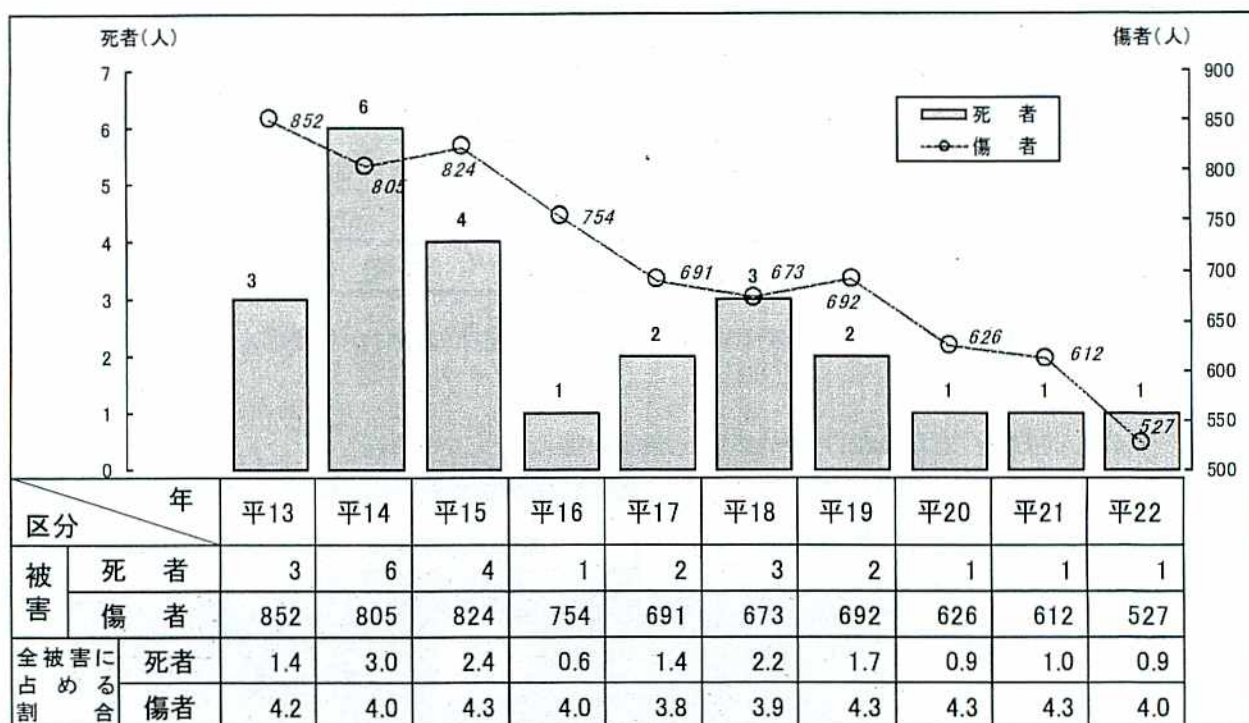
傷者数 527人(前年比 -85人 13.9%減)

で、傷者数は減少したが、死者は前年と同数であった。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成14年の6人、最も少ないのは平成16、20、21、22年の各1人となっている。

傷者が最も多いのは平成13年の852人で、最も少ないのは平成22年の527人となっている。

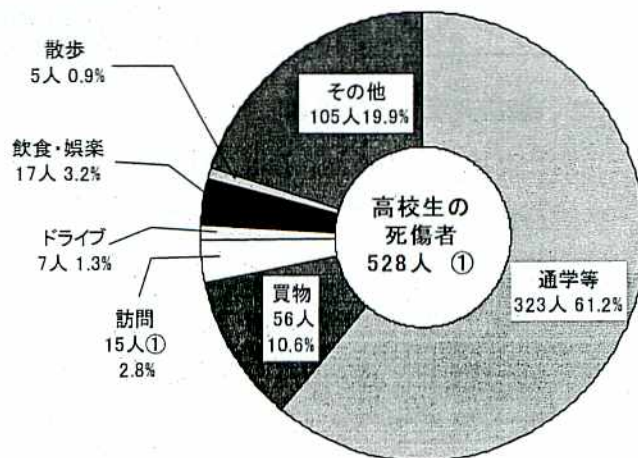
(単位：人・%)



### イ 通行目的

通学時に死者はいないものの傷者は323人で高校生死傷者の61.2パーセントを占め最も多い。

次いで買い物の56人となっており、死者は訪問の1名となっている。



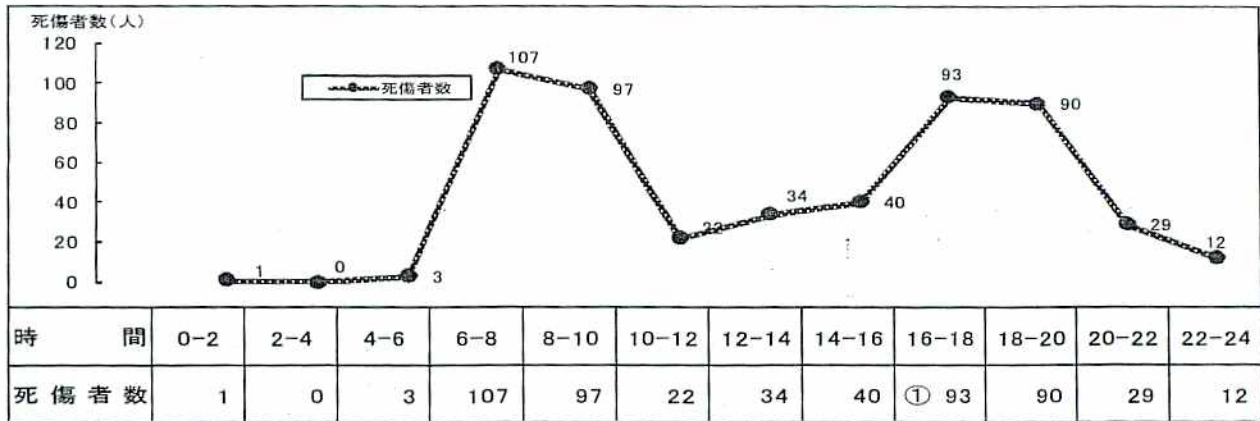
○は死者数で内数

ウ 時間別

死傷者数は登・下校時間帯に多く、特に6～8時が107人、8～10時が97人、16～18時が93人と多く、この時間帯の死傷者は、高校生死傷者の56.3パーセントを占めている。

死者は1人で16～18時の発生となっている。

(単位：人)



(注) ○は死者数で内数

エ 状態別

高校生の死者は1人で、原付運転中の事故である。

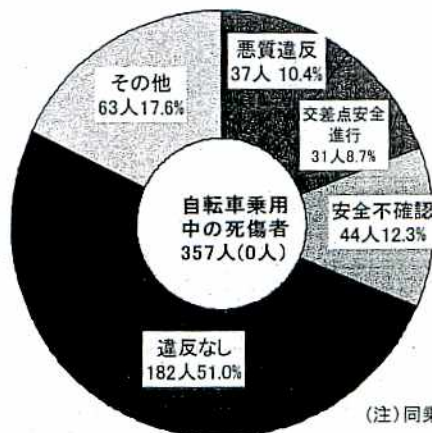
傷者は自転車乗用中が359人と最も多く高校生傷者の68.1パーセントを占め、次いで自動車同乗中の115人(21.8%)、歩行中の33人(6.3%)の順となっている。

(単位：人・%)

区分	状態	自動車		自動二輪車		原付乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中					
死者						1				1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
傷者		10	115	7	0	3	359	33	0	527
	構成率(%)	1.9	21.8	1.3	0.0	0.6	68.1	6.3	0.0	100.0

傷者の多い自転車、原付の違反状況をみると、自転車約5割、原付約5割に何らかの違反が認められた。

原付は、悪質違反1人、安全不確認1人、自転車は安全不確認44人、悪質違反37人、交差点安全進行義務違反31人の順となっている。



(注) 同乗者2名を除く



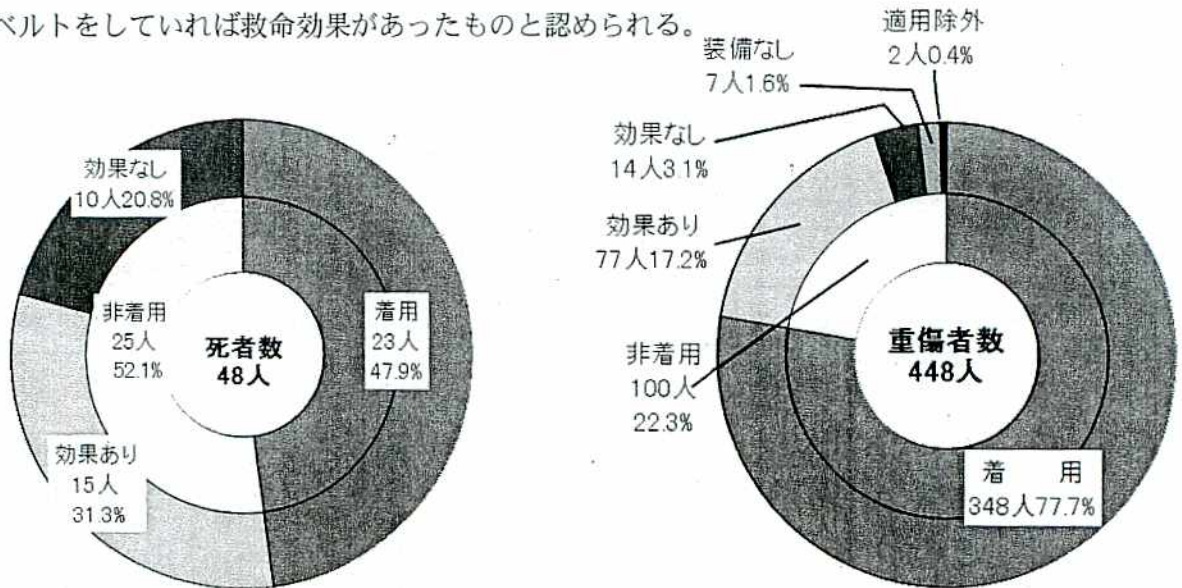
(注) (○)は死者数で内数

## 6 自動車のシートベルト着用状況

### (1) 死傷者のシートベルト着用状況

死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、重傷者、軽傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用率の効果の有無を死者でみると、非着用者 25 人中 15 人 (60.0%) はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。

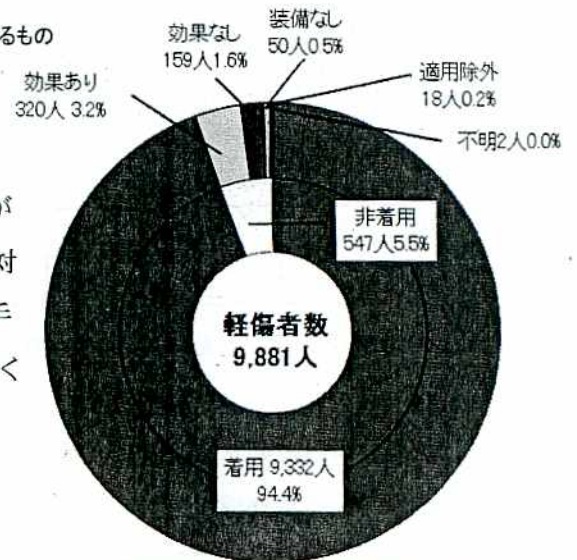


(注) 効果あり……シートベルトを着用していれば、  
損傷部位等から怪我の程度が軽くなると予想されるもの  
効果なし……シートベルトを着用していても、損傷部位等から  
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

### (2) 座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が 98.0 パーセント、助手席が 95.1 パーセント、後部席が 56.8 パーセントであるのに対して、死者の着用率は、運転席が 51.3 パーセント、助手席が 50.0 パーセント、後部座席が 28.6 パーセントと低くなっている。

死者、傷者とも後部座席の着用率が最も低い。



座席	死者	着用		非着用	
		人数	割合	人数	割合
運転席	死者	39人	20人 51.3%	19人	48.7%
	傷者	7,916人	7,754人 98.0%	162人	2.0%
助手席	死者	2人	1人 50.0%	1人	50.0%
	傷者	1,450人	1,379人 95.1%	71人	4.9%
後部席	死者	7人	2人 28.6%	5人	71.4%
	傷者	963人	547人 56.8%	414人	43.0%

不明 2人 0.2%

(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、25～29歳が0.0パーセントと最も低く、次いで50歳代が33.3パーセントと低くなっている。

傷者は40歳代が96.7パーセントと最も高く、60歳代が75.0パーセントと最も着用率が低い。

(単位：人・%)

年齢	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
20歳未満	死 者	2	2	100.0				1	1	100.0	3	3	100.0
	傷 者	134	125	93.3	256	231	90.2	345	197	57.1	735	553	75.2
20～24歳	死 者	4	2	50.0							4	2	50.0
	傷 者	766	747	97.5	164	155	94.5	70	37	52.9	1,000	939	93.9
25～29歳	死 者							2		0.0	2		0.0
	傷 者	893	879	98.4	132	126	95.5	68	38	55.9	1,093	1,043	95.4
30歳代	死 者	4	2	50.0	1	0	0.0				5	2	40.0
	傷 者	1,881	1,841	97.9	205	195	95.1	99	55	55.6	2,185	2,091	95.7
40歳代	死 者	6	3	50.0							6	3	50.0
	傷 者	1,630	1,605	98.5	154	151	98.1	77	44	57.1	1,861	1,800	96.7
50歳代	死 者	6	2	33.3							6	2	33.3
	傷 者	1,361	1,344	98.8	182	178	97.8	77	37	48.1	1,620	1,559	96.2
60～64歳	死 者	3	2	66.7	1	1	100.0				4	3	75.0
	傷 者	539	526	97.6	110	108	98.2	48	24	50.0	697	658	94.4
65～69歳	死 者	3	2	66.7				1	1	100.0	4	3	75.0
	傷 者	359	352	98.1	84	81	96.4	45	31	68.9	488	464	95.1
70歳以上	死 者	11	5	45.5				3		0.0	14	5	35.7
	傷 者	353	335	94.9	163	154	94.5	134	84	62.7	650	573	88.2
合 計	死 者	39	20	51.3	2	1	50.0	7	2	28.6	48	23	47.9
	傷 者	7,916	7,754	98.0	1,450	1,379	95.1	963	547	56.8	10,329	9,680	93.7

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、0～2時が75.0パーセントと最も高く、8～10時、20～22時が0.0パーセントと最も低い。

傷者は6～8時が96.2パーセントと最も高く、22～24時が85.1パーセントと最も低い。

(単位：人・%)

時間	区分	運 転 席			助 手 席			後 部 席			合 計		
		総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率	総 数	着用者	着用率
0～2	死 者	2	2	100.0				2	1	50.0	4	3	75.0
	傷 者	81	76	93.8	27	22	81.5	12	6	50.0	120	104	86.7
2～4	死 者	4	2	50.0	1	1	100.0				5	3	60.0
	傷 者	69	62	89.9	15	14	93.3	16	12	75.0	100	88	88.0
4～6	死 者	7	3	42.9	1	0	0.0				8	3	37.5
	傷 者	81	77	95.1	18	14	77.8	13	9	69.2	112	100	89.3
6～8	死 者	3	2	66.7							3	2	66.7
	傷 者	914	901	98.6	88	85	96.6	55	31	56.4	1,057	1,017	96.2
8～10	死 者	3	0	0.0							3	0	0.0
	傷 者	1,152	1,128	97.9	149	141	94.6	125	70	56.0	1,426	1,339	93.9
10～12	死 者	2	1	50.0				2	1	50.0	4	2	50.0
	傷 者	1,002	984	98.2	197	190	96.4	143	74	51.7	1,342	1,248	93.0
12～14	死 者	3	1	33.3							3	1	33.3
	傷 者	901	889	98.7	221	214	96.8	129	69	53.5	1,251	1,172	93.7
14～16	死 者	3	2	66.7				1		0.0	4	2	50.0
	傷 者	982	965	98.3	227	217	95.6	148	95	64.2	1,357	1,277	94.1
16～18	死 者	5	2	40.0							5	2	40.0
	傷 者	1,250	1,225	98.0	231	224	97.0	152	93	61.2	1,633	1,542	94.4
18～20	死 者	3	2	66.7							3	2	66.7
	傷 者	943	927	98.3	167	158	94.6	104	65	62.5	1,214	1,150	94.7
20～22	死 者							1		0.0	1	0	0.0
	傷 者	368	355	96.5	71	67	94.4	36	15	41.7	475	437	92.0
22～24	死 者	4	3	75.0				1		0.0	5	3	60.0
	傷 者	173	165	95.4	39	33	84.6	30	8	26.7	242	206	85.1
合 計	死 者	39	20	51.3	2	1	50.0	7	2	28.6	48	23	47.9
	傷 者	7,916	7,754	98.0	1,450	1,379	95.1	963	547	56.8	10,329	9,680	93.7

(5) 6歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した6歳未満の幼児は

死者数 1人(前年比 -1人 50.0%減)  
 傷者数 156人(前年比 -32人 17.0%減)

で、死者数、傷者数とも減少した。

乗車位置別死傷者数は、助手席が47人(うち死亡0人)、後部座席が109人(うち死亡1人)となっている。

助手席

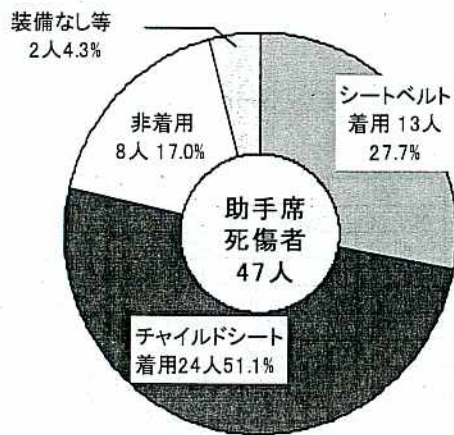
(単位:人)

助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	13		1
	チャイルドシート	24		2
	計	37	0	3
非着用	効果あり	6		
	効果なし	2		
	計	8	0	0
装備なし等		2		
合計		47	0	3

後部座席

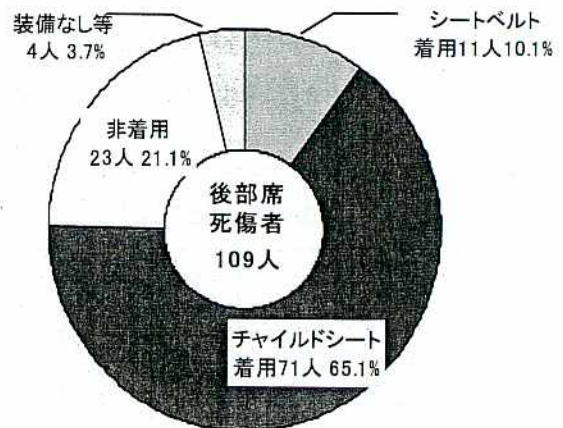
(単位:人)

後部座席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用の有無等				
着用	シートベルト	11		
	チャイルドシート	71	1	4
	計	82	1	4
非着用	効果あり	19		1
	効果なし	4		
	計	23	0	1
装備なし等		4		
合計		109	1	5



効果あり	6人
効果なし	2人

死亡	0人
重傷	3人



効果あり	19人
効果なし	4人

死亡	1人
重傷	5人



## 7 青年運転者の事故

### (1) 概 況

青年運転者（25歳未満の運転者）が第1当事者となった事故は、

発生件数 1,717件（前年比 -228件 11.7%減）

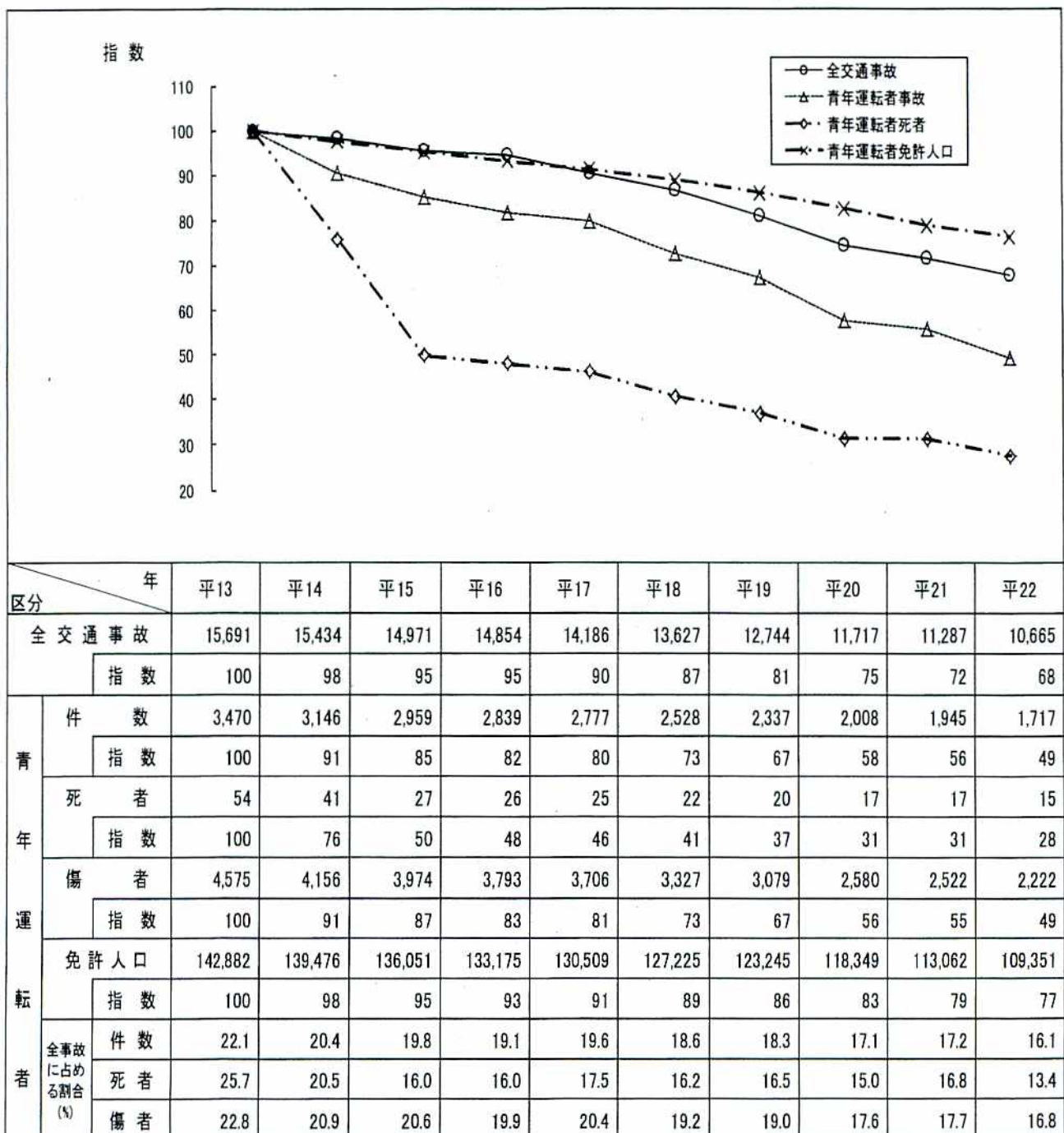
死者数 15人（前年比 -2人 11.8%減）

傷者数 2,222人（前年比 -300人 11.9%減）

で、発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

全事故に占める割合は、件数が16.1パーセント、死者数13.4パーセント、傷者数16.8パーセントとなっている。

(単位：件・人・%)



(2) 車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が 829 件で最も多く、青年運転者の 48.3 パーセントを占めている。

違反別では、前方不注意が 582 件で最も多く 33.9 パーセントを占めている。

悪質違反による事故は 173 件で青年運転者の 10.1 パーセントを占め、うち一時不停止が 57 件と最も多く、次いで信号無視 53 件、通行区分・追い越し 25 件の順となっている。(単位：件)

違反	車種	自動車							二輪車				合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	特殊	小	二軽	二原	二原付	
悪質違反	信号無視		23	26		1	1		2				53
	最高速度		3	1									4
	通区・追越		8	17									25
	歩行者妨害等		20	12		1							33
	一時不停止		29	21		2	1					4	57
	酒酔い運転			1									1
	計	0	83	78	0	4	2	0	2	0	0	4	173
横断禁止等		1	1									2	
右折違反		2	1								1	4	
左折違反		2	1									3	
優先通行妨害等		18	17			3					2	40	
交差点安全進行		40	37		4	3				2	3	89	
徐行違反		3	7									10	
過労運転		6	3			1						10	
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		99	65	1	9	5		2	2		1	184
	前方不注意		269	253	7	21	17		2	3	2	8	582
	動静不注視		134	124	4	7	9					2	280
	安全不確認		143	120	5	5	10					5	288
	安全速度		26	14			1			1			42
	その他		1	1		2						2	6
計	0	672	577	17	44	42	0	4	6	2	18	1,382	
その他		2	1		1							4	
合計	0	829	723	17	53	51	0	6	6	4	28	1,717	

(3) 時間別・道路別

時間別では、18～20 時が 303 件と最も多く、次いで 16～18 時の 272 件となっている。

道路別では、国道が 614 件と最も多く、次いで市町村道の 602 件となっており、国道と市町村道を合わせると、青年運転者事故の 70.8 パーセントを占めている。(単位：件)

区分	時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
		国道	4号	2	6		12	16	16	20	19	29	35	
6号	3		1	1	16	10	12	13	16	28	32	13	5	150
13号					4	3	1	7	2	7	7	5	2	38
49号			1	1	14	11	6	7	11	9	14	4	2	80
三桁	3		1	2	24	19	12	16	19	28	30	8	8	170
計	8		9	4	70	59	47	63	67	101	118	43	25	614
県道		8	8	3	56	52	36	33	37	63	73	35	20	424
市町村道		11	6	5	76	71	50	61	53	91	100	47	31	602
高速道						3	4	1	1	5				14
その他		2		1	1	5	4	6	10	12	12	6	4	63
合計		29	23	13	203	190	141	164	168	272	303	131	80	1,717

(4) 事故類型別

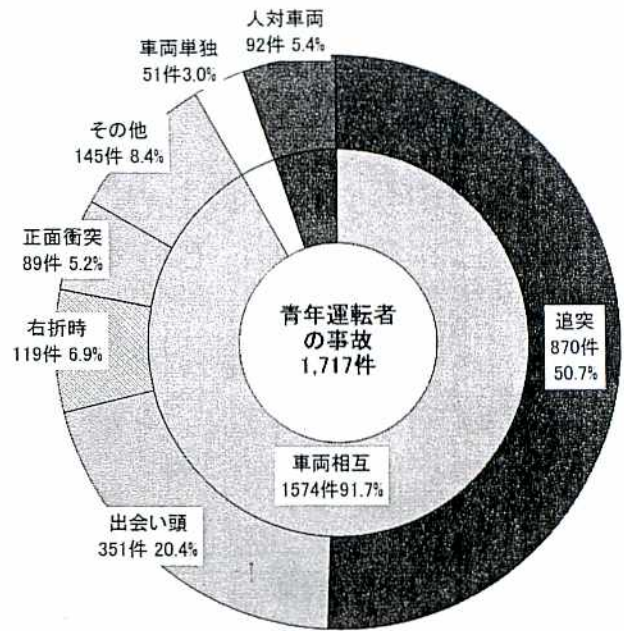
車両相互が1,574件で青年運転者事故の91.7パーセントを占めている。

特に

追 突： 870件 (50.7%)

出会い頭： 351件 (20.4%)

が多く、両事故類型を合わせると1,221件で車両相互の71.1パーセントを占めている。

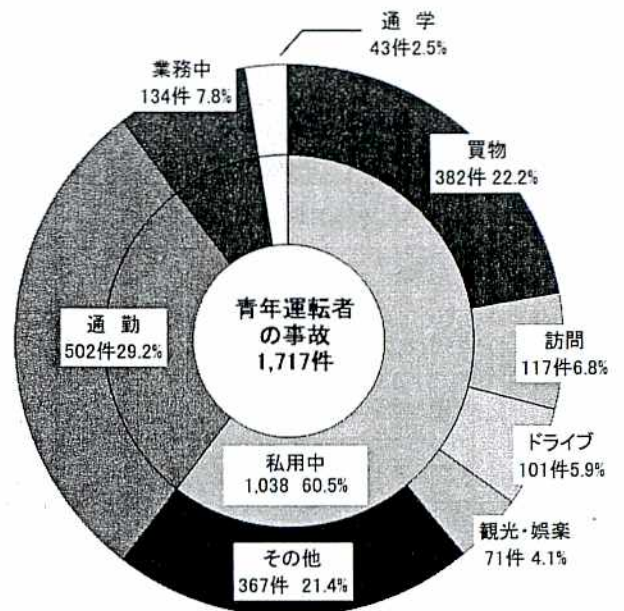


(5) 通行目的別

私用中が1,038件で青年運転者事故の60.5パーセントを占めている。

特に、買物、訪問、ドライブの事故が多くなっており、併せると600件で私用中事故の57.8パーセントを占めている。

また、通勤時の事故も502件発生しており、青年運転者事故の29.2パーセントを占めている。



(6) 車種別・速度別 (事故直前速度)

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が1,564件で最も多く、青年運転者事故の91.1パーセントを占めている。

車種別でみると、普通乗用車と軽乗用車の速度が他の車種に比べ速くなっている。 (単位: 件)

速度	自動車										二輪車				合計
	大乗	中乗	普通乗	軽乗	大貨	中貨	普貨	軽貨	特貨	特殊	小	二軽	二原	二原付	
停止中				1											1
50 km/h以下			758	656	3	12	47	47			5	4	4	28	1,564
60 km/h以下			50	49		1	5	3							108
70 km/h以下			12	13				1				2			28
80 km/h以下			4	1							1				6
90 km/h以下				2			1								3
100 km/h以下			4			1									5
101 km/h以上			1	1											2
調査不能															0
合計	0	0	829	723	3	14	53	51	0	6	6	4	28	1,717	

(7) 人的原因別

発見の遅れが1,153件と多く、青年運転者による事故の67.2パーセントを占めている。

中でも外在的要因（脇見等）が479件で発見の遅れ全体の41.5パーセントを占めている。

交通事故の人的原因(第1当)				(単位:件・人)
合	計	件	数	1,717
		死	者	15
		傷	者	2,213
<b>発見の遅れ</b>				
	計	件	数	1,153
		死	者	13
		傷	者	1,491
<b>前方不注意</b>				
	計	件	数	663
		死	者	9
		傷	者	899
<b>内在的(漫然等)</b>				
	計	件	数	184
		死	者	6
		傷	者	253
<b>居眠り運転</b>				
		件	数	18
		死	者	23
<b>ラジオ・ステレオを聴いていた</b>				
		件	数	1
		死	者	1
<b>雑談や携帯電話等で話していた</b>				
		件	数	10
		死	者	18
<b>その他、考え事等の漫然運転</b>				
		件	数	155
		死	者	6
		傷	者	211
<b>外在的(脇見等)</b>				
	計	件	数	479
		死	者	3
		傷	者	646
<b>物を落としたり、物を取ろうとした</b>				
		件	数	72
		死	者	97
<b>同乗者、同乗の動物等に脇見</b>				
		件	数	29
		死	者	43
<b>カセットテープ、携帯電話等を操作していた</b>				
		件	数	36
		死	者	48
<b>テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた</b>				
		件	数	12
		死	者	15
<b>雑誌、地図帳等を見ていた</b>				
		件	数	6
		死	者	9
<b>道、案内標識等を探して脇見</b>				
		件	数	21
		死	者	29
<b>風景、地物等に脇見</b>				
		件	数	121
		死	者	1
		傷	者	175
<b>他の車、歩行者に脇見</b>				
		件	数	73
		死	者	1
		傷	者	85
<b>バックミラーやドアミラーを見ていた</b>				
		件	数	18
		死	者	23
<b>その他脇見</b>				
		件	数	91
		死	者	1
		傷	者	122
<b>安全不確認</b>				
	計	件	数	490
		死	者	4
		傷	者	592
<b>安全確認をしなかった</b>				
		件	数	230
		死	者	2
		傷	者	270
<b>安全確認が不十分だった</b>				
		件	数	260
		死	者	2
		傷	者	322

交通事故の人的原因(第1当)				(単位:件・人)	
<b>判断の誤り等</b>		計	件	数	374
			死	者	0
			傷	者	485
<b>動静不注視</b>		計	件	数	302
			死	者	0
			傷	者	390
<b>相手が譲ってくれると思って注視を怠った</b>			件	数	15
			死	者	18
<b>他の危険を避けようとして注視を怠った</b>			件	数	7
			死	者	8
<b>その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った</b>			件	数	280
			死	者	364
<b>予測不適</b>		計	件	数	29
			死	者	0
			傷	者	34
<b>運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った</b>			件	数	15
			死	者	18
<b>相手がルールを守ると思った</b>			件	数	1
			死	者	1
<b>相手が譲ってくれる、停止してくれると思った</b>			件	数	2
			死	者	2
<b>他の事故(危険)を避けようと思った</b>			件	数	11
			死	者	13
<b>その他相手の行動予見等の判断を誤った</b>			件	数	43
			死	者	0
			傷	者	61
<b>交通環境</b>		計	件	数	6
			死	者	11
<b>道路形状、道路線形に対する認識を誤った</b>			件	数	28
			死	者	34
<b>道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った</b>			件	数	4
			死	者	4
<b>交通規制に対する認識を誤った</b>			件	数	2
			死	者	5
<b>交通安全施設に対する認識を誤った</b>			件	数	3
			死	者	7
<b>障害物等に対する認識を誤った</b>			件	数	190
			死	者	2
			傷	者	237
<b>操作上の誤り(操作不適)</b>		計	件	数	25
			死	者	31
<b>ブレーキとアクセルの踏み違い</b>			件	数	78
			死	者	96
<b>ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ</b>			件	数	52
			死	者	61
<b>急ブレーキをかけた</b>			件	数	1
			死	者	1
<b>エンジン・ブレーキを使用しなかった</b>			件	数	26
			死	者	2
<b>ハンドルの操作不適</b>			件	数	38
			死	者	1
<b>ギヤの入れ違い</b>			件	数	2
			死	者	3
<b>ブレーキをかけながらハンドル操作</b>			件	数	4
			死	者	4
<b>オートスピードコントロール装置等の操作不適</b>			件	数	4
			死	者	4
<b>その他の操作不適</b>			件	数	4
			死	者	4
<b>調査不能</b>			件	数	
			死	者	
			傷	者	

## 8 高齢者の事故 (65 歳以上)

### (1) 高齢運転者による事故

#### ア 概 況

高齢運転者 (65 歳以上の運転者) が第 1 当事者となった事故は、

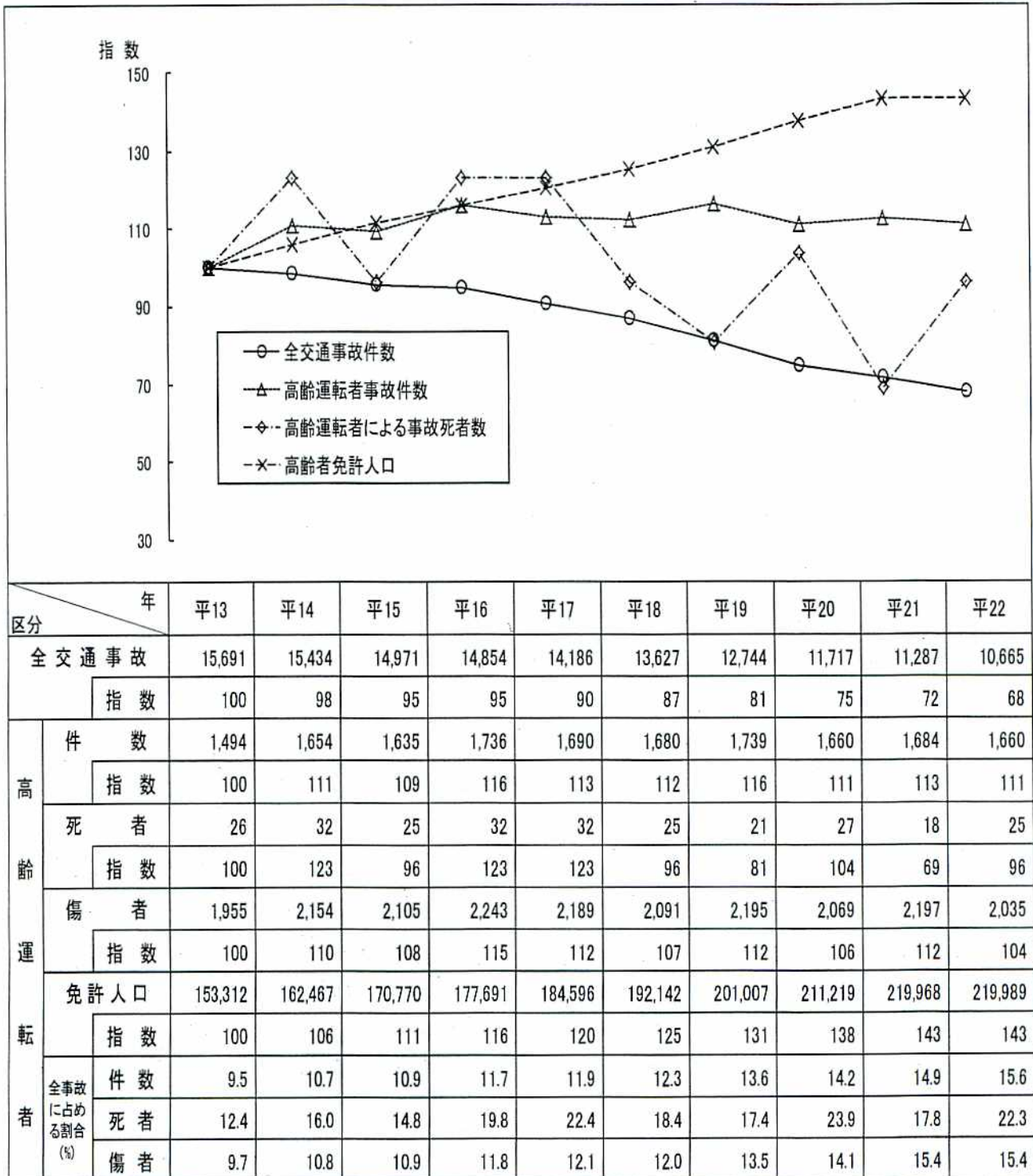
発生件数 1,660 件 (前年比 -24 件 1.4%減)

死者数 25 人 (前年比 +7 人 38.9%増)

傷者数 2,035 人 (前年比 -162 人 7.4%減)

で、発生件数、傷者数は減少したものの死者数は増加した。

(単位：件・人・%)



### イ 時間別・道路別

時間別では10～12時が326件と最も多く、次いで14～16時の280件、16～18時の272件の順となっている。

8時～18時までの発生は1,390件と高齢運転者事故の83.7パーセントを占めている。

また、路線別では県道、市町村道のいわゆる生活道路で多発し、1,131件と高齢運転者事故の68.1パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	時間	時間											合計	昼間	夜間	
		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22				22-24
国 道	4号	2		1	1	11	14	18	12	18	11	1	1	90	70	20
	6号				1	13	13	17	15	17	8	2		86	68	18
	13号	1			2	3	5	3	1	4	4	1		24	17	7
	49号	1			1	7	9	7	10	5	4	3	1	48	38	10
	三桁計		1	1	7	23	37	28	25	32	9	2	1	166	142	24
道計		4	1	2	12	57	78	73	63	76	36	9	3	414	335	79
県道	1		4	28	71	71	50	71	60	26	4	1	387	329	58	
	市町村道	3	1	11	43	126	147	99	129	120	48	13	4	744	650	94
生活道路計		4	1	15	71	197	218	149	200	180	74	17	5	1,131	979	152
高速道							1	2	1	1	1	1		7	4	3
その他			1	3	11	29	23	16	15	8	1	1		108	99	9
合計		8	2	18	86	265	326	247	280	272	119	28	9	1,660	1,417	243

### ウ 車種別

車種別では普通乗用車が889件で、高齢運転者事故の53.6パーセントを占め、次いで軽乗用の339件、軽貨物の323件と続いている。

また、二輪車による事故は40件で高齢運転者事故の2.4パーセントを占め、全運転者事故における二輪車事故の占める割合である1.7パーセントを上回っている。

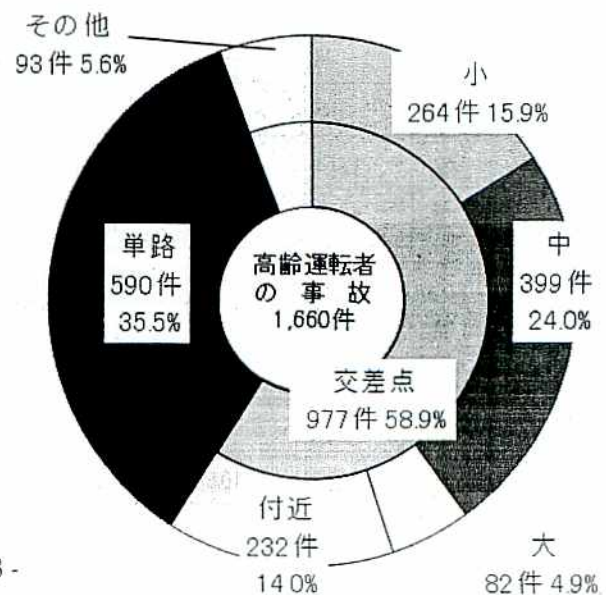
(単位：件)

年齢	車種	四輪車						特殊車	二輪車			合計
		普乗	普貨	軽乗	軽貨	中型	大型		自二	原二	原付	
65～69歳		354	25	121	96	7	3	1			2	609
70歳代		431	11	174	175	5	5	3	1	1	22	828
80歳以上		104	7	44	52	1		1			14	223
合計		889	43	339	323	13	8	5	1	1	38	1,660

### エ 道路形状別

交差点での事故は977件で、高齢運転者事故の58.9パーセントを占めている。

特に中・小交差点での発生が多く、交差点事故全体の67.9パーセントを占めている。



オ 違反別

安全不確認による事故が 413 件と最も多く、高齢運転者事故の 24.9 パーセントを占め、次いで前方不注意 371 件の順となっている。

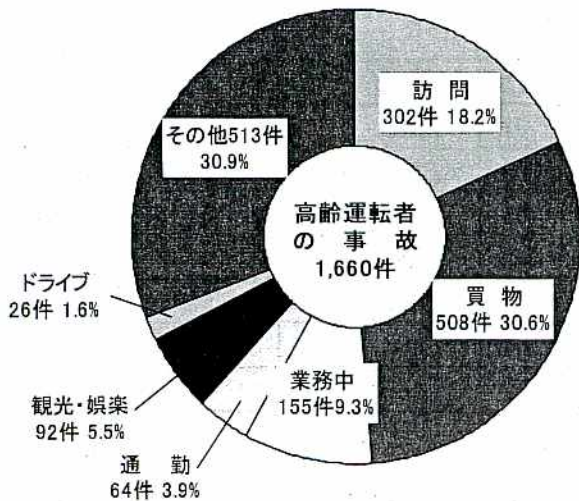
悪質違反は 263 件で高齢運転者事故の 15.8 パーセントを占め、うち一時不停止が 92 件と最も多く、次いで信号無視 89 件の順となっている。

高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は 15.8 パーセントとなっており、全交通事故の占める悪質違反の割合 11.7 パーセントと比較すると 4.1 ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が非常に高い。  
(単位：件・%)

違反 区分	悪 質 違 反						計	横断禁止等	右折	左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安 全 運 転 義 務 違 反					計	その他	合計	
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転								ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意	安全不確認	安全速度				その他
件数	89	0	26	56	92	0	263	3	6	3	79	169	14	135	371	167	413	23	7	1,116	7	1,660
構成率(%)	5.4	0.0	1.6	3.4	5.5	0.0	15.8	0.2	0.4	0.2	4.8	10.2	0.8	8.1	22.3	10.1	24.9	1.4	0.4	67.2	0.4	100.0

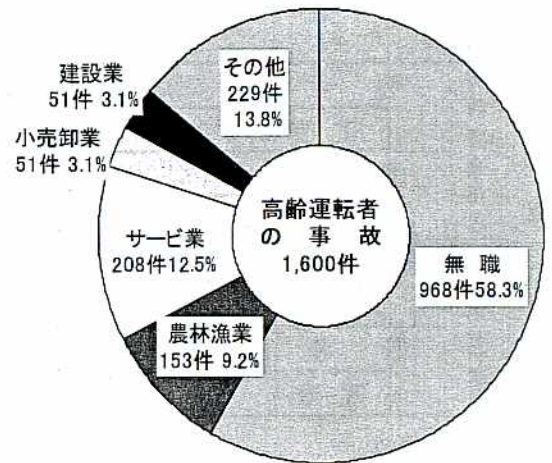
カ 通行目的別

買物が 508 件と多く、高齢運転者事故の 30.6 パーセントを占めている。



キ 職業別

無職が 968 件と最も多く、高齢運転者の 58.3 パーセントを占めている。



ク 免許人口に占める事故率 (年齢別交通事故発生状況)

(免許人口は平成 22 年 12 月末現在) (単位：人・件・%)

区分	年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
免許人口		109,351	992,994	219,989	1,322,334
	構成率(%)	8.3	75.1	16.6	100
件数		1,717	7,288	1,660	10,665
	構成率(%)	16.1	68.3	15.6	100
死者		15	72	25	112
	構成率(%)	13.4	64.3	22.3	100
傷者		2,222	8,996	2,035	13,253
	構成率(%)	16.8	67.9	15.4	100

(2) 高齢者の死傷者

ア 概 況

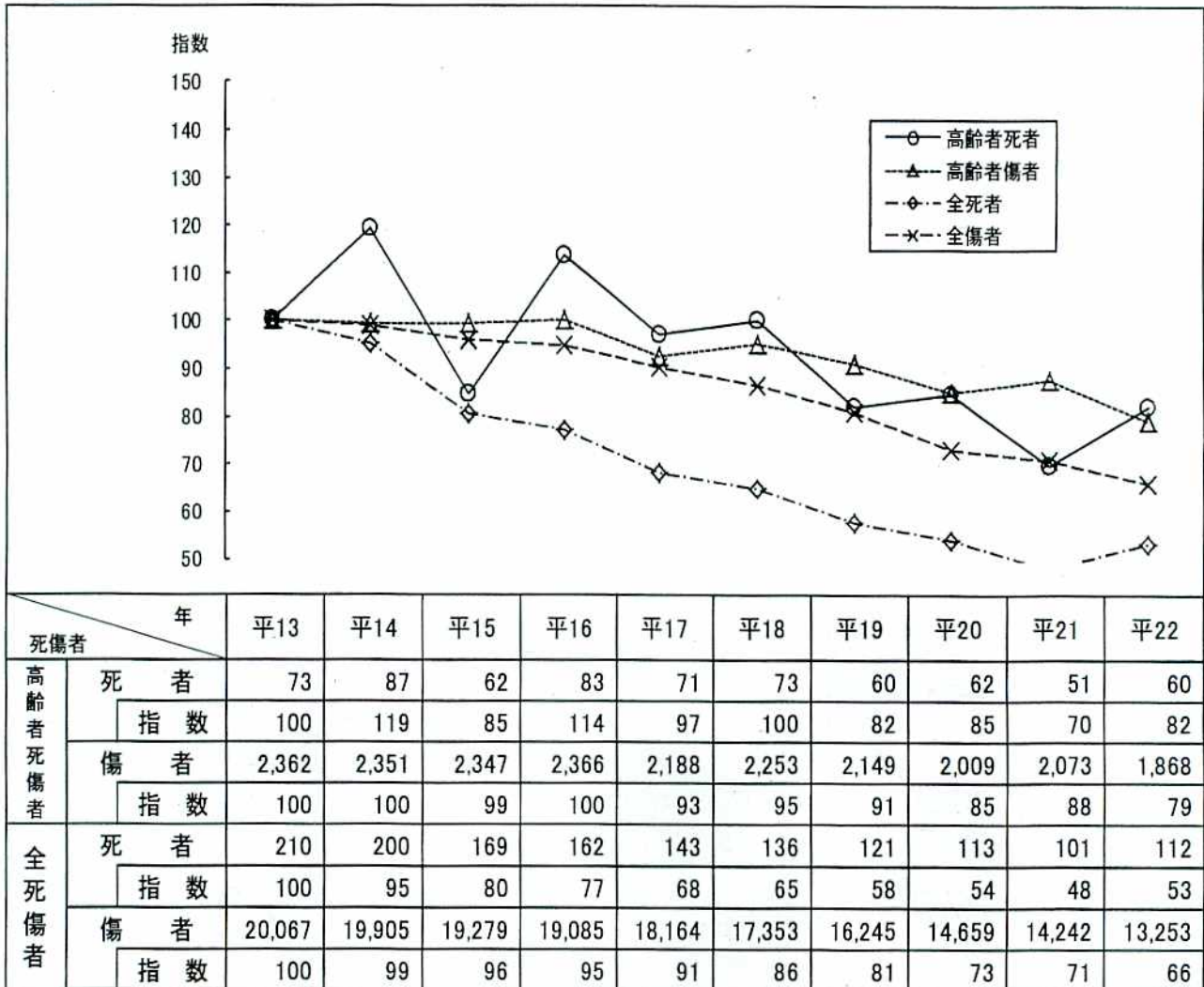
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数 60人 (前年比 +9人 17.6%増)

傷者数 1,868人 (前年比 -205人 9.9%減)

で、死者数は増加し、傷者数は減少した。

(単位：人)



イ 道路別

生活道路での死傷者が多く、死者は43名で高齢者死者の71.7パーセント、傷者は1,205人で高齢者傷者の64.5パーセントを占めている。

(単位：人・%)

区分	道路	国 道					計	生活道路			高 速	そ の 他	合 計
		4 号	6 号	13 号	49 号	三 桁		県 道	市 町 村 道	計			
死 者		2	2		1	9	14	20	23	43	1	2	60
	構成率(%)	3.3	99.0	0.0	1.7	15.0	23.3	33.3	38.3	71.7	1.7	3.3	100.0
傷 者		105	99	25	98	216	543	435	770	1,205	18	102	1,868
	構成率(%)	5.6	5.3	1.3	5.2	11.6	29.1	23.3	41.2	64.5	1.0	5.5	100.0

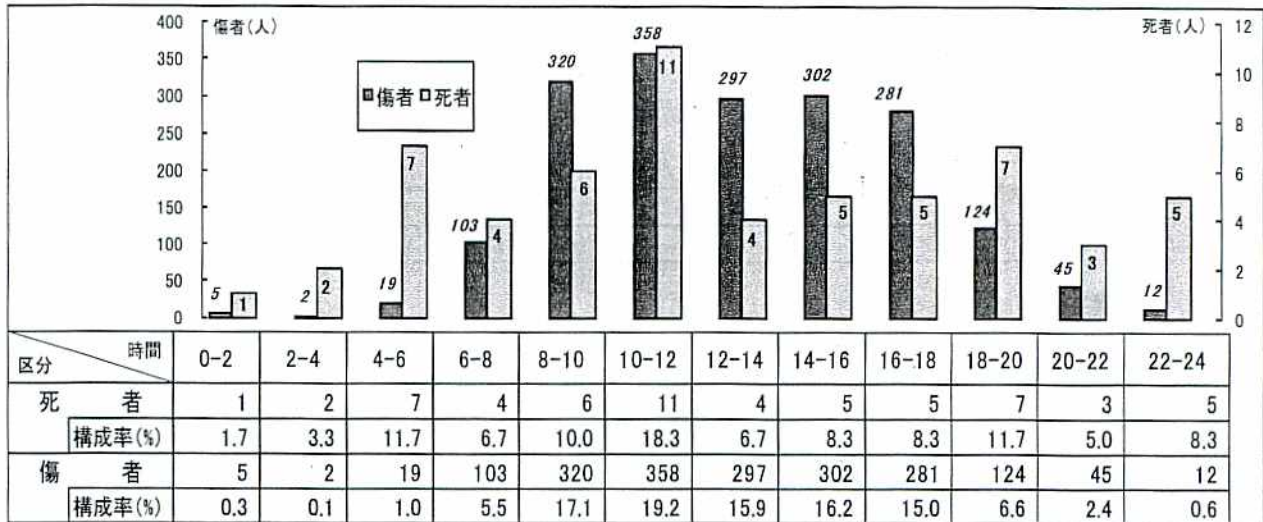


ウ 時間別

死者は10～12時の11人が最も多く、高齢者死者の18.3パーセントを占め、次いで4～6時、18～20時の7人、8～10時の6人の順となっている。

傷者は10～12時の358人が最も多く、高齢者傷者の19.2パーセントを占め、次いで8～10時の320人の順となっている。

(単位：人・%)



エ 年齢別・状態別

死者は歩行者が最も多く、31人と高齢死者の51.7パーセントを占め、次いで四輪運転14人、原付車乗用中の6人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで四輪同乗の順となっている。(単位：人)

状態	年齢	年 65～69歳		70歳代		80歳以上		合 計	
		死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者	死 者	傷 者
歩 行 者		2	53	15	143	14	100	31	296
自 転 車		1	77	3	168	1	61	5	306
原 付			18	3	61	3	32	6	111
自 二			4		7		2	0	13
四 輪 運 転		3	359	7	309	4	44	14	712
四 輪 同 乗		1	129	1	207	2	90	4	426
そ の 他			2		1		1	0	4
合 計		7	642	29	896	24	330	60	1,868

オ 違反別

(7) 歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは23人で74.2パーセントを占め、特に横断に関する違反が17人と最も多い。

傷者のうち何らかの違反があったのは90人で30.4パーセントを占め、死者と同じく横断に関する違反が多くなっている。

(単位：人)

違反	違 反 あ り								違 反 な し	合 計	
	信号無視	左側通行	横 断					酩酊・徘徊			その他
			横歩道断外	斜め	駐車停車	走行車両	横止断場禁所				
死 者	1	2	6				11	3		8	31
傷 者	2	18	42	1	2		12	1	12	206	296

(イ) 自転車

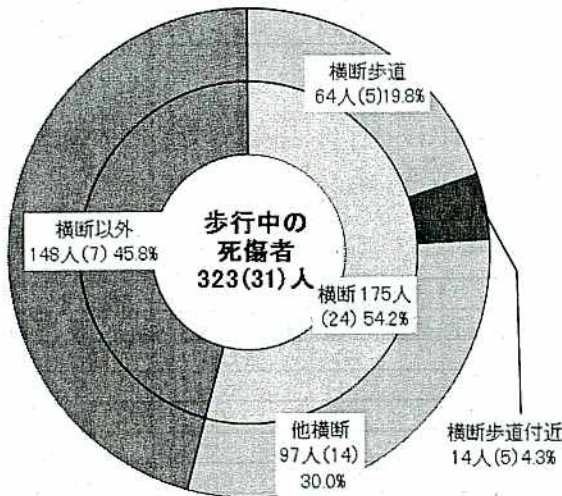
死者の違反については、交差点安全進行義務違反と安全不確認がそれぞれ1件となっている。  
 傷者のうち、何らかの違反があったのは149人で48.7パーセントを占め、安全不確認が47人と最も多い。  
 (単位：人)

違反 区分	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優妨先通行害	交安全進点行	一時不停止	酒酔い	安不確全認	その他		
死者					1			1		3	5
傷者	8	7	2	5	33	11		47	36	157	306

カ 事故類型別

(7) 歩行者

横断中が175人と多く、歩行中死傷者の54.2パーセントを占めている。



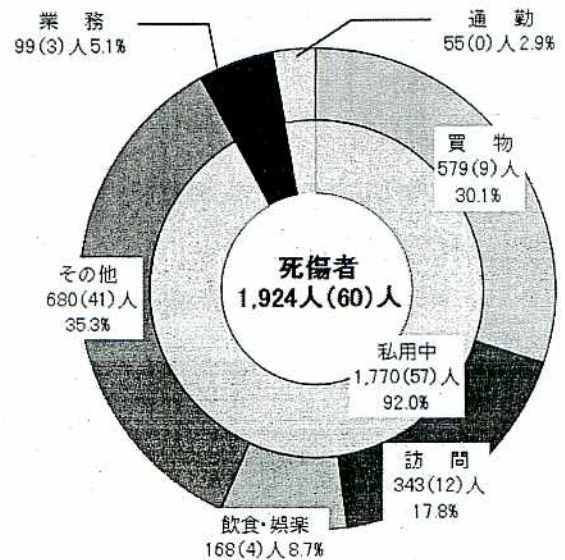
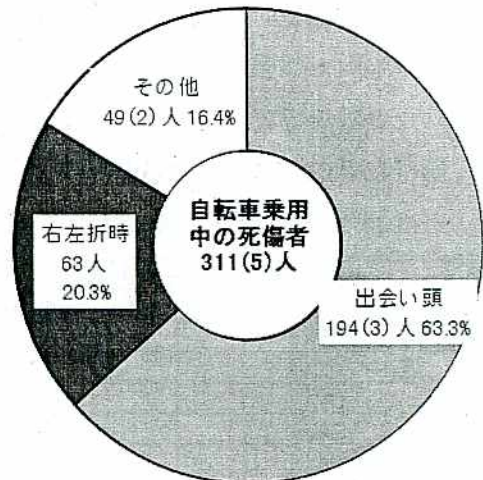
- \*1 ( )内は死者で内数
- \*2 人对車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

キ 通行目的別

買物が579人と最も多く、高齢者死傷者全体の30.1パーセントを占め、次いで訪問、飲食・娯楽と続いている。

(イ) 自転車

出会い頭事故が194人と多く、自転車事故死傷者の63.3パーセントを占めている。



- \*1 ( )内は死者で内数
- \*2 通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

## 9 初心運転者の事故

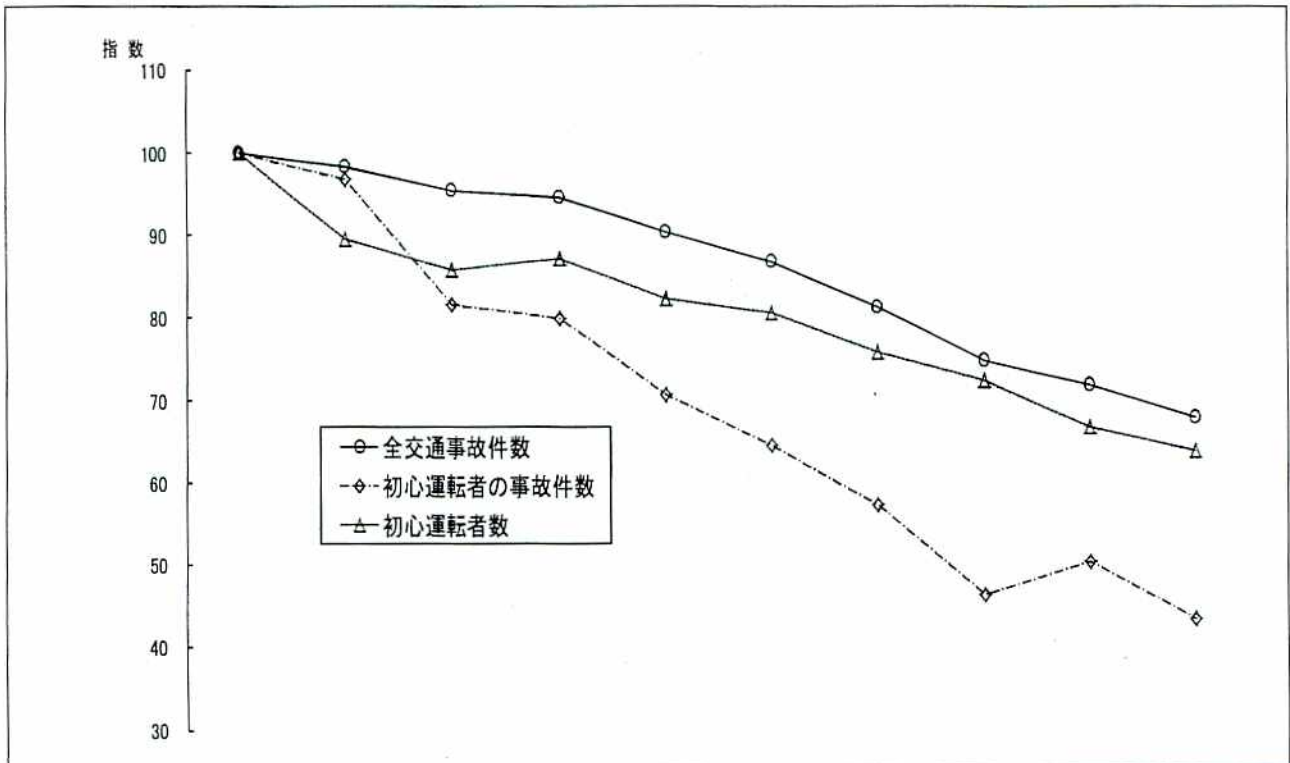
### (1) 概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件	450件	(前年比)	-72件	13.8%減)
死者数	5人	(前年比)	+3人	150.0%増)
傷者数	598人	(前年比)	-102人	14.6%減)

で、発生件数、傷者数とも減少したが、死者数は増加した。

過去10年間の推移をみると、初心運転者数及び初心運転者の事故指数は、全事故指数より低くなっている。  
(単位：件・人・%)

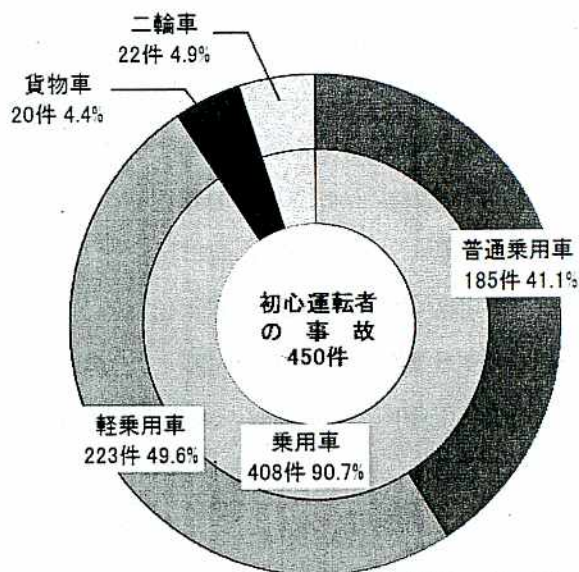


区分	年	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22
全交通事故	件数	15,691	15,434	14,971	14,854	14,186	13,627	12,744	11,717	11,287	10,665
	指数	100	98	95	95	90	87	81	75	72	68
初心運転者事故	件数	1,038	1,005	847	828	734	670	595	480	522	450
	指数	100	97	82	80	71	65	57	46	50	43
	死者	17	15	5	7	8	8	9	7	2	5
	指数	100	88	29	41	47	47	53	41	12	29
	傷者	1,433	1,406	1,344	1,146	1,002	915	819	633	700	598
	指数	100	98	94	80	70	64	57	44	49	42
全免許人口	件数	1,238,175	1,277,048	1,289,326	1,299,246	1,306,131	1,311,269	1,316,158	1,319,878	1,321,188	1,322,334
	指数	100	103	104	105	105	106	106	107	107	107
初心運転者数	単記	27,396	26,885	26,310	26,349	25,502	24,384	23,938	23,679	22,689	22,636
	併記	17,101	12,928	11,860	12,466	11,114	11,477	9,768	8,522	6,992	5,805
	計	44,497	39,813	38,170	38,815	36,616	35,861	33,706	32,201	29,681	28,441
	指数	100	89	86	87	82	81	76	72	67	64
全事故に占める割合		6.6	6.5	5.7	5.6	5.2	4.9	4.7	4.1	4.6	4.2

## (2) 車種別

乗用車が408件で初心運転者事故の90.7パーセントを占め、特に軽乗用の占める割合が49.6パーセントと高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、原付が15.3パーセント、小型二輪が12.1パーセントと高くなっている。



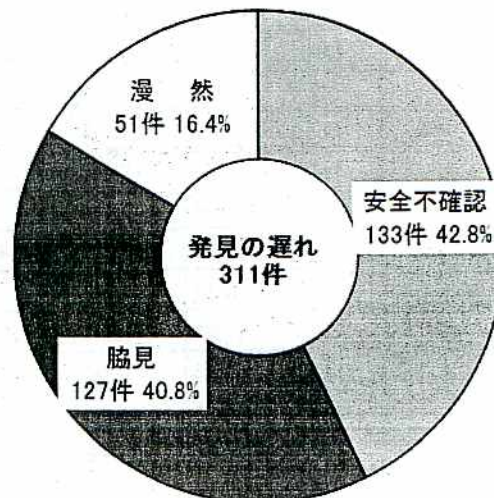
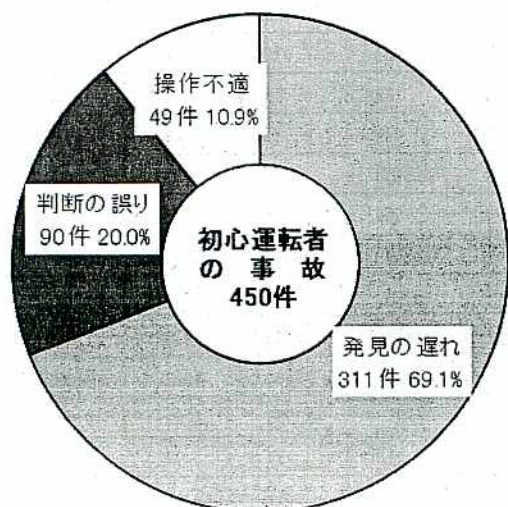
(単位：件・%)

車種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合
大型・中型乗用車	0	0.0%
普通乗用車	185	3.3%
軽乗用車	223	77%
普通貨物車	9	1.6%
軽貨物車	11	1.2%
大型・中型貨物車	0	0.0%
特殊車	0	0.0%
小型二輪車	4	12.1%
軽二輪車	1	5.0%
二種原付	0	0.0%
原付	17	15.3%

## (3) 人的原因

発見の遅れが311件で最も多く、初心運転者事故の69.1パーセントを占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が133件と最多で、脇見が127件で続いている。



(4) 違反別

前方不注意が150件で初心運転者事故の33.3パーセントを占め最も多く、次いで安全不確認が74件となっている。

悪質違反は52件で同事故の11.6パーセントを占め、うち信号無視が18件で最も多く、次いで一時不停止の16件となっている。

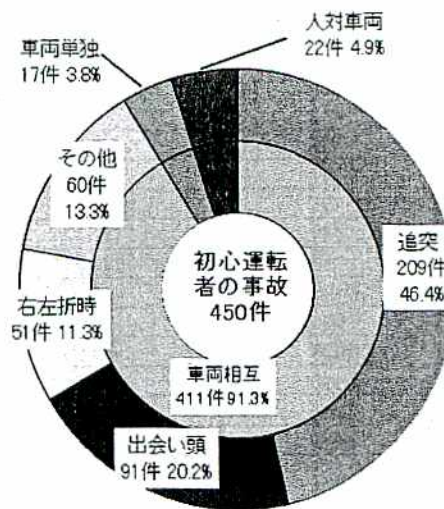
両違反を合わせると34件となり、悪質違反の65.4パーセントを占めている。

(単位：件・%)

違反		区分	件数	構成率(%)	違反		区分	件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		18	4.0	安全運転義務違反	徐行違反		3	0.7
	最高速度		1	0.2		過労運転		8	1.8
	通区・追越		12	2.7		ハンドル操作		7	1.6
	歩行者妨害等		5	1.1		ブレーキ操作		41	9.1
	一時不停止		16	3.6		前方不注意		150	33.3
	酒酔い運転			0.0		動静不注視		67	14.9
計		52	11.6	安全不確認			74	16.4	
横断禁止等			0.0	安全速度			8	1.8	
車間距離不保持			0.0	予測不適			1	0.2	
進路変更禁止			0.0	その他				0.0	
右・左折違反		2	0.4	計			348	77.3	
優先通行妨害等		14	3.1	その他		1	0.2		
交差点安全進行		22	4.9	合計		450	100.0		

(5) 事故類型別

車両相互の事故が411件で初心運転者事故の91.3パーセントを占めている。その中でも追突が209件(46.4%)と多く、次いで出会い頭が91件(20.2%)と続いており両事故で66.7パーセントを占めている。



(単位：件・%)

(6) 通行目的・年齢別

通行目的別では、私用中が最も多く305件で初心運転者事故の67.8パーセントを占め、年齢別では、25歳未満の事故が94.9パーセントとなっている。

通行目的		区分	件数	構成率(%)	年齢別		区分	件数	構成率(%)
業務	職業運転	業務目的	10	2.2	年齢別	青年	16～19歳	343	76.2
		出勤	54	12.0			20～24歳	84	18.7
通勤等	退社	通学	25	5.6		計	427	94.9	
		観光・娯楽	29	6.4		25～29歳	9	2.0	
私用	ドライブ	散歩		0.0		30歳代	10	2.2	
		飲食	11	2.4		40歳代	2	0.4	
		買物	93	20.7		50歳代	1	0.2	
		訪問	30	6.7		60～64歳	1	0.2	
		帰省	5	1.1		計	23	5.1	
		その他	93	20.7		高齢者	65～69歳	0	0.0
調査不能		0.0	70歳代	0		0.0			
合計		450	100	80歳以上	0	0.0			
				計	0	0.0			
				合計	450	100.0			
				(内数)高校生	9	2.0			

# 10 飲酒運転の事故

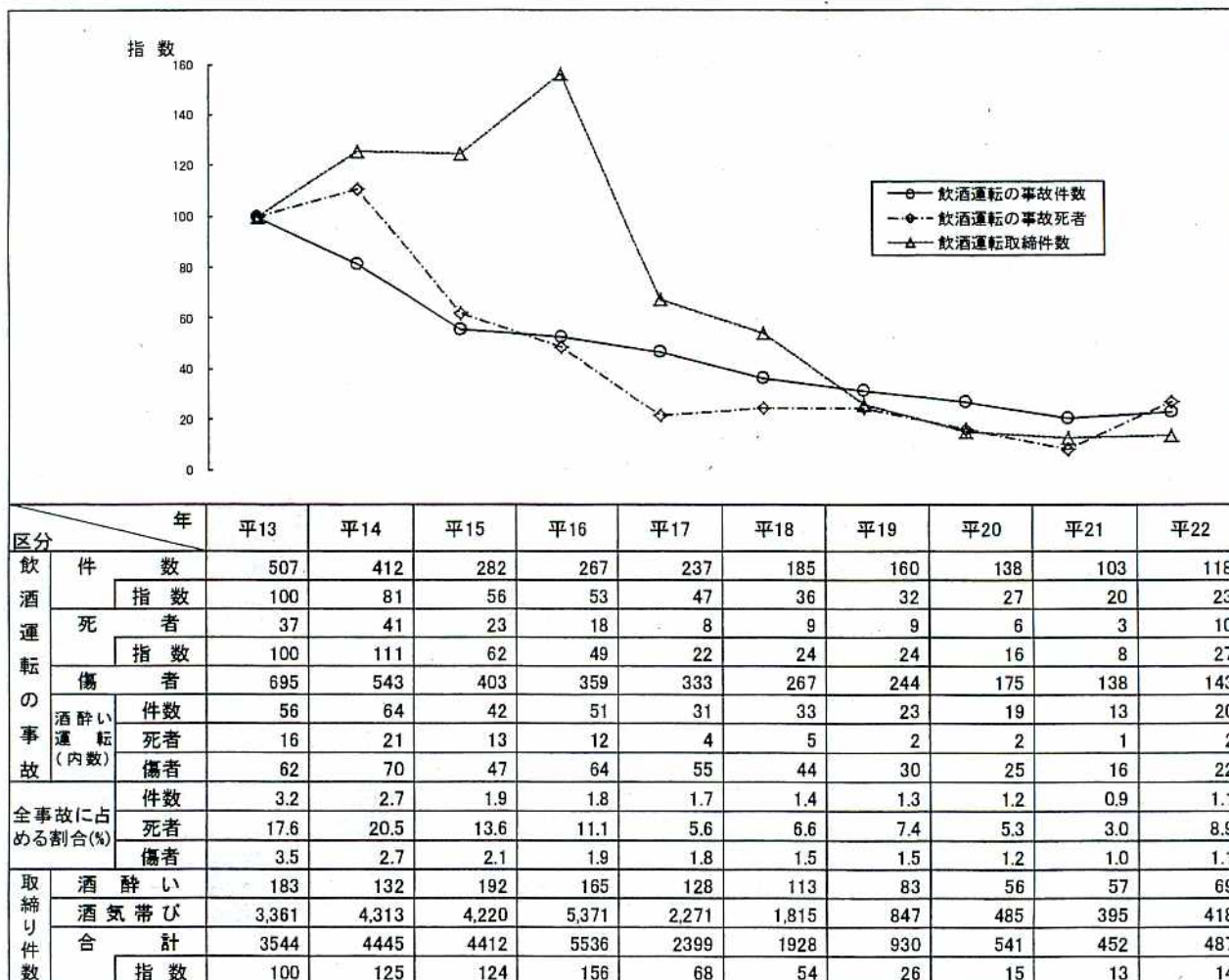
## (1) 概況

第1当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

発生件数	118件	(前年比 +15件 14.6%増)	うち酒酔い	20件	前年比+7件
死者数	10人	(前年比 +7人 233.3%増)	うち酒酔い	2人	前年比+1人
傷者数	143人	(前年比 +5人 3.6%増)	うち酒酔い	22人	前年比+6人

で、発生件数、死者数、傷者数とも増加した。

酒酔い運転についても発生件数、死者数、傷者数とも増加した。 (単位：件・人・%)



区分	年	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22
飲酒運転の事故	件数	507	412	282	267	237	185	160	138	103	118
	指数	100	81	56	53	47	36	32	27	20	23
	死者	37	41	23	18	8	9	9	6	3	10
	指数	100	111	62	49	22	24	24	16	8	27
	傷者	695	543	403	359	333	267	244	175	138	143
	酒酔い運転(内数)	件数	56	64	42	51	31	33	23	19	13
全事故に占める割合(%)	死者	17.6	20.5	13.6	11.1	5.6	6.6	7.4	5.3	3.0	8.9
	傷者	3.5	2.7	2.1	1.9	1.8	1.5	1.5	1.2	1.0	1.1
	取締り件数	183	132	192	165	128	113	83	56	57	69
酒気帯び	件数	3,361	4,313	4,220	5,371	2,271	1,815	847	485	395	418
	合計	3,544	4,445	4,412	5,536	2,399	1,928	930	541	452	487
	指数	100	125	124	156	68	54	26	15	13	14

## (2) 月別

飲酒運転が最も多いのは11月の14件、次いで1、7月の13件となっている。

うち、酒酔い運転は5月の4件が最も多い。 (単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計												
件数	③	13	①	9	①	6	④	12	②	9	②	13		6	①	9	②	11	③	14		7	②①	118		
	全事故に占める割合	1.5	1.0	1.0	0.7	1.5	1.1	1.4	0.7	1.1	1.2	1.4	0.6	1.1												
死者	①	1			①	4				1	①			2						2			①	10		
傷者	②	14	②	12	①	11		5	④	14	②	14	②	14		7	①	12	④	16	④	15		9	②③	143

(注) ○は酒酔いで内数 (以下飲酒運転事故表中の○は同じ)

(3) 曜日・時間別

土曜日が22件と最も多く、次いで日曜日の19件の順となっている。

時間別では、16～18時の間が18件と最も多く、次いで0～2、6～8時の14件の順となっている。

(単位：件・人)

時間	曜日		日	月	火	水	木	金	土	合計									
	～	～								構成率(%)	構成率(%)								
0	～	2	1	1	2	2	3	①	3	2	①	14	11.4						
2	～	4	3	2	2	2	①	1	①	1	①	2	③	13	14.3				
4	～	6	2	1	1	1		①	1	1	①	7	5.7						
6	～	8	①	3	1	1	①	2		3	②	14	1.2						
8	～	10	1	2	1	2						6	0.4						
10	～	12	1	1						1		3	0.2						
12	～	14	1	②	2	1		1		2	②	9	0.7						
14	～	16	2	①	1	2					①	5	0.4						
16	～	18	①	2	①	2	①	3	①	1	3	②	4	⑥	18	1.1			
18	～	20	2	1	1	2				1	1	7	0.5						
20	～	22	1	2	2	2	1	1	①	1	①	10	2.0						
22	～	24		①	1	①	4	3		①	4	③	12	4.7					
合計			②	19	⑤	17	①	14	②	18	②	15	③	13	⑤	22	②	118	1.1
構成率(%)			1.6		1.1		0.9		1.1		0.9		0.8		1.4		1.1		

(4) 発生地別

市部で102件発生し、飲酒運転の86.4パーセントを占めている。特にいわき市、郡山市が多く、両市の合計は56件で、市部の54.9パーセントを占めている。

(単位：件・人)

発生地	福島市	二本松市	伊達市	本宮市	郡山市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計										
件数	②	9	3	3	1	③	19	3	①	3	②	5	12	②	2	⑥	37	2	①	3	③	16	②	118	
死者				1				1		①	1	①	4										2	②	10
傷者	②	10	3	3	1	③	23	7	①	2	⑤	8	15	①	1	⑤	42	③	2	①	5	④	21	②	143

(5) 道路別

道路別で発生件数をみると、国道が44件で、飲酒運転の37.3パーセントを占めている。

死者は国道が5人、市町村道が3人、県道が2人となっている。

(単位：件・人)

道路	国					計	道			計	市	町	その他	合計									
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要	一般	県														
件数	15	①	8	①	1	4	①	16	③	44	⑤	17	①	9	⑥	26	⑪	41		7	⑫	118	
死者	1		3					1		5	①	1	①	1	①	2	①	3				②	10
傷者	19	①	9	①	1	6	③	23	⑤	58	④	19	①	10	⑤	29	⑫	47		9	⑬	143	

(単位：件・人・%)

(6) 事故類型別

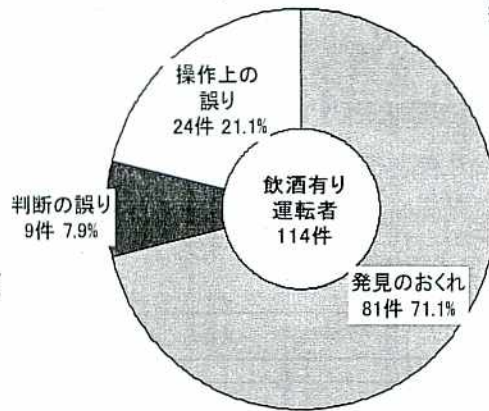
追突が最も多く、42件(35.6%)となっており、次いで工作物衝突と出会い頭が17件(14.4%)の順となっている。

全事故に占める割合をみると、路外逸脱が9.3パーセントと最も高い割合を占めている。

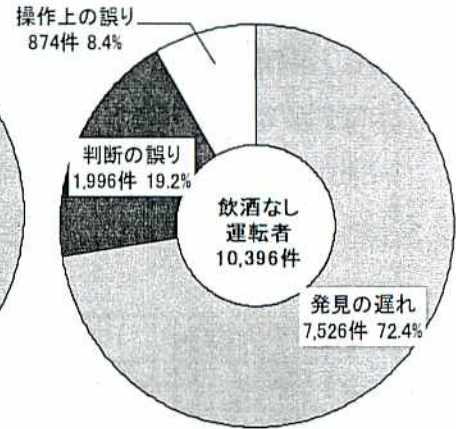
事故類型	区分	件数	構成率(%)		死者	傷者	全事故に占める割合(%)		
			構成率(%)	構成率(%)					
人対車両	対面・背面歩行中	2	1.7			2	1.2		
	横断中	2	1.7		1	1	0.4		
	その他	2	1.7			2	0.7		
計		6	5.1		1	5	0.6		
車両対車両	正面衝突	③	14	11.9	2	⑤	21	3.3	
	追突	⑨	42	35.6		⑩	55	1.0	
	出会い頭	②	17	14.4	1	②	22	0.6	
	転回時		1	0.8			1	2.6	
	右・左折時		6	5.1			8	0.6	
計	①	8	6.8		①	9	1.0		
計	⑮	88	74.6		3	⑮	116	0.9	
車両単独	工作物衝突	②	17	14.4	①	4	①	16	8.8
	路外逸脱		4	3.4		2	③	3	9.3
	駐車車両衝突		1	0.8			1	2.5	
	転倒	③	1	0.8	①		1	2.2	
計		1	0.8			1	3.8		
計	⑤	24	20.3	②	6	④	22	6.9	
列車			0.0				0.0		
合計	⑳	118	100.0	②	10	㉔	143	1.1	

(7) 人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「操作上の誤り」が12.7ポイント高くなっている。



\* 自転車、当事者不明を除く



\* 第1当事者が歩行者、自転車、不明、調査不能を除く

(8) 酒酔い運転、酒気帯び運転の運転動機・飲酒場所・飲酒理由

動機をみると、「他に乗り物がなかった」が49件、次いで「深夜なので大丈夫と思った」が23件と多く、両項目で飲酒運転事故の61.0パーセントを占めている。(単位: 件・人・%)

区分	件数	構成率(%)	他に乗り物がなかった	翌日の出勤	少なかり	飲酒しな	酔い	さし	車を置いていく	の不安	運転代行	なかつた	深夜なので	大丈夫と思った	交通量が	少なかつた	その他不明	合計	飲酒運転のうち	
																			酒酔い運転	酒気帯び運転
死者	4		4	7	10	15	15	4	1	1	5	23	3	4	1	118	20	86		
傷者	63		49	10	15	15	15	6	6	4	26	4	4	1	143	22	108			

飲酒理由は「酒好き晩酌等」が最も多く65件で55.1パーセントを占めている。

また、飲酒場所は「自宅」が45件で38.1パーセントを占めている。(単位: 件・人・%)

飲酒場所	飲酒理由	忘年会	新年会	飲送迎会等	花見祭典	冠婚葬祭	各種会合	他家訪問	友人等	のつきあい	酒好き	晩酌等	その他不明	合計	件数	構成率(%)
自宅	死者									2	43	1		45	38.1	
	傷者									2	56	3		58		
知人・友人宅	死者				2		1	1		5	3			12	10.2	
	傷者				2		1	1		10	3			15		
取引・勤務先	死者						2				1			3	2.5	
	傷者						4				2			6		
料理店・キャバレー・バー・スナック	死者			2	1		2			14	6			25	21.2	
	傷者			2	1		2			14	8			27		
その他の料理店	死者			1			5			10	3			19	16.1	
	傷者			1			7			12	4			24		
旅館・ホテル等の宿泊施設	死者						1				3			4	3.4	
	傷者						1				3			4		
ドライブイン・酒類販売店等	死者										2			2	1.7	
	傷者										2			2		
自動販売機近	死者										3			3	2.5	
	傷者										1			1		
その他(不明)	死者						1			1	1		2	5	4.2	
	傷者						1			2	1		1	4		
合計	死者	0	0	3	3	0	12	1	32	65	2	1	118	118	100	
	傷者	0	3	3	3	0	14	0	40	82	1	10	143			



## 1.1 無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

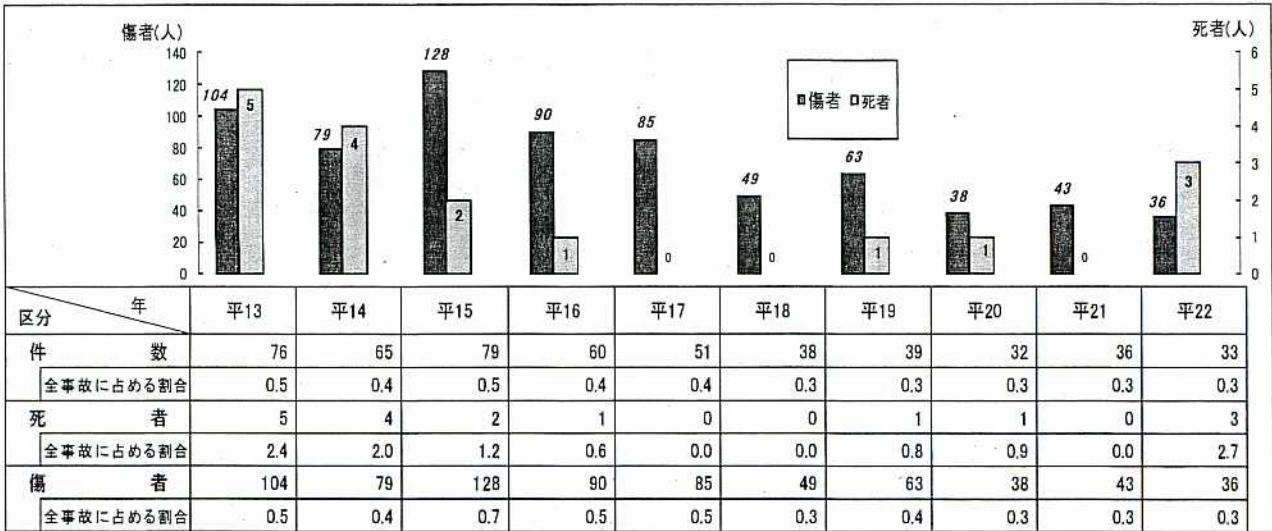
### (1) 概況

第1当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数	33件	(前年比)	-3件	8.3%減
死者数	3人	(前年比)	+3人	—
傷者数	36人	(前年比)	-7人	16.3%減

で、発生件数、傷者数は減少したが死者数は増加した。

(単位：件・人・%)



### (2) 月別

無免許運転が最も多いのは5、11、12月の5件、次いで9月の4件となっている。

(単位：件・人)

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		1	1	3	2	5	2	1	2	4	2	5	5	33
死者							1	1			1			3
傷者		1	2	3	2	6	1		5	5	1	5	5	36

### (3) 発生地別

無免許運転は市部での発生が多く、福島市、郡山市、いわき市の3市を合わせると15件で、無免許運転事故の45.5パーセントを占めている。

(単位：件・人)

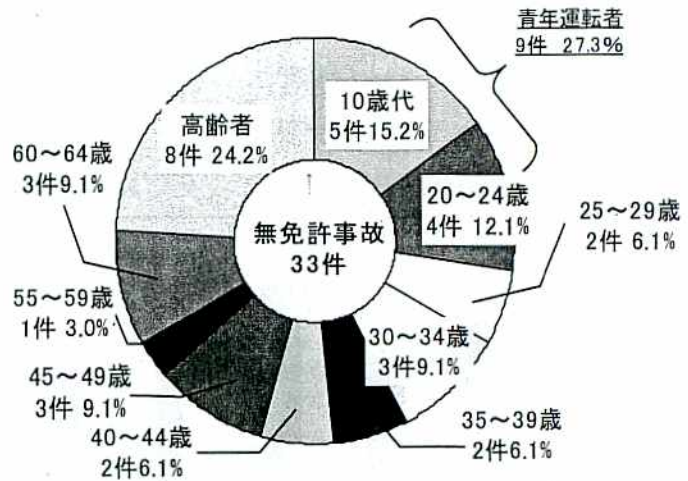
発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	3			4	1	2	2	1	2	1	8			9	33
死者				1		1								1	3
傷者	3			3	1	1	2	1	4	1	9			11	36

(4) 年齢別

青年運転者の事故が9件で27.3パーセントを占め、10歳代が5件、20～24歳が4件となっているが、各年代での大きな開きはみられない。

(単位：件)

年齢	区分		年齢	区分	
	件数			件数	
10歳代	16歳未満	1	35～39歳	2	
	16歳	1	40～44歳	2	
	17歳	1	45～49歳	3	
	18歳	2	50～54歳		
	19歳		55～59歳	1	
	計	5	60～64歳	3	
20～24歳	4	高齢者	8		
25～29歳	2	合計	33		
30～34歳	3				

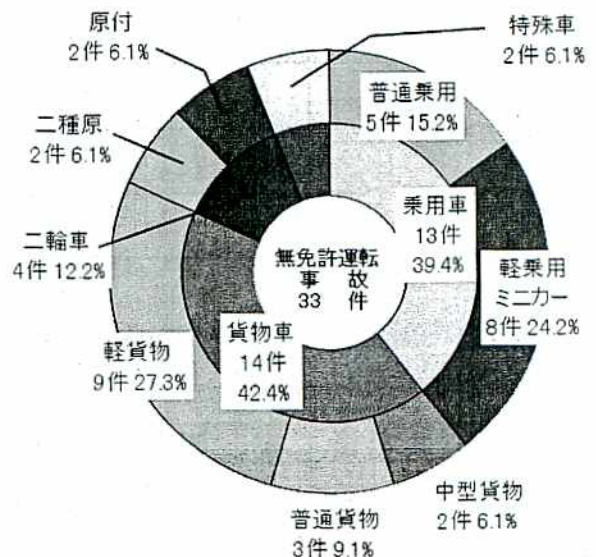


(5) 車種別

車種別では軽貨物が最も多く9件発生し27.3パーセントを占めて、次いで軽乗用車の順となっている。

(単位：件・%)

車種	区分	件数		全事故	
		構成率 (%)		無免許の割合	
乗用車	バス・マイクロバス		0.0	30	0.0
	普通	5	15.2	5,643	0.1
	軽・ミニカー	8	24.2	2,892	0.3
	計	13	39.4	8,565	0.2
貨物車	大型・中型	2	6.1	375	0.5
	普通	3	9.1	552	0.5
	軽	9	27.3	886	1.0
	計	14	42.4	1,813	0.8
特殊車(大型・小型)		2	6.1	10	20.0
二輪車	小型二輪		0.0	33	0.0
	軽二輪		0.0	20	0.0
	二種原付	2	6.1	12	16.7
	原付	2	6.1	111	1.8
	計	4	12.1	176	2.3
合計		33	100.0	10,564	0.3



\*全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など101件を除く

(6) 職業別

建設業が7件(21.2%)と最も多く、次いでサービス業、無職がそれぞれ5件(15.2%)と続いている。(単位:件・%)

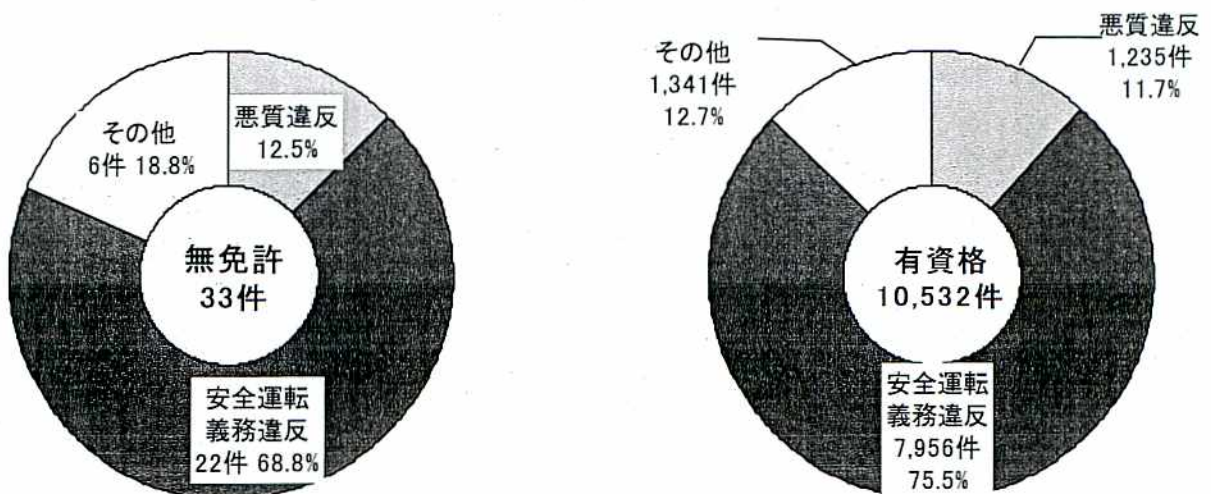
区分	職業	職業 運転手	官 公 署	建 設 業	製 造 業	卸 小 売 業	飲 食 業	サ ー ビ ス 業	農 林 漁 業	主 婦	無 職	そ の 他	合 計
	件数	0	0	7	4	3	3	5	4	0	5	2	33
	構成率(%)	0.0	0.0	21.2	12.1	9.1	9.1	15.2	12.1	0.0	15.2	6.1	100

(7) 違反別・原因別

ハンドル・ブレーキ操作不適が最も多く8件(24.2%)となっている。悪質違反は4件(12.1%)となっており、酒酔い運転2件、最高速度、一時不停止がそれぞれ1件となっている。有資格者の悪質違反による事故(11.7%)と比較すると、無免許運転で同事故の占める割合は0.8ポイント高くなっている。

(単位:件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数	
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)
悪 質 違 反	信号無視		0.0	安全 運 転 義 務 違 反	過労運転	1	3.0
	最高速度	1	3.0		ハンドル・ブレーキ操作	8	24.2
	通区・追越		0.0		前方不注意	6	18.2
	歩行者妨害等		0.0		動静不注意	4	12.1
	一時不停止	1	3.0		安全不確認	4	12.1
	酒酔い運転	2	6.1		安全速度		0.0
計		4	12.1	その他		0.0	
車間距離不保持			0.0	計		22	66.7
優先通行妨害等		3	9.1	不明			0.0
交差点安全進行		2	6.1	合計		33	100.0
左折違反		1	3.0	飲酒運転(内数)		6	18.2



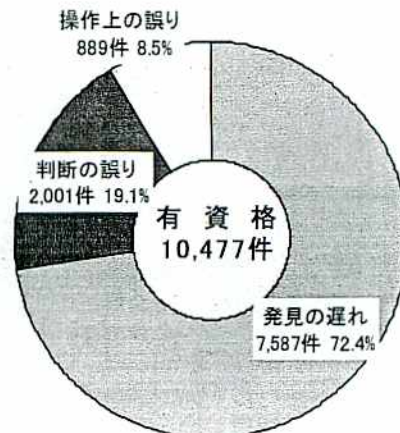
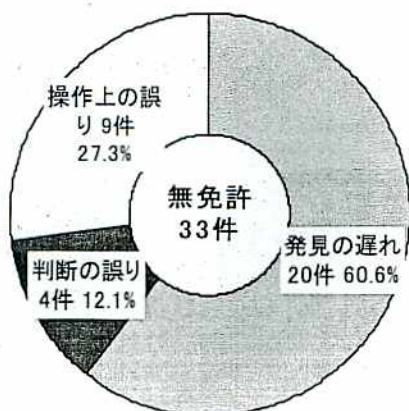
\* 自転車・歩行者・不明・無免許を除く

(8) 人的原因別

発見の遅れが 20 件で、無免許運転事故の 60.6 パーセントを占め最も多い。なかでも安全不確認が 11 件と多く、発見の遅れ全体の 55.0 パーセントを占めている。 (単位: 件)

人的原因	件数	人的原因	件数
合計	33	予測不適	0
発見の遅れ	20	運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	
前方不注意	9	相手がルールを守ると思った	
内在的(漫然等)	4	相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
居眠り運転		他の事故(危険)を避けようと思った	
ラジオ・ステレオを聴いていた		その他相手の行動予見等の判断を誤った	
雑誌や携帯電話等で話していた			
その他、考え事等の漫然運転	4	交通環境	0
外在的(脇見等)	5	道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
物を落とした、物を取ろうとした		道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
同乗者、同乗の動物等に脇見		交通規制に対する認識を誤った	
カセットテープ、携帯電話等を操作していた		交通安全施設に対する認識を誤った	
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた		障害物等に対する認識を誤った	
雑誌、地図帳等を見ていた		その他の交通環境に対する認識を誤った	
道、案内標識等を探して脇見		操作上の誤り(操作不適)	9
風景、地物等に脇見	2	ブレーキとアクセルの踏み違い	
他の車、歩行者に脇見	1	ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	4
バックミラーやドアミラーを見ていた		急ブレーキをかけた	1
その他脇見	2	エンジン・ブレーキを使用しなかった	
安全不確認	11	ハンドルの操作不適	4
安全確認をしなかった	7	ギヤの入れ違い	
安全確認が不十分だった	4	ブレーキをかけながらハンドル操作	
判断の誤り等	4	オートスピードコントロール装置等の操作不適	
動静不注視	4	その他の操作不適	
相手が譲ってくれると思って注視を怠った		調査不能	
他の危険を避けようとして注視を怠った			
危険性がないとして注視を怠った	4		

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許の事故は操作上の誤りの構成率が 18.8 ポイント高くなっている。



\* 有資格者でかつ人的原因の事故

## 1.2 二輪車の事故

### (1) 二輪車による事故

#### ア 概 況

二輪車が第1当事者になった事故は、

発生件数 176件（前年比 -81件 31.5%減）

死者数 7人（前年比 ±0人 ——）

傷者数 189人（前年比 -96人 33.7%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は同数だった。

（単位：件・人・％）

区分 車種	本年						増減数			増減率(%)		
	件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
小型二輪	33	18.8	1	14.3	39	20.6	-16	-1	-21	-32.7	-50.0	-35.0
軽二輪	20	11.4	1	14.3	21	11.1	-11	0	-15	-35.5	0.0	-41.7
二種原付	12	6.8		0.0	15	7.9	-8	0	-8	-40.0	-	-34.8
原付	111	63.1	5	71.4	114	60.3	-46	1	-52	-29.3	25.0	-31.3
合計	176	100.0	7	100.0	189	100.0	-81	0	-96	-31.5	0.0	-33.7

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数とも原付が多く、二輪車事故総発生件数の63.1パーセントを占めている。

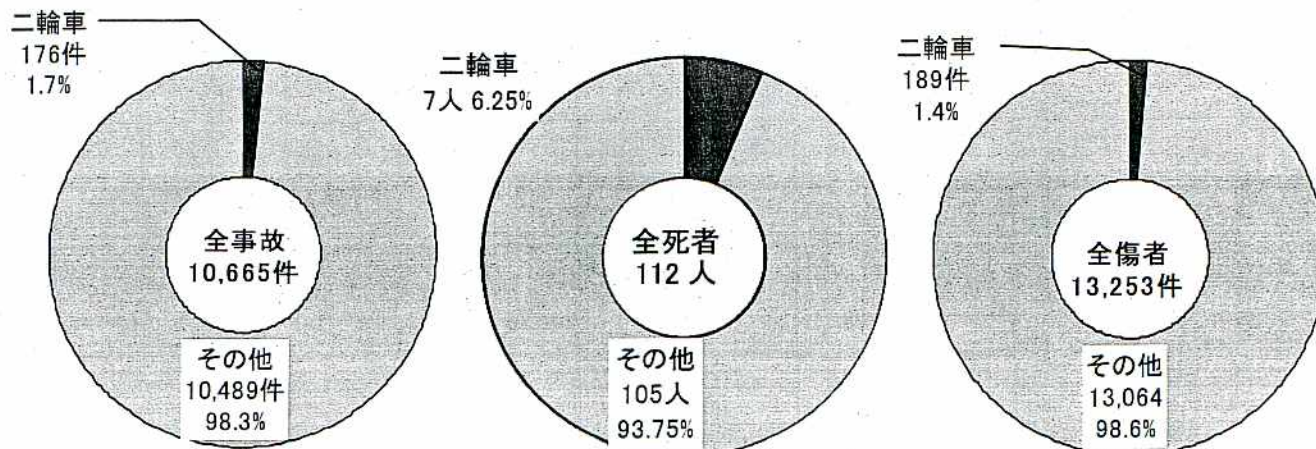
死亡事故率をみると軽二輪が高くなっている。

（単位：件・％）

区分 車種	普通乗	軽乗	大貨等	普通貨	軽貨	四輪その他	二輪車					合計
							小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計	
車種別事故件数	5,643	2,892	375	552	886	30	33	20	12	111	176	10,554
死亡事故件数	41	29	5	10	17		1	1		5	7	109
死亡事故率	0.7	1.0	1.3	1.8	1.9	0.0	3.0	5.0	0.0	4.5	4.0	1.0

$$(注) \text{死亡事故率} = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{車種別事故件数}} \times 100$$

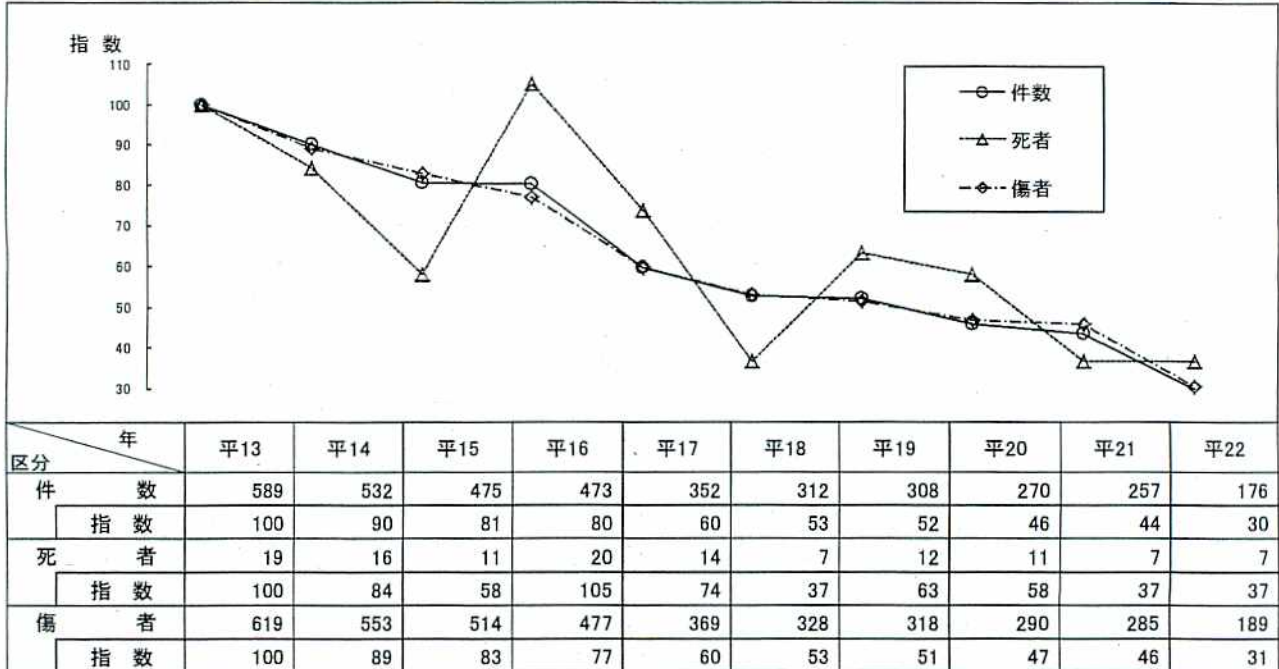
全事故に占める二輪車事故の構成率は1.7パーセントであるのに対し、死者の構成率は6.25パーセントと高くなっている。



イ 年別推移

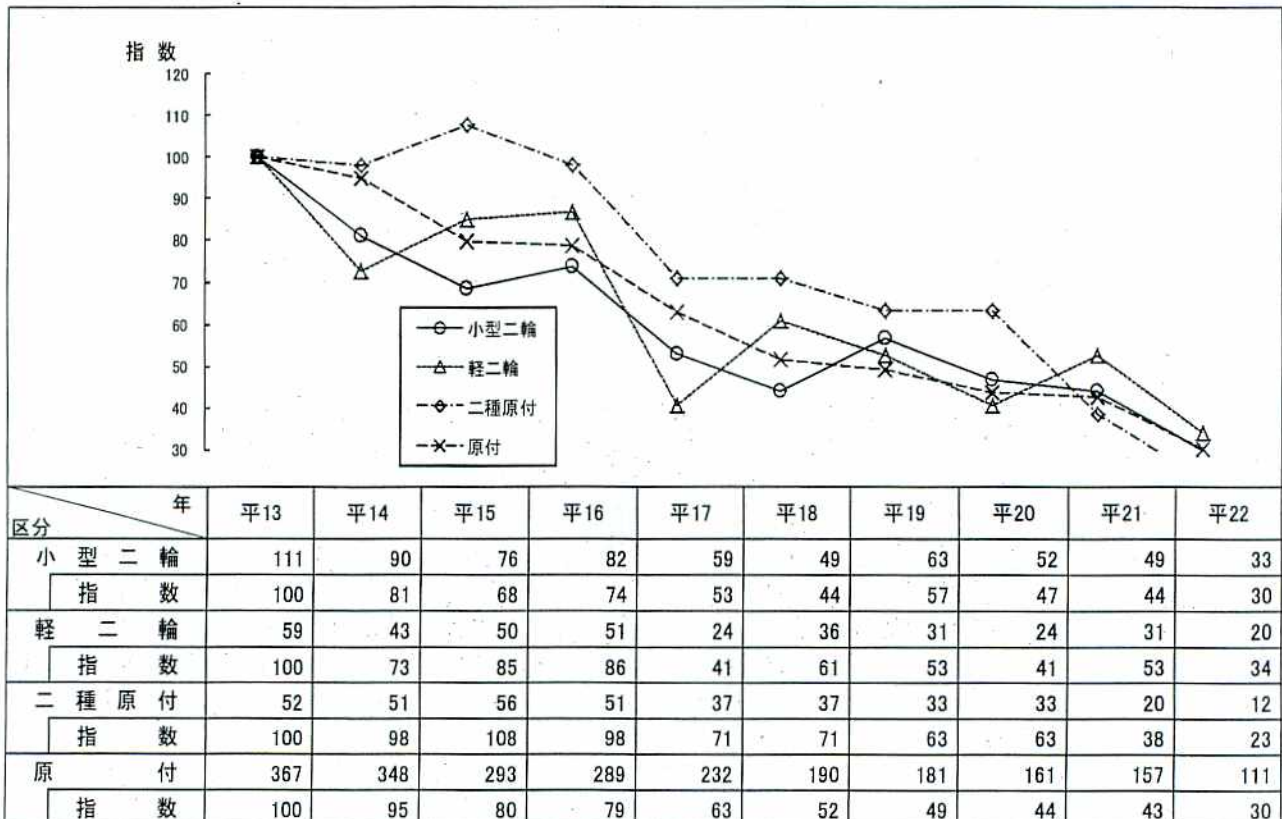
(7) 発生件数、死者数、傷者数

死者数は変動があるものの、発生件数、傷者数は全交通事故と同様に平成13年をピークに減少が続いている。  
(単位：件・人)



(i) 車種別交通事故発生件数

事故件数の少ない小型二輪、軽二輪、二種原付にあつては増減があるものの、概ね減少傾向を示しており、事故件数の多い原付については平成13年をピークに漸減している。(単位：件)



## ウ 年齢別

二輪車の事故は青年運転者が44件（25.0%）、高齢運転者が40件（22.7%）、と多い。

また、年代別事故発生件数に対する二輪事故の占める割合をみると高校生が38.5パーセントと高くなっている。

（単位：件・%）

区分	年齢				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
全運転者の事故	1	13	430	1,273	1,717	1,042	1,947	1,656	1,716	826	1,660	10,564
構成率(%)	0.0	0.1	4.1	12.1	16.3	0.0	18.4	15.7	16.2	7.8	15.7	100.0
二輪車事故		5	20	19	44	16	23	19	26	8	40	176
構成率(%)	0.0	2.8	11.4	10.8	25.0	9.1	13.1	10.8	14.8	4.5	22.7	100.0
全運転者事故に占める割合	0.0	38.5	4.7	1.5	2.6	1.5	1.2	1.1	1.5	1.0	2.4	1.7

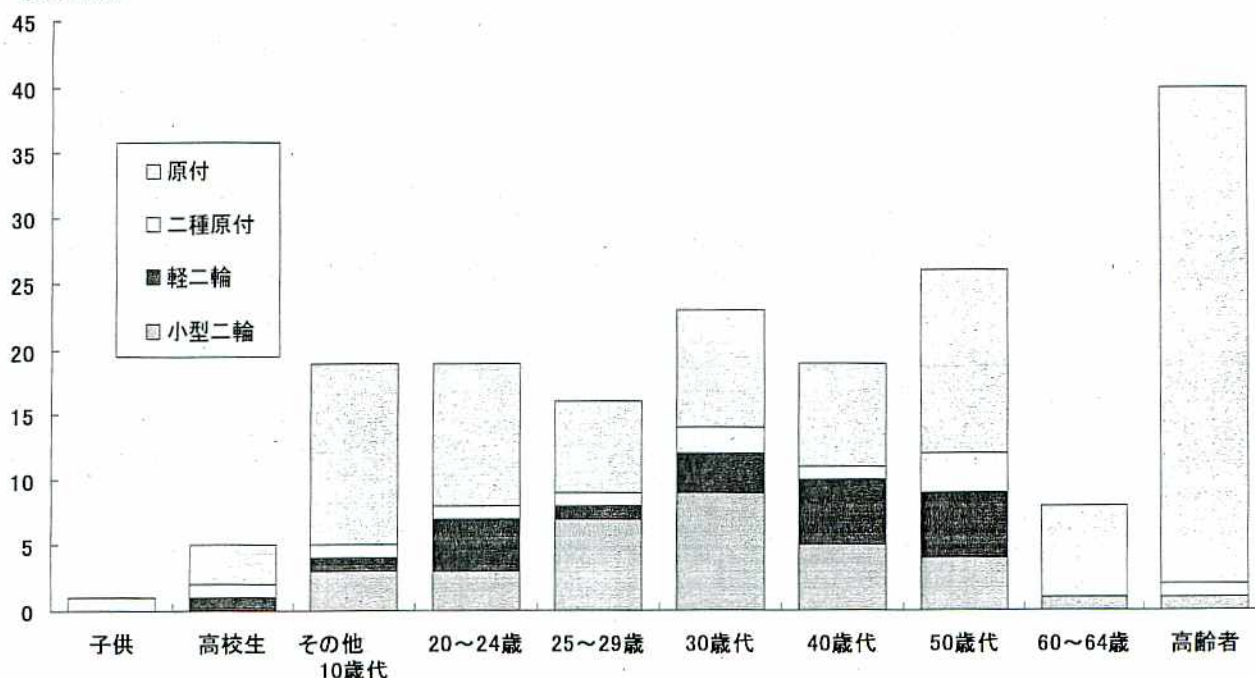
## エ 年齢別・車種別

青年運転者による二輪事故の車種別構成率は、二種原付が33.3パーセント、軽二輪が30.0パーセントと高い割合を占めている。対して高齢運転者は原付が34.2パーセント、二種原付が8.3パーセントと高くなっている。

（単位：件・%）

区分	年齢				計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
	子供	高校生	その他10歳代	20～24歳								
小型二輪			3	3	6	7	9	5	4	1	1	33
構成率(%)	0.0	0.0	9.1	9.1	18.2	21.2	27.3	15.2	12.1	3.0	3.0	100
軽二輪		1	1	4	6	1	3	5	5			20
構成率(%)	0.0	5.0	5.0	20.0	30.0	5.0	15.0	25.0	25.0	0	0.0	100
二種原付	1	1	1	1	4	1	2	1	3		1	12
構成率(%)	8.3	8.3	8.3	8.3	33.3	8.3	16.7	8.3	25.0	0.0	8.3	100
原付		3	14	11	28	7	9	8	14	7	38	111
構成率(%)	0.0	2.7	12.6	9.9	25.2	6.3	8.1	7.2	12.6	6.3	34.2	100

事故件数(件)



オ 車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、全二輪車種で10年以上の占める割合が高い。

その他、原付は1年未満の占める割合が15.3パーセントと高くなっている。（単位：件・％）

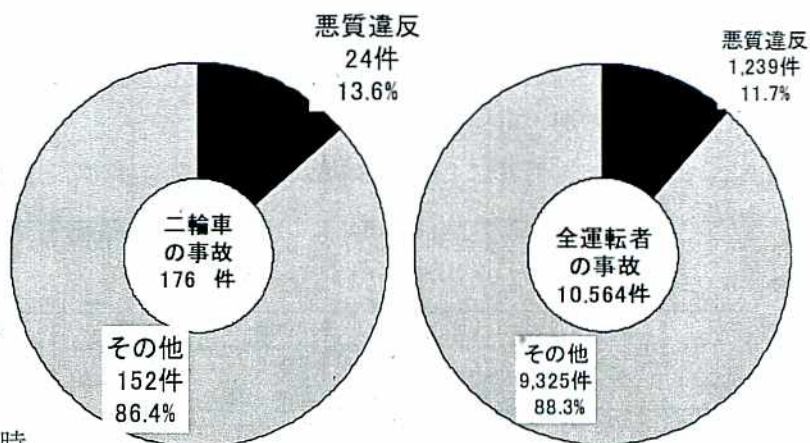
経験年数	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計	
	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)
1年未満	4	12.1	1	5.0		0.0	17	15.3	22	12.5
1～2年	1	3.0	3	15.0	1	8.3	7	6.3	12	6.8
2～3年	1	3.0		0.0		0.0	1	0.9	2	1.1
3～4年		0.0		0.0	1	8.3	2	1.8	3	1.7
4～5年	1	3.0	1	5.0		0.0	4	3.6	6	3.4
10年未満	5	15.2	2	10.0	1	8.3	6	5.4	14	8.0
10年以上	21	63.6	13	65.0	7	58.3	73	65.8	114	64.8
無免許		0.0		0.0	2	16.7	1	0.9	3	1.7
合計	33	100.0	20	100.0	12	100.0	111	100.0	176	100.0

カ 車種別・違反別

二輪事故の悪質違反の占める割合は13.6パーセントとなっており、なかでも一時不停止、信号無視の順に多い。

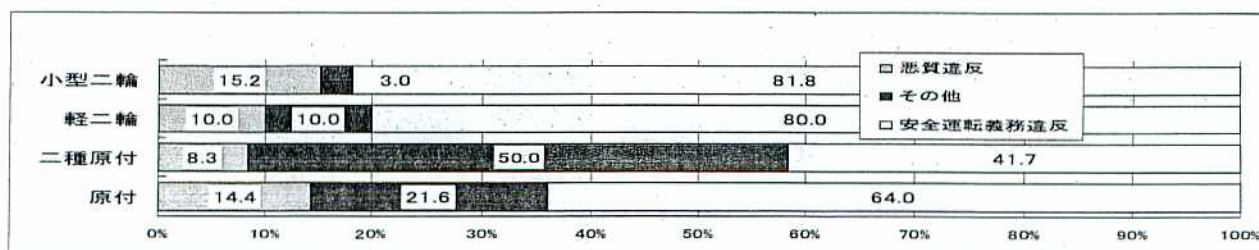
車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは小型二輪で15.2パーセントとなっている。

原付の悪質違反については、一時不停止が14件で87.5パーセントとなっている。



(単位：件・％)

違反	小型二輪		軽二輪		二種原付		原付		合計		
	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	2	6.1	1	5.0	1	8.3	2	1.8	6	3.4
	最高速度	2	6.1		0.0		0.0		0.0	2	1.1
	通区・追越	1	3.0		0.0		0.0		0.0	1	0.6
	歩行者妨害等		0.0	1	5.0		0.0		0.0	1	0.6
	一時不停止		0.0		0.0		0.0	14	12.6	14	8.0
	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
計	5	15.2	2	10.0	1	8.3	16	14.4	24	13.6	
横断禁止等		0.0	1	5.0		0.0	1	0.9	2	1.1	
右・左折違反		0.0		0.0	1	8.3	4	3.6	5	2.8	
優先通行妨害等		0.0		0.0		0.0	5	4.5	5	2.8	
交差点安全進行	1	3.0		0.0	2	16.7	12	10.8	15	8.5	
徐行違反		0.0	1	5.0	2	16.7	1	0.9	4	2.3	
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	11	33.3	5	25.0	1	8.3	13	11.7	30	17.0
	前方不注意	5	15.2	6	30.0	2	16.7	28	25.2	41	23.3
	動静不注意	1	3.0		0.0		0.0	6	5.4	7	4.0
	安全不確認	4	12.1	2	10.0	2	16.7	19	17.1	27	15.3
	安全速度	6	18.2	3	15.0		0.0	3	2.7	12	6.8
	その他		0.0		0.0		0.0	2	1.8	2	1.1
計	27	81.8	16	80.0	5	41.7	71	64.0	119	67.6	
その他		0.0		0.0	1	8.3	1	0.9	2	1.1	
合計	33	100.0	20	100.0	12	100.0	111	100.0	176	100.0	



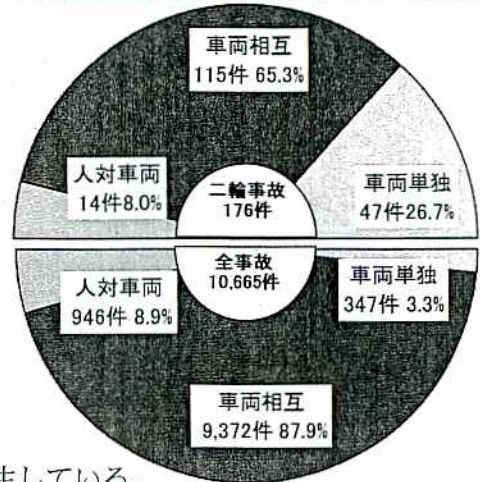


キ 車種別・事故類型別 (

単位：件・%)

類型	車種	全 事 故		二 輪 合 計		小 型 二 輪		軽 二 輪		二 種 原 付		原 付		
		件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	件数	構成率(%)	
人対車両	横断中	509	4.8	5	2.8		0.0	2	10.0		0.0	3	2.7	
	対面・背面	164	1.5	6	3.4		0.0		0.0		0.0	6	5.4	
	その他	273	2.6	3	1.7		0.0	1	5.0		0.0	2	1.8	
	計	946	8.9	14	8.0	0	0.0	3	15.0	0	0.0	11	9.9	
車両相互	正面衝突	419	3.9	8	4.5	4	12.1	2	10.0	1	8.3	1	0.9	
	追突	進行中	548	5.1	10	5.7	2	6.1		0.0		0.0	8	7.2
		駐・停止中	3,726	34.9	15	8.5	2	6.1	3	15.0	2	16.7	8	7.2
	出会い頭	2,862	26.8	60	34.1	6	18.2	3	15.0	5	41.7	46	41.4	
	追越・追抜	110	1.0	4	2.3	1	3.0		0.0		0.0	3	2.7	
	右折時	690	6.5	8	4.5		0.0		0.0	1	8.3	7	6.3	
	左折時	264	2.5	3	1.7	1	3.0		0.0	1	8.3	1	0.9	
	その他	753	7.1	7	4.0	1	3.0	2	10.0		0.0	4	3.6	
計	9,372	87.9	115	65.3	17	51.5	10	50.0	10	83.3	78	70.3		
車両単独	工作物衝突	193	1.8	9	5.1	3	9.1	2	10.0	2	16.7	2	1.8	
	路外逸脱	43	0.4	7	4.0	1	3.0	1	5.0		0.0	5	4.5	
	転倒	45	0.4	27	15.3	12	36.4	4	20.0		0.0	11	9.9	
	駐車車両衝突	40	0.4	2	1.1		0.0		0.0		0.0	2	1.8	
	その他	26	0	2	1		0		0		0	2	2	
計	347	3.3	47	26.7	16	48.5	7	35.0	2	16.7	22	19.8		
踏切		0		0		0		0		0		0		
合計	10,665	100.0	176	100.0	33	100.0	20	100.0	12	100.0	111	100.0		

- ・人対車両・・・0.9ポイント低い
- ・車両相互・・・22.6ポイント低い
- ・車両単独・・・23.4ポイント高く、特に転倒が高くなっている。



ク 昼夜別・道路別

二輪車事故の73.9パーセント(130件)が昼間に発生している。

道路別に対比すると、市町村道での発生が96件と最も多く54.5パーセントを占める。

夜間の発生についても市町村道での発生が29件(63.0%)と多くなっている。

(単位：件・%)

昼夜	道路	国 道						県 道			市 村	町 道	高速道	その他	合 計
		4号	6号	13号	49号	三折	計	主要	一県	般道					
昼 間	件数	5	3	1	2	18	29	17	10	27	67	4	3	130	
	構成率(%)	3.8	2.3	0.8	1.5	13.8	22.3	13.1	7.7	20.8	51.5	3.1	2.3	100.0	
夜 間	件数	5	3	1		1	10	4	2	6	29		1	46	
	構成率(%)	10.9	6.5	2.2	0.0	2.2	21.7	8.7	4.3	13.0	63.0	0.0	2.2	100.0	
薄暮(内数)	件数		1				1	1	1	2	3			6	
	構成率(%)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	100.0	
合 計	件数	10	6	2	2	19	39	21	12	33	96	4	4	176	
	構成率(%)	5.7	3.4	1.1	1.1	10.8	22.2	11.9	6.8	18.8	54.5	2.3	2.3	100.0	

ケ 道路線形別

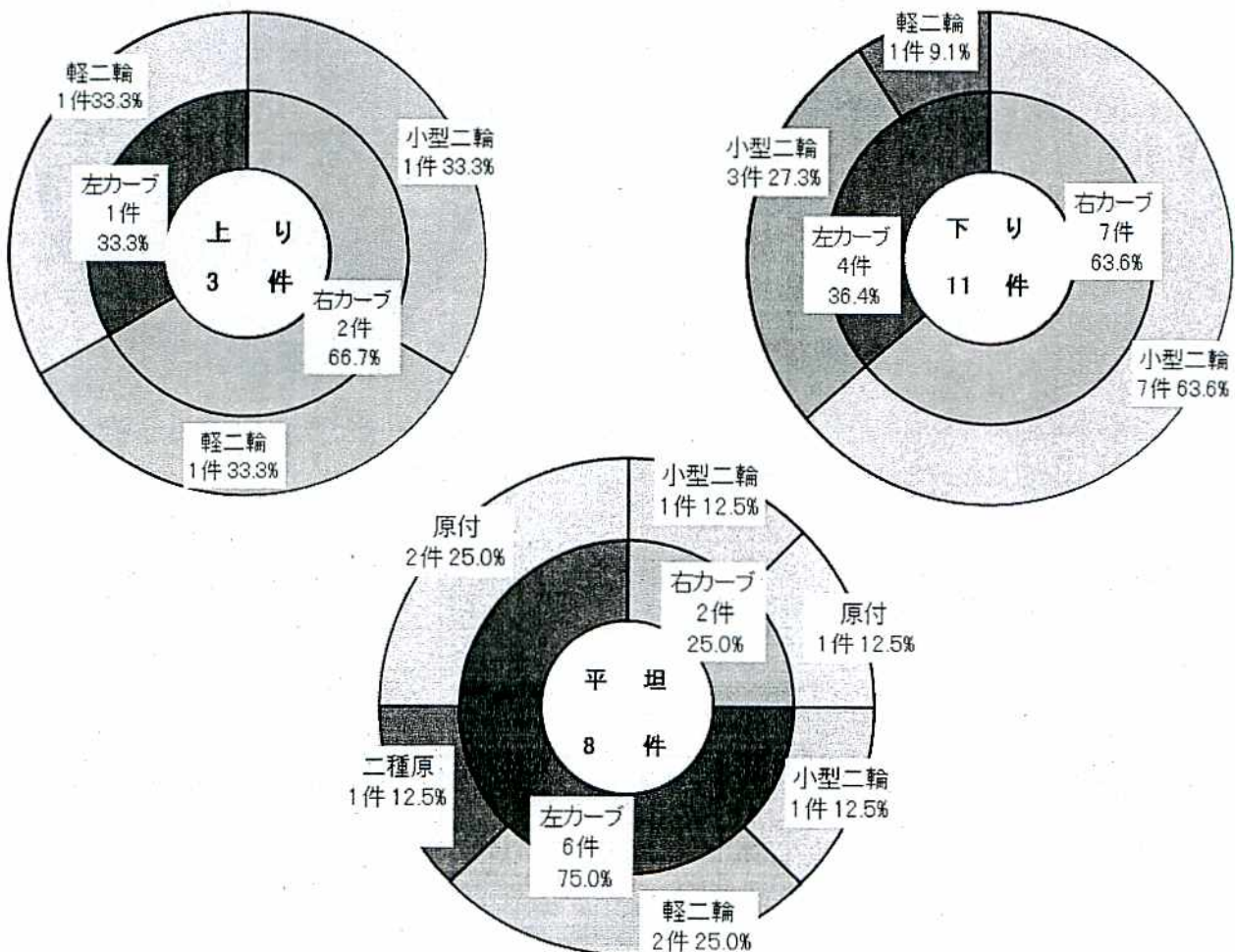
全事故と比較するとカーブでの事故の割合が高く、右カーブ、左カーブとも全二輪事故の 6.4パーセントを占めている。

(単位：件・%)

線形	車種	全事故		二輪合計		小型二輪		軽二輪		二種原付		原付	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)		
上り	右カーブ	31	0.3	2	1.2	1	3.0	1	5.0		0.0		0.0
	左カーブ	54	0.5	1	0.6		0.0	1	5.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	83	0.8	7	4.1	7	21.2		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	96	0.9	4	2.3	3	9.1	1	5.0		0.0		0.0
平坦	右カーブ	162	1.6	2	1.2	1	3.0		0.0		0.0	1	0.9
	左カーブ	177	1.7	6	3.5	1	3.0	2	10.0	1	8.3	2	1.9
直線	上り	292	2.9	6	3.5	1	3.0		0.0		0.0	5	4.7
	下り	427	4.2	2	1.2		0.0	1	5.0		0.0	1	0.9
	平坦	8,829	87.0	142	82.6	19	57.6	14	70.0	11	91.7	98	91.6
合計	右カーブ	276	2.7	11	6.4	9	27.3	1	5.0	0	0.0	1	0.9
	左カーブ	327	3.2	11	6.4	4	12.1	4	20.0	1	8.3	2	1.9

全事故件数	10,151	100	172	100	33	100	20	100	12	100	107	100
-------	--------	-----	-----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----

\* 全事故のうち、その他の道路514件、二輪事故のうちその他の道路4件を除く。



(2) 二輪車の死傷者

ア 概況

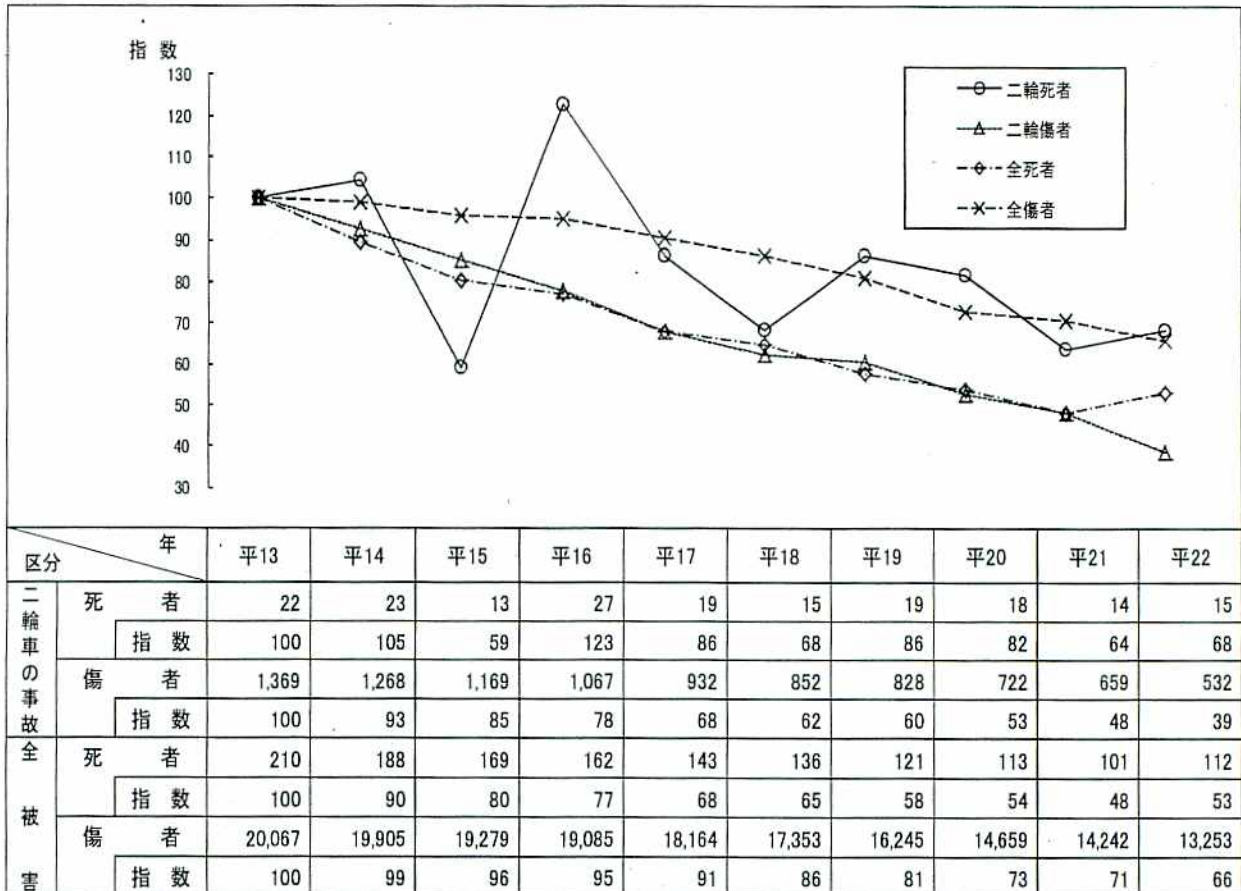
二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数 15人（前年比 +1人 7.1%増）

傷者数 532人（前年比 -127人 19.3%減）

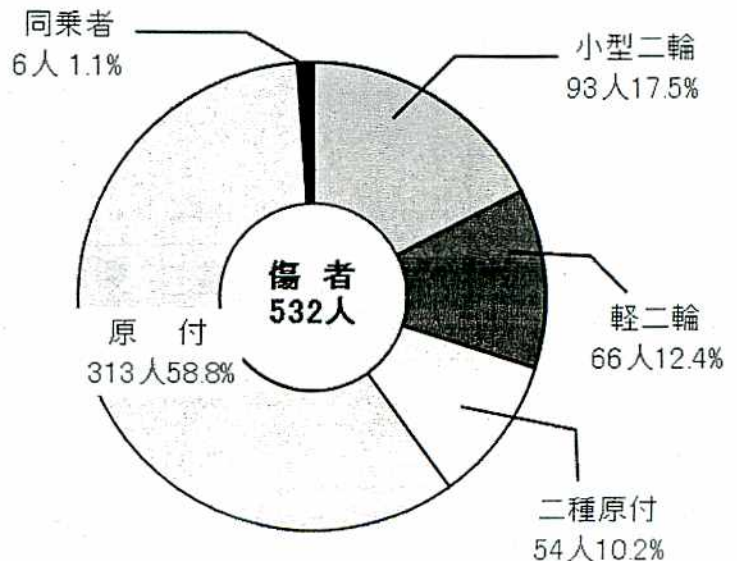
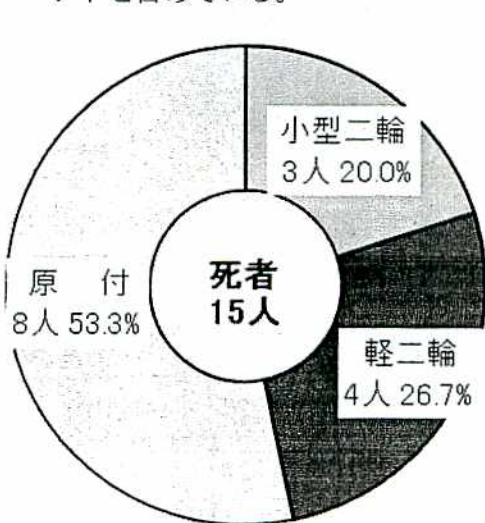
で、死者数は増加し、傷者数は減少した。

（単位：人）



イ 車種別

車種別にみると、死者、傷者ともに原付が多く、死者は53.3パーセント、傷者は58.8パーセントを占めている。



### ウ 年齢別

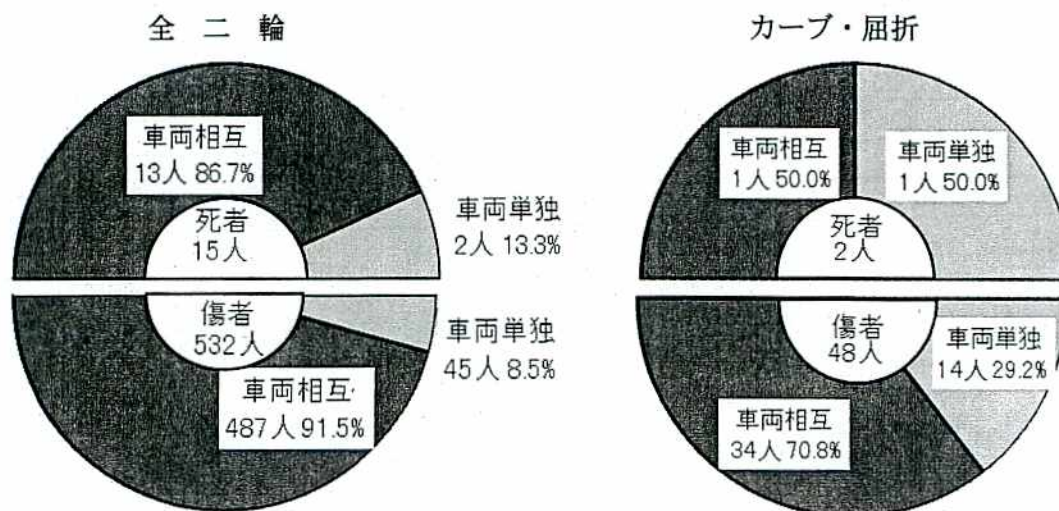
年齢別にみると、高齢者が死者、傷者とも多く、死者は6人40.0パーセント、傷者は124人23.3パーセントを占めている。 (単位：人・%)

車種		年齢								合計
		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	
二輪車	死者	1	0	2	1	2	1	2	6	15
	構成率(%)	6.7	0.0	13.3	6.7	13.3	6.7	13.3	40.0	100.0
計	傷者	51	83	30	82	57	73	32	124	532
	構成率(%)	9.6	15.6	5.6	15.4	10.7	13.7	6.0	23.3	100.0
小型二輪	死者	0	0	2	0	1	0	0	0	3
	傷者	10	20	7	26	15	12	2	1	93
軽二輪	死者	0	0	0	1	1	1	1	0	4
	傷者	10	19	5	12	9	9	1	1	66
二種原付	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	傷者	3	8	3	7	6	11	5	11	54
原付	死者	1	0	0	0	0	0	1	6	8
	傷者	27	32	15	36	27	41	24	111	313
同乗者	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	傷者	1	4	0	1	0	0	0	0	6

### エ 事故類型別・道路形状別

全二輪事故では、死者・傷者とも車両相互によるものが多くなっている。

カーブ・屈折では、死者は車両相互、車両単独によるものが各1人、傷者は車両相互によるものが多くなっている。



### オ ヘルメット着用状況

原付の着用率は、自動二輪の着用率より0.3ポイント低くなっている。 (単位：人・%)

車種	区分	死者		傷者		合計	
		ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)	ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪		7	100.0	219	97.7	226	97.8
原付		8	100.0	313	97.4	321	97.5
合計		15	100.0	532	97.6	547	97.6

### 1.3 タクシーの事故

#### (1) 概況

タクシーが第1当事者となった事故は、

発生件数 123件（前年比 -12件 8.9%減）

死者数 0人（前年比 ±0人 ——）

傷者数 141人（前年比 -19人 11.9%減）

で、発生件数、傷者数とも減少し、平成17年から死亡事故の発生はない。

タクシーが第2当事者になった事故は、

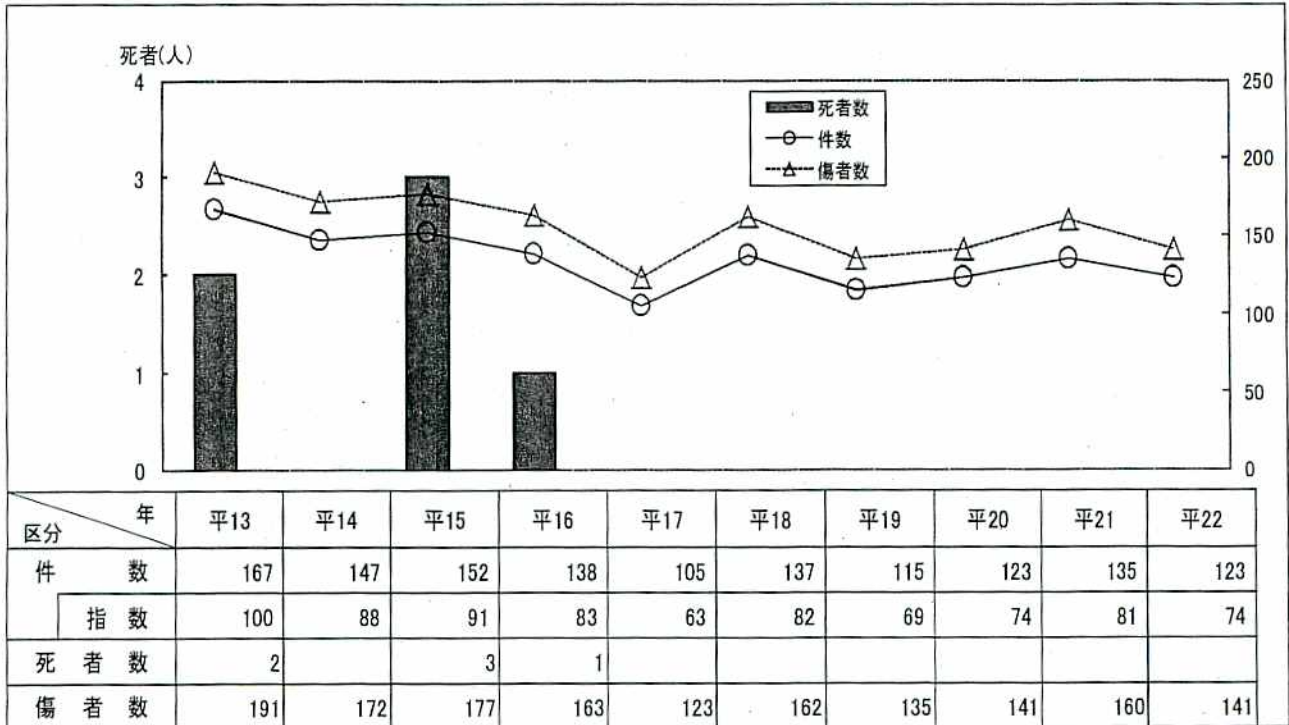
発生件数 57件（前年比 -15件 20.8%減）

死者数 0人（前年比 ±0人 ——）

傷者数 74人（前年比 -23人 23.0%減）

で、発生件数、傷者数とも減少し、死者はない。

（単位：件・人）



#### (2) 月別

7月が17件と最も多く、次いで6月の12件、4、9、10、12月の11件の順となっている。

（単位：件・人）

区分	年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数		9	9	8	11	6	12	17	8	11	11	10	11	123
死者数														0
傷者数		11	12	8	12	7	14	18	9	14	13	11	12	141

(3) 年齢別

50歳代が47件で最も多く、タクシー事故の38.2パーセントを占めている。

(単位：件・%)

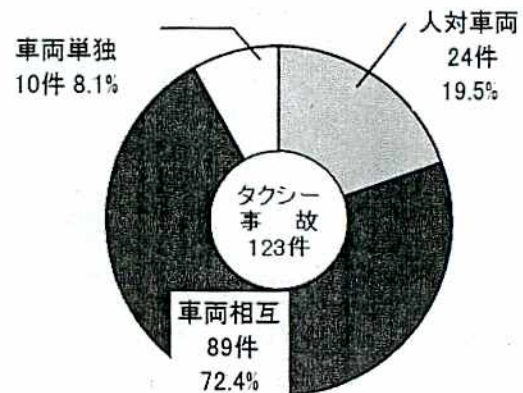
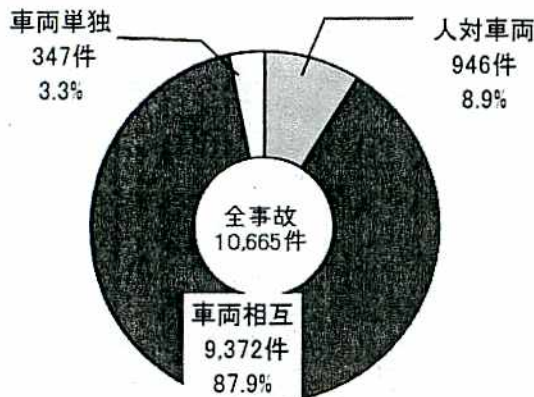
区分	年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
	件数		0	0	4	12	47	35	
	構成率(%)	0.0	0.0	3.3	9.8	38.2	28.5	20.3	100.0

(4) 事故類型別

車両相互の事故が89件(72.4%)と最も多く、うち出会い頭が29.3パーセントと高い。

全事故と比較すると人対車両事故の占める割合が2倍以上と高くなっている。(単位：件・%)

区分	類型	人対車両				車両相互						車両単独			合計		
		通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱		その他	計
件数		0	16	8	24	1	29	36	9	3	11	89	7	1	2	10	123
	構成率(%)	0.0	13.0	6.5	19.5	0.8	23.6	29.3	7.3	2.4	8.9	72.4	5.7	0.8	1.6	8.1	100



(5) 違反別

安全不確認の事故が44件で35.8パーセントを占め、次に前方不注意の順となっている。

悪質違反は10.6パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	違反	悪質違反										安全運転義務違反					その他	合計		
		信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転	計	横断禁止等	左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注意			安全不確認	その他
件数		2			7	4	13		1	1	15	4	7	21	12	44	2	86	3	123
	構成率(%)	1.6	0.0	0.0	5.7	3.3	10.6	0.0	0.8	0.8	12.2	3.3	5.7	17.1	9.8	35.8	1.6	69.9	2.4	100

## 1.4 バスの事故

### (1) 概況

バスが第1当事者となった事故は、

発生件数 16件（前年比 -4件 20.0%減）

死者数 0人（前年比 ±0人 ——）

傷者数 17人（前年比 -27人 61.4%減）

で、発生件数、傷者数とも減少し、死者はなかった。

バスの関与した事故は、

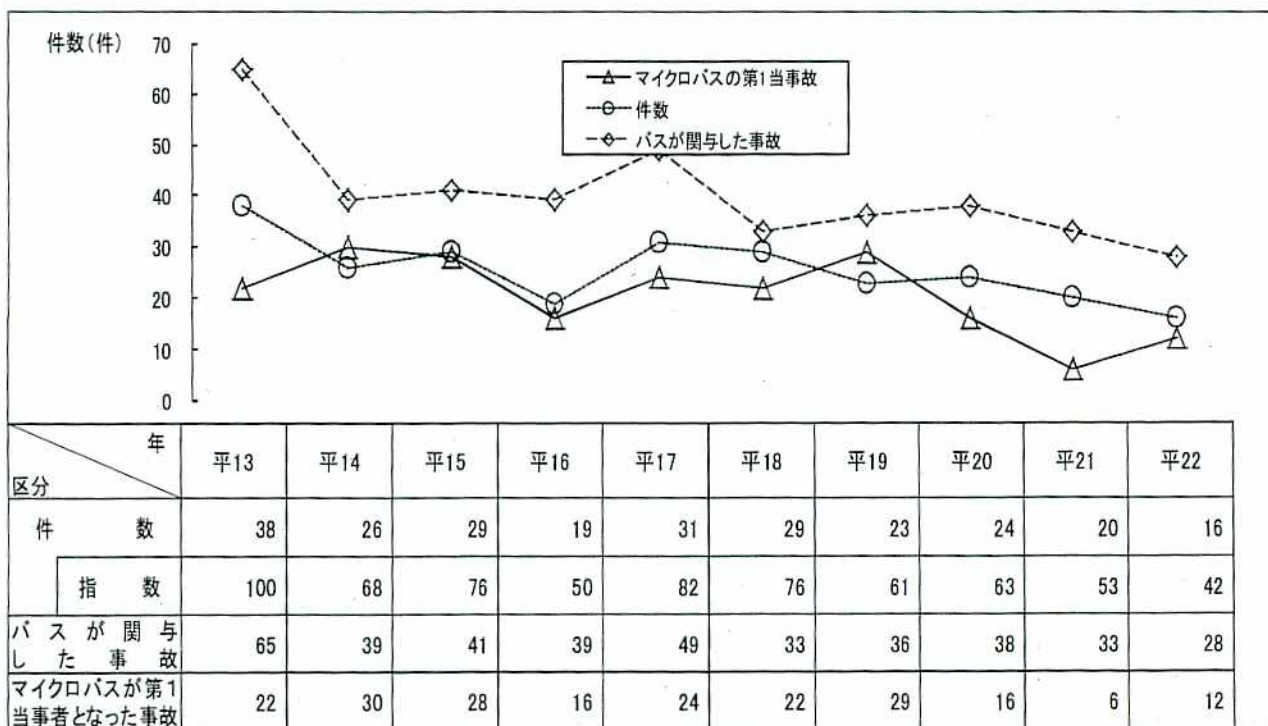
発生件数 28件（前年比 -5件 15.2%減）

死者数 1人（前年比 +1人 ——）

傷者数 35人（前年比 -29人 45.3%減）

で、発生件数、傷者数とも減少し、死者は1人であった。

（単位：件）



### 〈参考〉

マイクロバス（乗車定員が11～29人）の事故

発生件数 12件（前年比 +6件 100.0%増）

死者数 0人（前年比 0人 ——）

傷者数 20人（前年比 +11人 122.2%増）

関連した事故

発生件数 17件（前年比 +7件 70.0%増）

死者数 0人（前年比 0人 ——）

傷者数 30人（前年比 -2人 6.3%減）

(2) 月別

バスの運転者が第1当事者となった事故は11月が3件と最も多く発生し、関係事故は8月に6件と多く発生している。

(単位：件・人)

区分		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1当事者	件数		1	1	1	1	1	2	2	1	1	3	2	16
	死者数													0
	傷者数		1	1	1	1	2	2	2	1	1	3	2	17
関係事故	件数	1	1	2	3	2	1	4	6	1	1	3	3	28
	死者数								1					1
	傷者数	1	1	3	3	3	2	4	10	1	1	3	3	35

(3) 用途別

バス運転者が第1当事者となった事故は路線バスが最も多く62.5パーセントを占めている。

関係事故についても路線バスが71.4パーセントを占めている。

(単位：件・人)

区分	用途	第1当事者			計	関係事故			計
		路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数		10	3	3	16	20	3	5	28
死者					0	1			1
傷者		11	3	3	17	26	6	3	35

(4) 年齢別

50歳代の割合が高く、第1当事者となった事故は37.5パーセント、関係事故も同様に35.7パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	年齢	24歳以下	25~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
		第1当事者			1	5	2	6	
関係事故			1	8	5	10	1	3	28

(5) 道路別

第1当事者となった事故は県道と市町村道での発生が多く、それぞれ5件となっており、関係事については国道と市町村道の発生がそれぞれ9件となっている。

(単位：件)

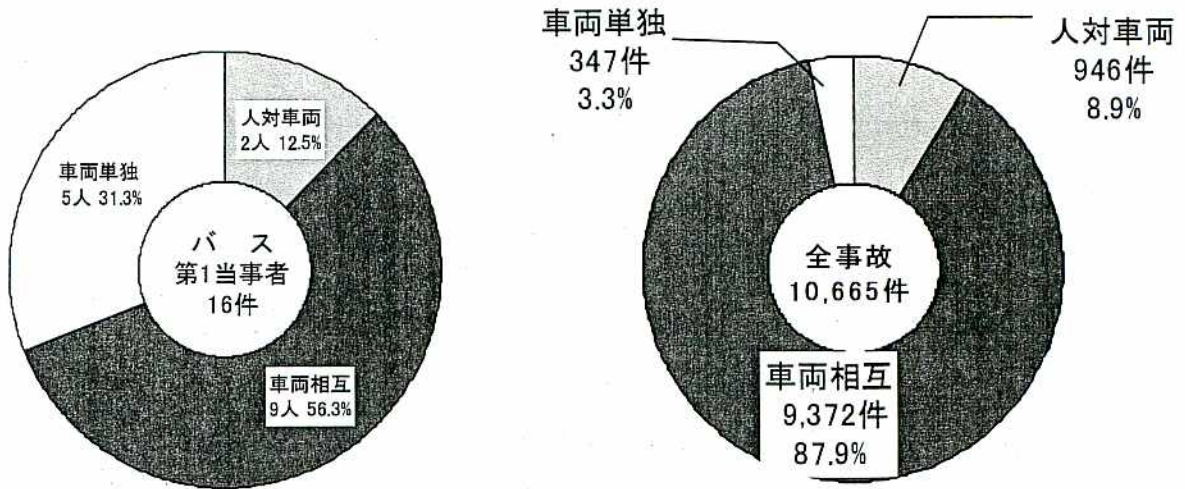
区分	道路	国道					計	県道			市町村道	高速道	その他	合計
		4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般道	計				
第1当事者		2			1	1	4	3	2	5	5	1	1	16
関係事故		3	2		2	2	9	4	4	8	9	1	1	28



(6) 事故類型別

人対車両と車両単独事故の割合が高く、全事故と比較すると人対車両で約 1.4 倍、車両単独で約 9.5 倍と高くなっている。(単位: 件・%)

区分	人 対 車 両				車 両 相 互							車 両 単 独			合 計	
	通 行 中	横 断 中	そ の 他	計	正 面 衝 突	追 突	出 会 い 頭	後 退 ・ 転 回	右 ・ 左 折 時	そ の 他	計	工 作 物 衝 突	路 外 逸 脱	そ の 他		計
件 数		2		2	1	4	1	1	1	1	9			5	5	16
構成率(%)	0.0	12.5	0.0	12.5	6.3	25.0	6.3	6.3	6.3	6.3	56.3	0.0	0.0	31.3	31.3	100



(7) 違反別

安全運転義務違反が 12 件で 75.0 パーセントを占めている。特に、動静不注視が 4 件で最も多くなっている。

(単位: 件・%)

違反	区分	件 数		違反	区分	件 数	
		件	構成率(%)			件	構成率(%)
悪 質 違 反	信 号 無 視	1	6.3	交 差 点 安 全 進 行	2	12.5	
	最 高 速 度		0.0		過 労 運 転		0.0
	通 区 ・ 追 越		0.0	安 全 運 転 義 務 違 反	ハ ン ド ル ・ プ レ ー キ	2	12.5
	歩 行 者 妨 害 等		0.0		前 方 不 注 意	3	18.8
	一 時 不 停 止		0.0		動 静 不 注 視	4	25.0
	酒 酔 い 運 転		0.0		安 全 不 確 認	2	12.5
計	1	6.3	安 全 速 度	1	6.3		
横 断 禁 止 等		0.0	そ の 他		0.0		
車 間 距 離 不 保 持		0.0	計	12	75.0		
進 路 変 更 禁 止		0.0	そ の 他	1	6.3		
右 ・ 左 折		0.0	歩 行 者 の 違 反		0.0		
優 先 通 行 妨 害 等		0.0	合 計	16	100		

## 15 ダンプカーの事故

### (1) 概況

ダンプカーが第1当事者になった事故は、

発生件数 55件 (前年比 +3件 5.8%増)

死者数 1人 (前年比 -1人 50.0%減)

傷者数 69人 (前年比 +12人 21.1%増)

で、発生件数、傷者数とも増加したが、死者数は減少した。

ダンプカーが第2当事者になった事故は、

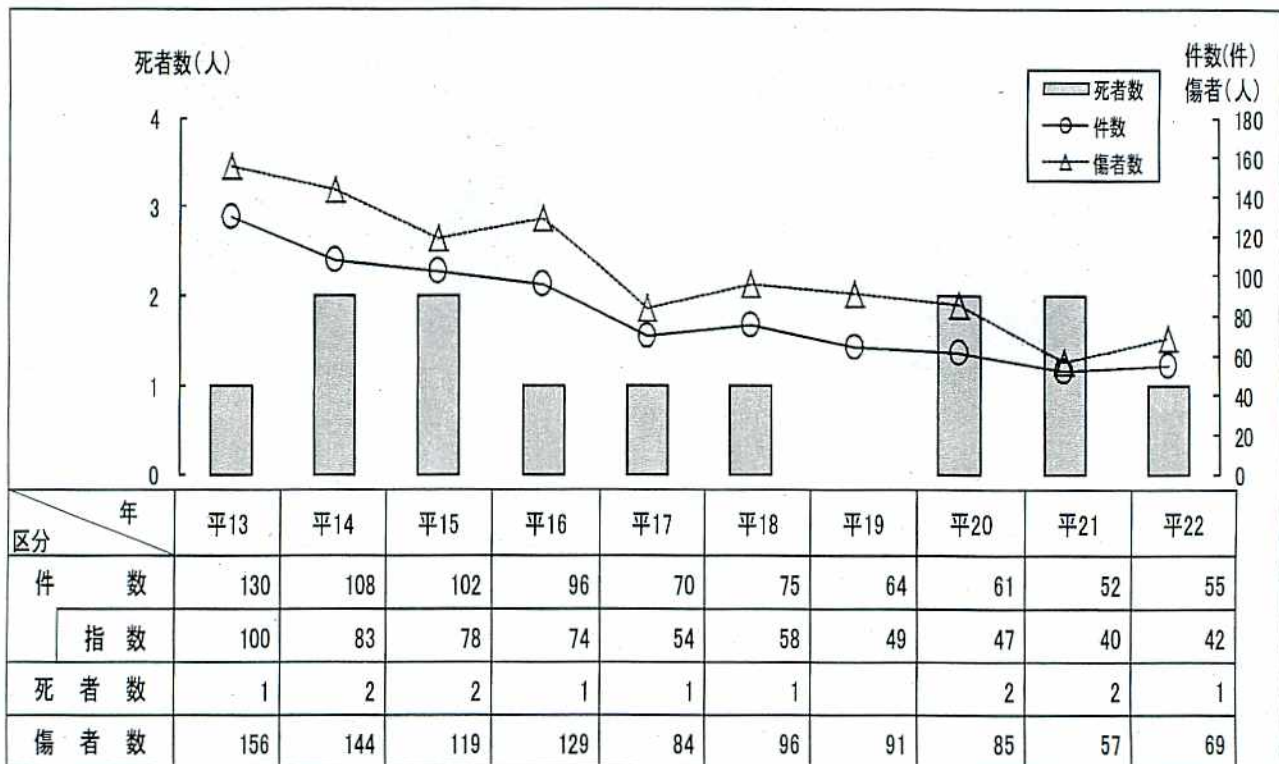
発生件数 31件 (前年比 -1件 3.1%減)

死者数 1人 (前年比 ±0人 ——)

傷者数 51人 (前年比 +2人 4.1%増)

で、発生件数は減少したが、死者数は同数、傷者数は増加した。

(単位：件・人)



### (2) 月別

8月が8件で最も多く、次いで2、11月の7件の順となっている。

(単位：件・人)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	2	7	6	3	2	2	3	8	5	4	7	6	55
死者数											1		1
傷者数	3	8	7	3	3	2	3	12	7	4	11	6	69

(3) 年齢別・免許年数経過別

年齢別では、50歳代が14件で最も多く、次いで40歳代の12件となっている。

また、免許経過年数では、10年以上が48件でダンプ事故の87.3パーセントを占めている。

(単位：件)

区分	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者 (65歳以上)	合計
1年未満	1							1
1～2年								0
2～3年								0
3～4年		1						1
4～5年							1	1
10年未満	1	2						3
10年以上			8	12	14	7	7	48
無免許	1							1
合計	3	3	8	12	14	7	8	55

(4) 違反別

前方不注意が17件でダンプ事故の30.9パーセントを占め最も多く、次いで安全不確認の14件となっている。

悪質違反は3件で、すべて信号無視となっている。

(単位：件・%)

違反	区分	件数		違反	区分	件数		
		件数	構成率(%)			件数	構成率(%)	
悪質違反	信号無視	3	5.5	安全運転義務違反	交差点安全進行	2	3.6	
	最高速度		0.0		徐行違反			0.0
	通区・追越		0.0		ハンドル・ブレーキ	5	9.1	
	歩行者妨害等		0.0		前方不注意	17	30.9	
	一時不停止		0.0		動静不注視	6	10.9	
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	14	25.5	
計	3	5.5	安全速度	2	3.6			
横断禁止等		0.0	その他	2	3.6			
車間距離不保持		0.0	計	46	83.6			
進路変更禁止		0.0	その他	2	3.6			
右・左折	1	1.8	歩行者の違反			0.0		
優先通行妨害等	1	1.8	合計	55	100.0			

(5) 用途別

自家用ダンプの事故が多く、第1当事者では89.1パーセント、第2当事者では77.4パーセントを占めている。

(単位：件・人)

(単位：件・人)

用途	区分	件数	死者	傷者
第1当事者	事業用	6		11
	自家用	49	1	58
	合計	55	1	69

用途	区分	件数	死者	傷者
第2当事者	事業用	7	1	11
	自家用	24		40
	合計	31	1	51

## 16 安全運転管理者選任事業所の事故

### (1) 概況

県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

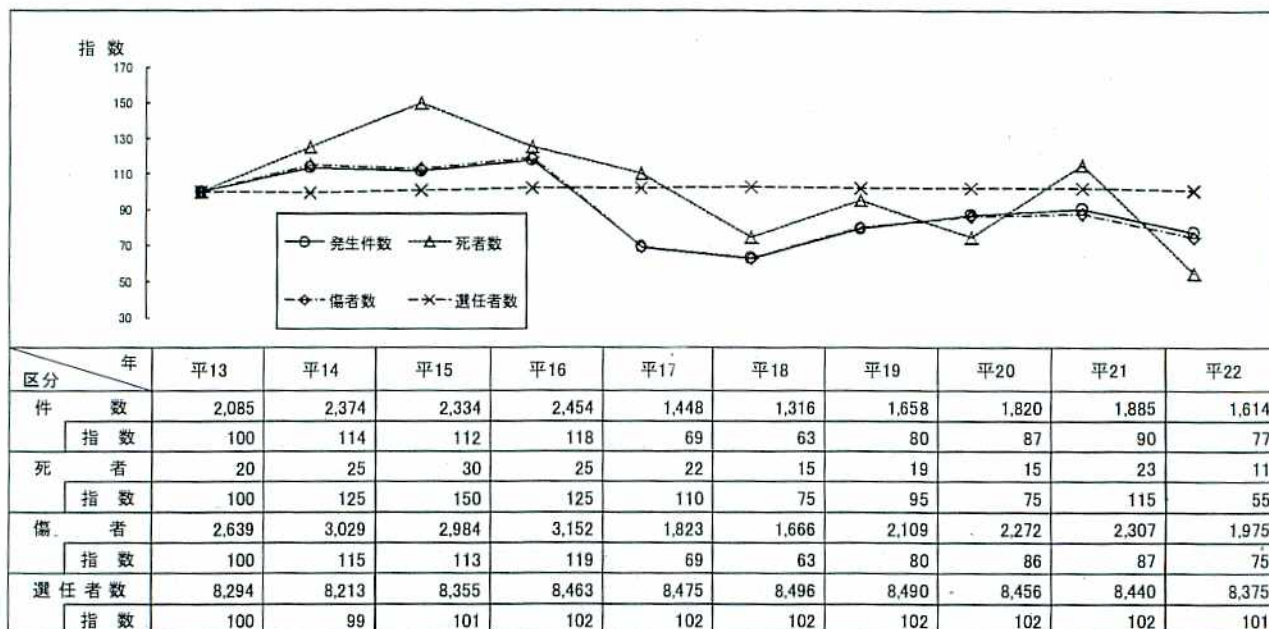
発生件数 1,614 件（前年比 -271 件 14.4%減）

死者数 11 人（前年比 -12 人 52.2%減）

傷者数 1,975 人（前年比 -332 人 14.4%減）

で、発生件数、死者数、傷者数とも減少した。

（単位：件・人）



### (2) 県内に所在する安管の事故

（注）選任数は各年3月末の数値

（単位：件・人・%）

業務外の事故が安管事業所事故の76.7

パーセントを占めている。

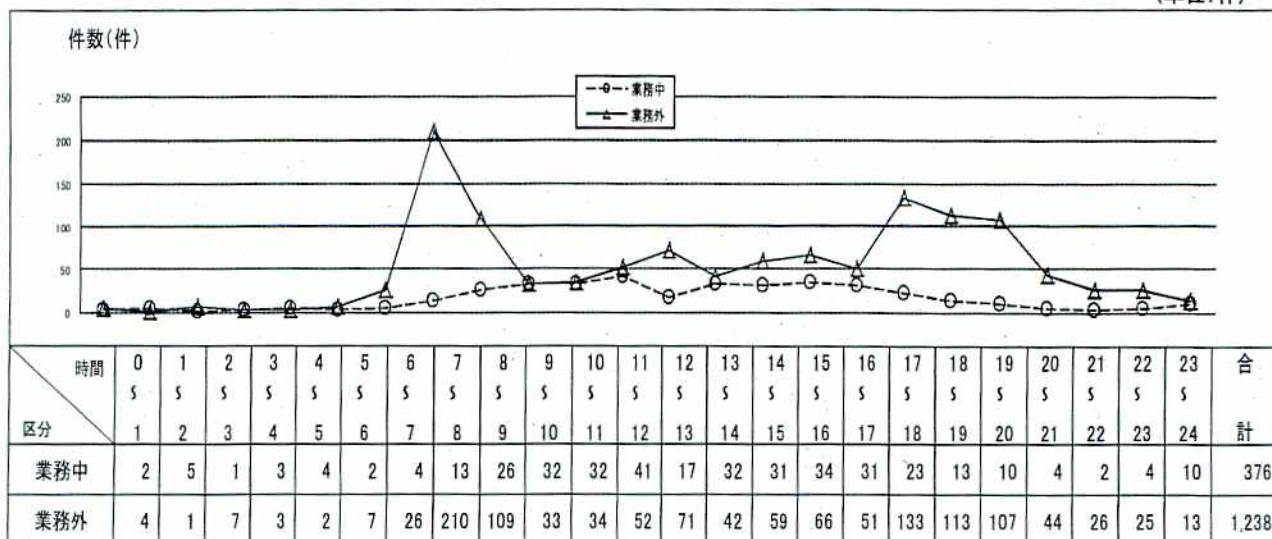
#### ア 時間別

業務中は11～12時の間、業務外では朝

夕の通勤時間帯の発生が多い。

区分	件数		死者	傷者
	割合 (%)			
業務中	376	23.3	1	498
業務外	1,238	76.7	10	1,477
通勤	567	35.1	4	660
私用中	671	41.6	6	817
調査不能	0	0.0	0	0

（単位：件）



イ 車種別・用途別

(7) 車種別

業務中では、普通乗用車が128件34.0パーセント、次いで普通貨物車が122件で32.4パーセントを占めている。

業務外では、普通乗用車782件が最も多く63.2パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	車種	普通車				貨物車				特殊車	二輪車					合計
		マイクロバス	普通	軽	計	大型	普通	軽	計		小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計	
業務中		3	128	36	167	31	122	48	201				6	2	8	376
	構成率(%)	0.8	34.0	9.6	44.4	8.2	32.4	12.8	53.5	0.0	0.0	0.0	1.6	0.5	2.1	100
業務外			782	364	1,146	1	25	49	75		5	4		8	17	1,238
	構成率(%)	0.0	63.2	29.4	92.6	0.1	2.0	4.0	6.1	0.0	0.4	0.3	0.0	0.6	1.4	100

(1) 用途別

用途別に業務中の事故をみると、自家用・その他が337件で最も多く、業務中事故の89.6パーセントを占めている。

代行運転の事故は19件で、うち13件は随伴車（代行会社の車両）となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	事業用	自家用					計	その他	合計
			レンタカー	スクールバス	代行運転	随伴	その他			
業務中		8	8	1	6	13	337	3	376	
	構成率(%)	2.1	2.1	0.3	1.6	3.5	89.6	0.8	100	
業務外			3				1,235		1,238	
	構成率(%)	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	99.8	0.0	100	

ウ 事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で45.5パーセント、業務外で42.7パーセントを占めている。

(単位：件・%)

区分	類型	人対車両			車両相互						車両単独			列車	合計	
		横断	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱			その他
業務中		12	25	37	7	171	89	3	29	26	325	10		4	14	376
	構成率(%)	3.2	6.6	9.8	1.9	45.5	23.7	0.8	7.7	6.9	86.4	2.7	0.0	1.1	3.7	0.0
業務外		67	61	128	37	529	330	11	116	68	1,091	8	3	8	19	1,238
	構成率(%)	5.4	4.9	10.3	3.0	42.7	26.7	0.9	9.4	5.5	88.1	0.6	0.2	0.6	1.5	0.0

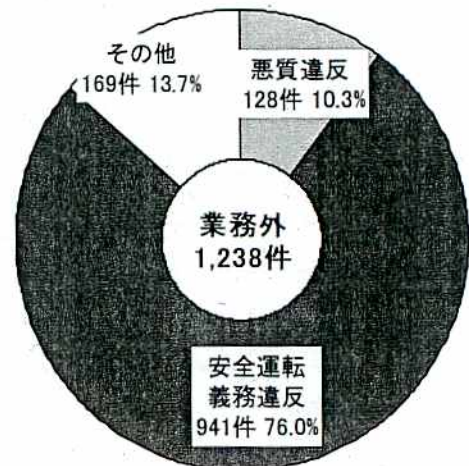
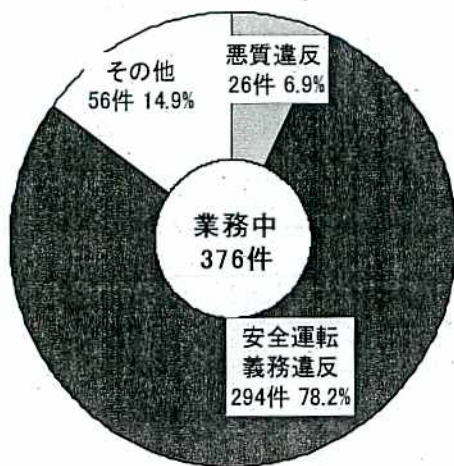
エ 違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、業務中で 78.2 パーセント、業務外で 76.0 パーセントを占めている。

悪質違反の中では横断歩行者妨害、一時不停止の占める割合が高くなっている。

(単位：件・%)

違反	区分	業務中		業務外		違反	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)			構成率 (%)	構成率 (%)		
悪質違反	信号無視	6	1.6	34	2.7	安全運転義務違反	徐行違反	7	1.9	11	0.9
	最高速度		0.0	2	0.2		過労運転		0.0	2	0.2
	通区・追越	3	0.8	9	0.7		ハンドル・ブレーキ	21	5.6	91	7.4
	歩行者妨害等	9	2.4	36	2.9		前方不注意	118	31.4	374	30.2
	一時不停止	8	2.1	47	3.8		動静不注意	52	13.8	181	14.6
	酒酔い運転		0.0		0.0		安全不確認	94	25.0	270	21.8
	計	26	6.9	128	10.3		安全速度	8	2.1	22	1.8
	横断禁止等	1	0.3	2	0.2		予測不適	1	0.3	3	0.2
	車間距離不保持	1	0.3	1	0.1		その他		0.0		0.0
	進路変更禁止		0.0		0.0		計	294	78.2	941	76.0
右・左折	3	0.8	6	0.5	安全不確認ドア開放		0.0		0.0		
優先通行妨害等	4	1.1	32	2.6	その他	7	1.9	1	0.1		
交差点安全進行	33	8.8	114	9.2	合計	376	100	1,238	100		



(単位：件・%)

オ 原因別

業務中、業務外とも発見の遅れが 70 パーセント以上の高い割合を占めている。

原因	区分	業務中		業務外	
		構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)	構成率 (%)
発見の遅れ		283	75.3	902	72.9
判断の誤り等		71	18.9	241	19.5
操作上の誤り		22	5.9	95	7.7
調査不能			0.0		0.0
合計		376	100	1,238	100

## 1.7 県外居住者の事故

### (1) 概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

発生件数 682件（前年比 -21件 3.0%減）

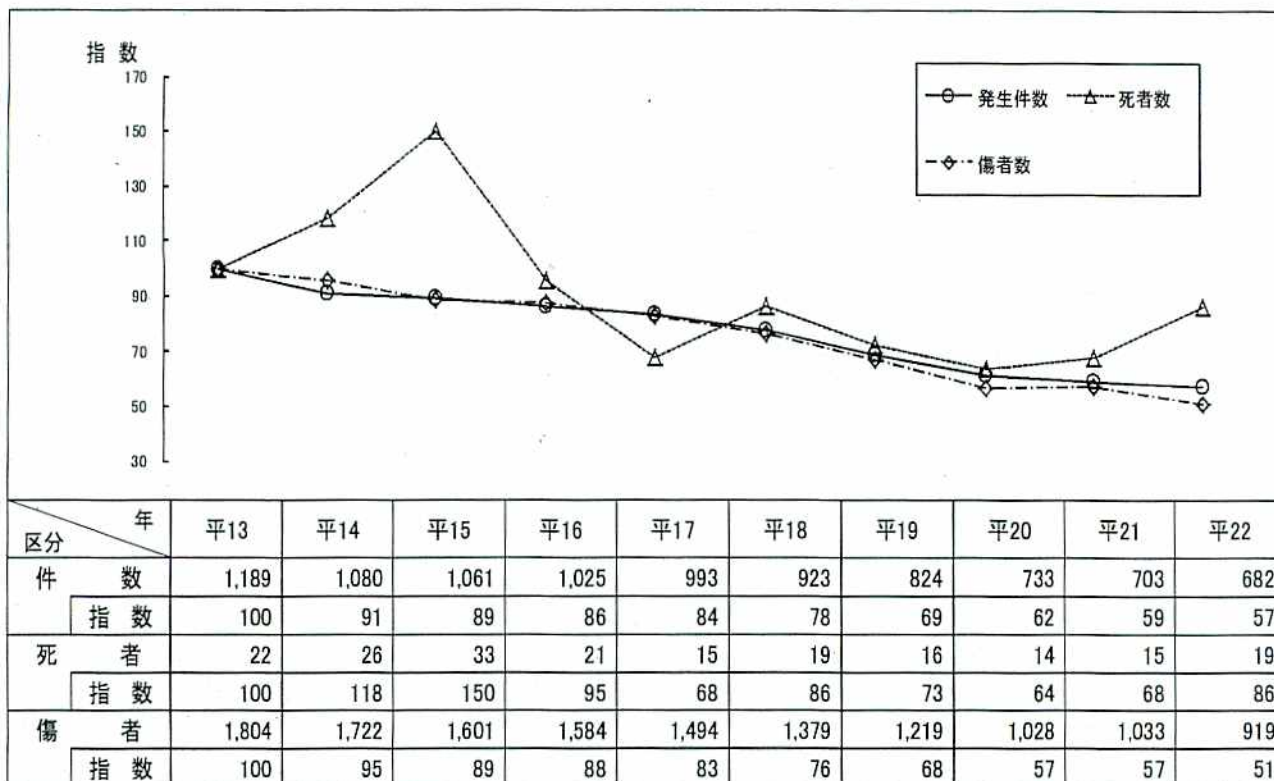
死者数 19人（前年比 +4人 26.7%増）

傷者数 919人（前年比 -114人 11.0%減）

で、発生件数、傷者数は減少したが、死者数は増加した。

過去10年間の発生件数の推移を見ると、平成13年の1,189件をピークに漸減している。

（単位：件・人）



### (2) 月別

8月が78件で最も多く、次いで5月の65件となっている。

全事故に占める割合で見ると、8月が9.0パーセントで最も高く、最も低い3月と比較すると4.5ポイントの差（2倍）となっている。

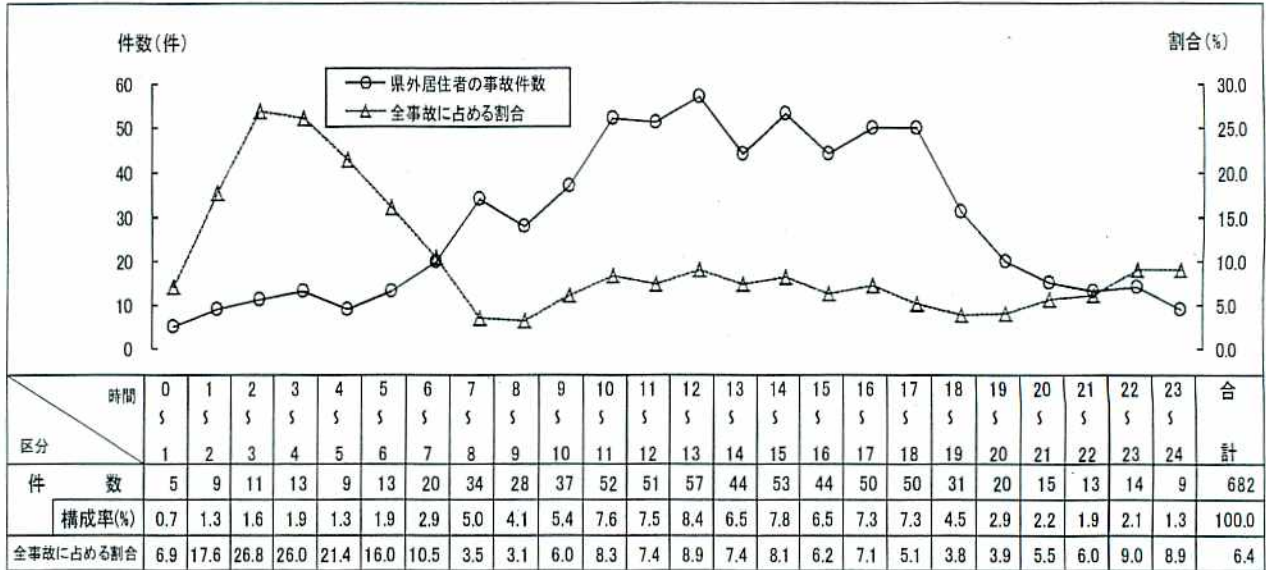
（単位：件・人・%）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		全事故	847	898	870	857	815	808	917	871	800	916	982	1,084
県外居住者	件数	60	54	39	59	65	52	62	78	61	49	53	50	682
	全事故に占める割合	7.1	6.0	4.5	6.9	8.0	6.4	6.8	9.0	7.6	5.3	5.4	4.6	6.4
	死者	1				2		2	4	7	1		2	19
	傷者	80	80	53	76	93	64	85	112	75	58	76	67	919

(3) 時間別

発生件数が最も多いのは、12～13時の57件、次いで14～15時の53件、10～11時の52件、の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、2～3時の26.8パーセントが最も高く、次いで3～4時の26.0パーセントとなっている。(単位：件・%)



(4) 道路別

国道での発生が243件で、全事故の35.6パーセントを占めている。特に国道4号が109件と多く発生している。

全事故に占める割合では、高速道路が69.7パーセントと最も高く、次いで幹線国道の4号、6号の順となっている。(単位：件・%)

区分	道路	道 路											合 計
		国 道					三 折 国 道	計	県 道	市 村 町 道	高 速 道	そ の 他	
		4 号	6 号	13 号	49 号	計							
件 数		109	84	16	34	243	96	339	98	141	69	35	682
構成率(%)		16.0	12.3	2.3	5.0	35.6	14.1	49.7	14.4	20.7	10.1	5.1	100.0
全事故に占める割合(%)		12.4	12.0	8.2	7.6	10.9	9.3	10.4	4.0	3.3	69.7	6.2	6.4

(5) 当事者別

普通乗用車が375件で最も多く、県外居住者事故の55.0パーセントを占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が46.3パーセントと高い割合となっている。

(単位：件・%)

区分	車種	乗 用 車								貨 物 車				二 輪 車			特殊車	自転車	歩行者	合 計
		バス・マイクロ			計	大 型 中 型 普 通 軽				計	自 動 車	原 付								
		4	3	2		大 型	中 型	普 通	軽											
件 数		4	375	75	454	81	56	48	23	208	18	1	19	1				682		
構成率(%)		0.6	55.0	11.0	66.6	11.9	8.2	7.0	3.4	30.5	2.6	0.1	2.8	0.1	0.0	0.0	100.0			
全体に占める割合		13.3	6.6	2.6	5.3	46.3	28.0	8.7	2.6	11.5	27.7	0.9	10.8	10.0	0.0	0.0	6.4			



(6) 年齢別

40～44歳が84件で最も多く、次いで高齢者が78件、20～24歳、35～39歳、45～49歳が75件となっている。

全事故に占める割合についても、40～44歳が9.9パーセントと最も高くなっている。(単位:件・%)

区分	年齢													高齢者	合計
	子ども	高校生	その他10歳代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳			
件数			20	75	56	73	75	84	75	55	44	47	78	682	
構成率(%)	0.0	0.0	2.9	11.0	8.2	10.7	11.0	12.3	11.0	8.1	6.5	6.9	11.4	100.0	
全体に占める割合	0.0	0.0	4.6	5.9	5.4	7.6	7.6	9.9	9.3	6.9	4.8	5.7	4.7	6.4	

(7) 通行目的別

(単位:件・人・%)

私用中が431件で県外居住者事故の63.2パーセントを占めている。

特に、観光が139件で、死者数も6人と最も多い。

業務中の事故は224件発生し、32.8パーセントを占め、死者数は4人となっている。

区分	件数	構成率(%)	死者傷者		
			死者	傷者	
業務	224	32.8	4	270	
通勤	26	3.8		34	
通学	1	0.1		1	
私用	観光	139	20.4	6	218
	ドライブ	38	5.6	1	52
	散歩		0.0		
	飲食	12	1.8		14
	買物	64	9.4		80
	訪問	49	7.2	1	67
	帰省	47	6.9	5	77
	その他	82	12.0	2	106
計	431	63.2	15	614	
不明			0.0		
合計	682	100.0	19	919	

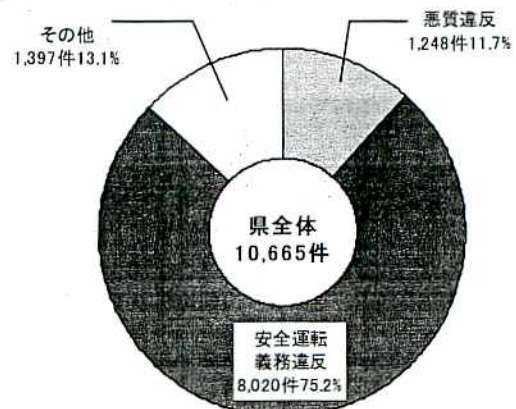
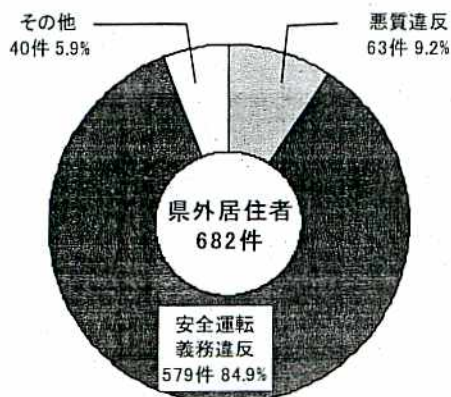
(8) 違反別

安全運転義務違反の占める割合が84.9パーセントと高く、なかでも前方不注意が261件と最も多い。

また、悪質違反のなかでは信号無視が24件と最も多く、次いで一時不停止17件、通区・追越13件となっている。

全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合9.7ポイント高くなっている。(単位:件・%)

違反	区分		件数	構成率(%)	違反	区分		件数	構成率(%)
	違反	件数				違反	件数		
悪質違反	信号無視		24	3.5	交差点安全進行		22	3.2	
	最高速度		3	0.4	徐行		2	0.3	
	通区・追越		13	1.9	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		68	10.0
	歩行者妨害等		6	0.9		前方不注意		261	38.3
	一時不停止		17	2.5		動静不注視		109	16.0
	酒酔い運転			0.0		安全不確認		110	16.1
計		63	9.2	安全速度			30	4.4	
過労運転		1	0.1	その他		1	0.1		
横断禁止		2	0.3	計		579	84.9		
進路変更禁止			0.0	その他		1	0.1		
右・左折		2	0.3	歩行者の違反			0.0		
優先通行妨害等		10	1.5	合計		682	100.0		



## (9) 市町村別

(単位: 件・%)

順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合	順位	市町村	県外者数 件	全件数	割合
1	いわき市	124	2421	5.1	31	田村市	3	128	2.3
2	郡山市	78	2175	3.6	32	玉川村	3	34	8.8
3	福島市	76	1751	4.3	33	楢葉町	3	44	6.8
4	会津若松市	28	648	4.3	34	川俣町	3	46	6.5
5	須賀川市	22	334	6.6	35	棚倉町	2	76	2.6
6	相馬市	22	205	10.7	36	国見町	2	17	11.8
7	白河市	19	327	5.8	37	磐梯町	2	17	11.8
8	西郷村	18	61	29.5	38	双葉町	2	21	9.5
9	南会津町	18	55	32.7	39	矢祭町	2	15	13.3
10	南相馬市	15	360	4.2	40	檜枝岐村	2	2	100.0
11	喜多方市	15	207	7.2	41	会津美里町	2	41	4.9
12	猪苗代町	15	84	17.9	42	浅川町	2	21	9.5
13	二本松市	15	179	8.4	43	金山町	2	8	25.0
14	下郷町	11	30	36.7	44	柳津町	1	12	8.3
15	富岡町	11	83	13.3	45	国見町	1	2	50.0
16	本宮市	10	167	6.0	46	天栄村	1	15	6.7
17	桑折町	7	35	20.0	47	三春町	1	53	1.9
18	大熊町	7	59	11.9	48	石川町	1	47	2.1
19	鏡石町	7	68	10.3	49	鯉川村	1	6	16.7
20	泉崎村	7	33	21.2	50	三島町		2	0.0
21	伊達市	6	253	2.4	51	湯川村		12	0.0
22	北塩原村	6	14	42.9	52	平田村		12	0.0
23	新地町	6	33	18.2	53	小野町		27	0.0
24	埴町	6	25	24.0	54	昭和村		0	-
25	浪江町	5	55	9.1	55	中島村		17	0.0
26	会津坂下町	5	69	7.2	56	古殿町		11	0.0
27	西会津町	5	16	31.3	57	川内村		4	0.0
28	広野町	5	23	21.7	58	葛尾村		1	0.0
29	大玉村	4	27	14.8	59	飯館村		11	0.0
30	矢吹町	4	67	6.0					

(注) 高速道路での事故69件を除く。

(注) 三島町、湯川村、平田村、小野町、昭和村、中島村、古殿町、川内村、葛尾村、飯館村については県外運転者による事故はなかった。

## (10) 居住県別

(単位: 件・人・%)

区分	本年			前年				
	件数	構成率(%)	死者	傷者	件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道	5	0.7		7	1	0.1		2
青森	10	1.5	1	9	14	2.0		19
岩手	23	3.4	1	29	9	1.3		15
宮城	161	23.6	1	210	186	26.5	1	264
秋田	9	1.3		11	9	1.3	2	8
山形	50	7.3	1	67	39	5.5		49
東北	48	7.0		69	69	9.8		107
茨城	115	16.9	1	161	113	16.1	4	185
栃木	64	9.4	4	89	65	9.2	2	90
群馬	12	1.8	1	19	13	1.8		23
埼玉	51	7.5	2	75	52	7.4	2	83
千葉	45	6.6	5	57	39	5.5	1	53
神奈川	29	4.3		34	35	5.0	2	54
新潟	26	3.8		39	26	3.7	1	34
山梨	2	0.3		2	2	0.3		2
長野	3	0.4		7	2	0.3		2
静岡	5	0.7		7	1	0.1		4
富山	1	0.1		1	2	0.3		3
石川		0.0			3	0.4		5
福井	1	0.1		1	1	0.1		1
岐阜		0.0			1	0.1		2
愛知	5	0.7	1	5	8	1.1		11
滋賀		0.0				0.0		
三重	1	0.1		1	1	0.1		2
京都	1	0.1		1	1	0.1		2
大阪	4	0.6	1	4	1	0.1		1
兵庫	4	0.6		6		0.0		
奈良		0.0			1	0.1		1
和歌山		0.0				0.0		
鳥取		0.0				0.0		
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0			1	0.1		2
広島	1	0.1		1		0.0		
山口		0.0				0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛	2	0.3		2	1	0.1		1
徳島		0.0				0.0		
高知	1	0.1		1		0.0		
福岡	1	0.1		1	2	0.3		2
佐賀	1	0.1		2		0.0		
長崎		0.0			1	0.1		2
熊本	1	0.1		1	1	0.1		1
大分		0.0			1			1
宮崎		0.0			1	0.1		1
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄		0.0			1	0.1		1
合計	682	100	19	919	703	100	15	1,033

## 18 道路環境等

### (1) 道路形状別

交差点での事故(付近も含む)は、5,769件で全事故の54.1パーセントを占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第1進入路「中」が2,082件で最も多く、交差点事故の52.7パーセントを占め、次いで第1進路「小」が1,328件となっている。

(単位：件・人・%)

(単位：件・人・%)

道路形状	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
交差点	大	537	5.0	10	668
	中	2,082	19.5	26	2,512
	小	1,328	12.5	4	1,618
	付近	1,822	17.1	5	2,326
	計	5,769	54.1	45	7,124
単路	トンネル	37	0.3		54
	橋	143	1.3		192
	カーブ・屈折	491	4.6	24	656
	直線	3,711	34.8	42	4,659
	計	4,382	41.1	66	5,561
踏み切り			0.0		
一般交通の場所		514	4.8	1	568
合計		10,665	100	112	13,253

交差点第1進入路	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
大 (13m以上)	交差路 小	92	2.3	1	113
	交差路 中	282	7.1	8	365
	交差路 大	163	4.1	1	190
	計	537	13.6	10	668
中 (5.5m以上 13m未満)	交差路 小	324	8.2	4	351
	交差路 中	1,492	37.8	20	1,857
	交差路 大	266	6.7	2	304
	計	2,082	52.7	26	2,512
小 (5.5m未満)	交差路 小	438	11.1	1	564
	交差路 中	721	18.3	3	867
	交差路 大	169	4.3		187
	計	1,328	34	4	1,618
合計		3,947	100	40	4,798

(単位：件・人・%)

### (2) 道路線形別

直線での事故は9,548件で全体の89.5パーセントを占めている。

一方、カーブ・屈曲での事故は603件で全事故の5.7パーセントとなっている。

勾配で見ると、上り坂は377件(全事故の3.5%)、下り坂は606件(全事故の5.7%)、平坦は9,168件(全事故の86.0%)となっている。

道路形状	区分	件数		死者	傷者	
		件数	構成率(%)			
カーブ・屈折	右	上り	31	0.3	0	37
		下り	83	0.8	5	104
		平坦	162	1.5	7	202
	左	上り	54	0.5	2	77
		下り	96	0.9	3	136
		平坦	177	1.7	8	247
計		603	5.7	25	803	
直線	上り	292	2.7	3	395	
	下り	427	4.0	4	550	
	平坦	8,829	82.8	79	10,937	
	計	9,548	89.5	86	11,882	
一般交通の場所		514	4.8	1	568	
合計		10,665	100.0	112	13,253	

(単位:件・人・%)

## (3) 地形別

市街地での事故が6,412件で、全事故の60.1パーセントを占めている。

また、人口集中地区での事故が多い。

地形	区分	件数		死者	傷者
		件数	構成率(%)		
市街地	人口集中地区	3,388	31.8	16	4,251
	その他	3,024	28.4	24	4,153
	計	6,412	60.1	40	8,404
非市街地		4,253	39.9	72	5,838
合計		10,665	100	112	14,242

(注) 市街地:道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって、住宅事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が80パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

## (4) 道路幅員別

幅員「5.5m以上 9.0m未満」の道路での事故が3,175件で最も多く、全事故の29.8パーセントを占めている。

(単位:件・人・%)

区分	幅員	3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交 差 点			その他	合計
								小	中	大		
件数	件数	95	394	3,175	1,330	1,004	206	1,328	2,082	537	514	10,665
	構成率(%)	0.9	3.7	29.8	12.5	9.4	1.9	12.5	19.5	5.0	4.8	100
死者	死者	3	4	44	10	7	3	4	26	10	1	112
傷者	傷者	110	450	4,050	1,728	1,304	245	1,618	2,512	668	568	13,253

## (5) 道路状態別

乾燥した舗装路での発生が8,170件で最も多く、全事故の76.6パーセントを占めている。

(単位:件・人・%)

地形	路面状態	舗 装					計	非舗装	合計
		乾 燥	湿 潤	凍 結	積 雪	計			
件数	件数	8,170	1,852	404	211	10,637	28	10,665	
	構成率(%)	76.6	17.4	3.8	2.0	99.7	0.3	100.0	
死者	死者	88	20	1	1	110	2	112	
傷者	傷者	10,123	2,316	512	274	13,225	28	13,253	

## (6) 中央分離施設別

中央線がペイントの道路での発生が5,943件で最も多く、全事故の55.7パーセントを占めている。

(単位:件・人・%)

地形	施設	中 央 線	中 央 線			計	中 央 線	その他	合計
			中 央 線	中 央 線	中 央 線				
件数	件数	1,591	96	253	5,943	6,292	2,268	514	10,665
	構成率(%)	14.9	0.9	2.4	55.7	59.0	21.3	4.8	100.0
死者	死者	11	3	4	64	71	29	1	112
傷者	傷者	2,036	123	307	7,515	7,945	2,704	568	13,253

19 その他

(単位：件・人・%)

(1) 特殊事故

特殊事故は1,410件で、全事故の13.2パーセントを占め、約7.6件に1件の割合で発生している。

なかでも件数が多いのは次のとおりで

- ・多重事故 1,165件  
全事故の9.2件に1件
- ・ひき逃げ 107件  
全事故の99.7件に1件
- ・無申告 71件  
全事故の150.2件に1件
- ・左折巻き込み 29件  
全事故の367.8件に1件
- ・ドア開放 18件  
全事故の592.5件に1件

の割合で発生している。

区分	件数		死者	傷者
	構成率(%)			
特殊事故				
共同危険行為		0.0		
暴走行為		0.0		
ひき逃げ	107	1.0	1	124
無申告	71	0.7		80
多重衝突	1,165	10.9	23	1,972
左折巻き込み	29	0.3		33
荷崩れ	5	0.0		5
自然発車	4	0.0		6
ドア開閉	18	0.2		18
車両火災	1	0.0	1	3
薬物影響	1	0.0		1
発作・急病	てんかん	2	0.0	2
	心臓マヒ		0.0	
	脳血管	2	0.0	2
	その他	3	0.0	3
身障者	2	0.0		2
緊急用務自動車		0.0		
合計	1,410	13.2	25	2,251

(注) 1 表中の割合は全事故に占める割合

2 他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2) 天候別

晴天時（雲量が80パーセント未満）の事故が、5,408件で全事故の50.7パーセントを占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80パーセント以上）の事故が3,454件となっており、合わせると全事故の83.1パーセントを占めている。

(単位：件・人・%)

区分	天候						合計
	晴	曇	雨	霧	雪		
件数	5,408	3,454	1,382	10	411	10,665	
構成率(%)	50.7	32.4	13.0	0.1	3.9	100.0	
死者	58	35	16		3	112	
傷者	6,785	4,197	1,732	12	527	13,253	

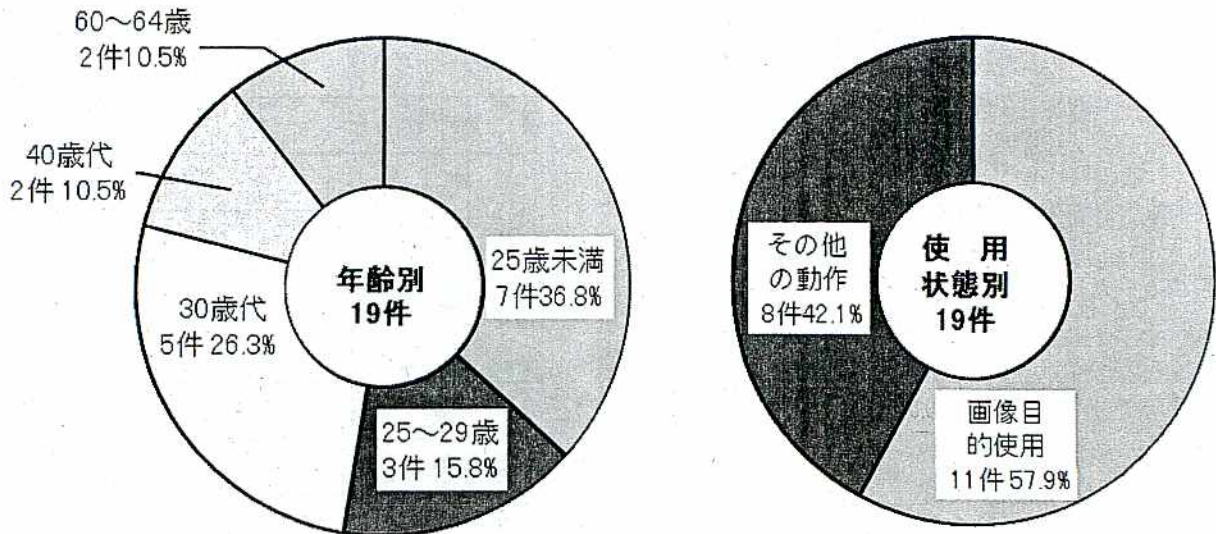
(3) 携帯電話使用中の事故

携帯電話使用中の事故は19件発生し、死者は0人、傷者は26人となっている。

事故類型別にみると、追突が14件で最も多く、73.7パーセントを占め、全事故に占める追突事故の割合の約1.8倍となっている。

(単位：件・%)

区分	態様	携帯電話使用中事故		全事故	
		構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)	構成率(%)
人対車両		1	5.3	946	8.9
車両相互	追突	14	73.7	4,274	40.1
	出会い頭	2	10.5	2,862	26.8
	正面衝突	2	10.5	419	3.9
	その他	0	0.0	1,817	17.0
車両単独		0	0.0	347	3.3
合計		19	100.0	10,665	100.0



年齢別にみると、25歳未満が7件で36.8パーセントを占め最も多く、30歳代が5件、25~29歳が3件となっている。

事故直前の使用状況は、画像目的使用11件、その他の動作8件となっている。